

第2次与謝野町総合計画策定にかかる

まちづくりアンケート報告書

平成29年6月

与謝野町企画財政課

<目次>

| | | |
|----|------------------------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 2 |
| 2 | 調査の方法 | 2 |
| 3 | 回収状況 | 2 |
| II | 調査の結果 | 3 |
| 1 | 基本的事項 | 4 |
| 2 | まちづくりへの住民の参加について | 7 |
| | (1) 自分自身が参加したことがあること | 7 |
| | (2) 自分自身が参加しなかった(できなかった)理由 | 11 |
| 3 | 与謝野町の住みごころについて | 15 |
| | (1) 定住意向 | 15 |
| | (2) 与謝野町の良いところ | 18 |
| | (3) 与謝野町のまちづくりで気になるところ | 22 |
| | (4) 与謝野町の良いところと気になるところ | 26 |
| 4 | 与謝野町のまちづくりと将来の姿について | 27 |
| | (1) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度 | 27 |
| | (2) 30年後、与謝野町をどのような町にしたいか | 30 |
| | (3) 特に力を入れるべき施策 | 55 |
| 5 | 若者世代に見る和謝野町のまちづくりと将来の姿について | 58 |
| 6 | 自由意見 | 67 |
| | ・安心と生きがいのある福祉のまちづくりに関する意見 | 67 |
| | ・伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりに関する意見 | 69 |
| | ・自然と安全を守るまちの基盤づくりに関する意見 | 73 |
| | ・快適で安らぎのある生活環境づくりに関する意見 | 74 |
| | ・明日の人材を育てる教育文化のまちづくりに関する意見 | 76 |
| | ・協働で進めるまちづくりに関する意見 | 78 |
| | ・その他に関する意見 | 81 |

I 調査の概要

1 調査の目的

平成30年度からの中長期のまちづくり指針となる「第2次与謝野町総合計画」を策定するにあたり、与謝野町全体の姿に対する町民の意向を計画に反映するため、無作為に選んだ2,000人の町民を対象にアンケート調査を実施したものです。

2 調査の方法

(1) 調査対象

15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出。

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

平成29年1月18日～平成29年2月28日

3 回収状況

| | |
|-----|--------|
| 配布数 | 2,000件 |
| 回収数 | 687件 |
| 回収率 | 34.4% |

(参考) 平成23年度調査

| | |
|-----|--------|
| 配布数 | 2,000件 |
| 回収数 | 815件 |
| 回収率 | 40.8% |

(参考) 平成18年度調査

| | |
|-----|--------|
| 配布数 | 2,000件 |
| 回収数 | 915件 |
| 回収率 | 45.8% |

Ⅱ 調査の結果

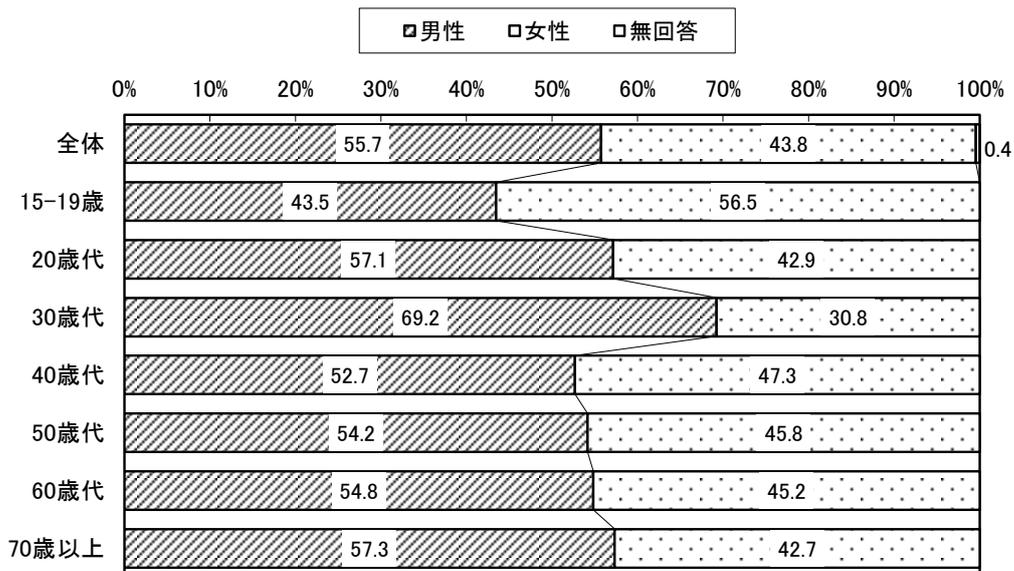
1 基本的事項

(1) 性別

問1 あなたの性別は、どちらですか。《1つだけ選んでください》

全体数=687

男性が55.7%、女性が43.8%となっています。



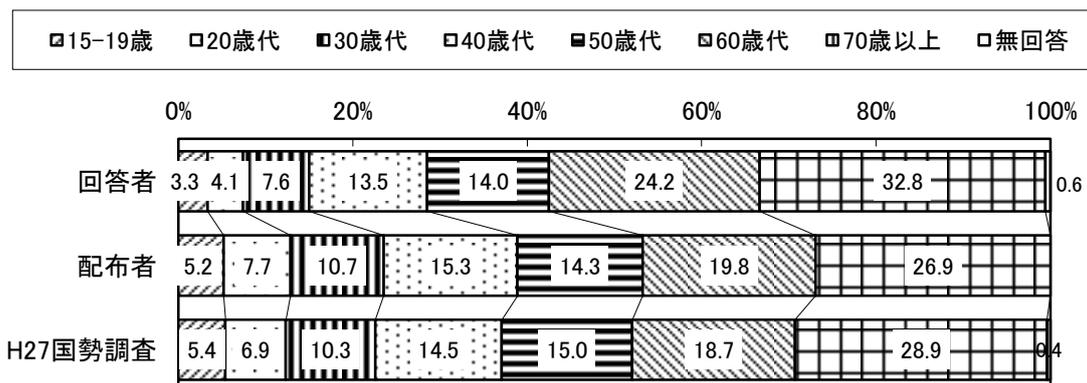
(2) 年齢

問2 あなたの年齢は、どれにあたりますか。《1つだけ選んでください》

全体数=687

15～19歳が3.3%、20歳代が4.1%、30歳代が7.6%、40歳代が13.5%、50歳代が14.0%、60歳代が24.2%、70歳以上が32.8%となっています。

アンケート票を配布した年齢構成や実際の人口の年齢構成と比較すると、60歳代以上の回答者が多く、逆に30歳代以下では少なくなっています。

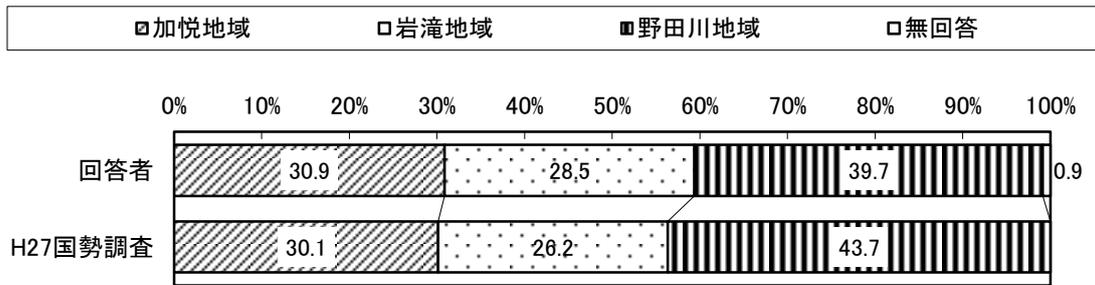


(3) 居住地

問3 あなたのお住まいは、どちらですか。《1つだけ選んでください》

全体数=687

加悦地域が30.9%、岩滝地域が28.5%、野田川地域が39.7%となっています。
 実際の人口と比較すると、岩滝地域が多く、野田川地域が少なくなっています。

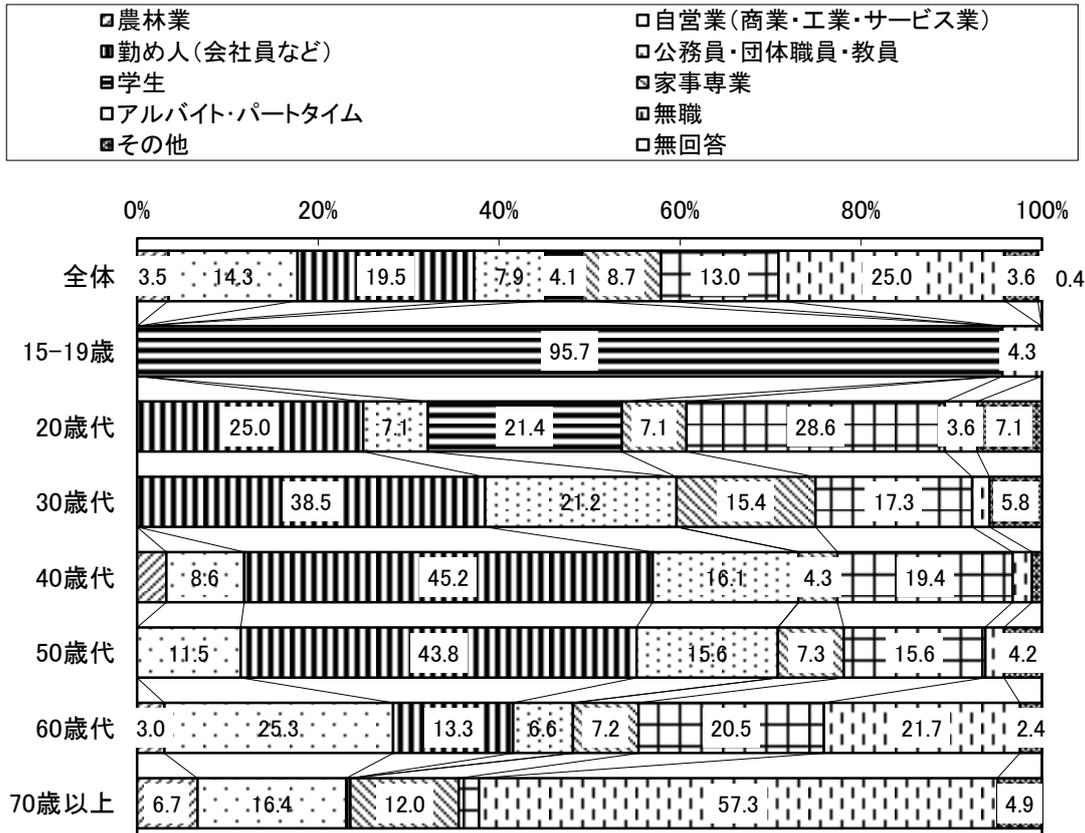


(4) 職業

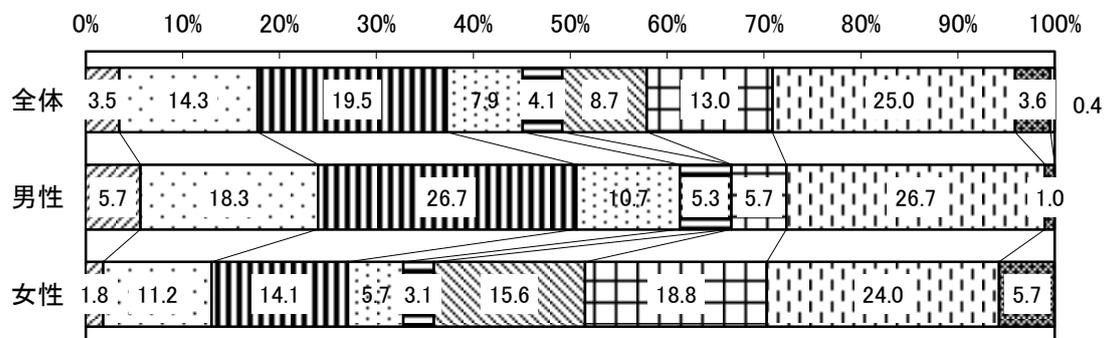
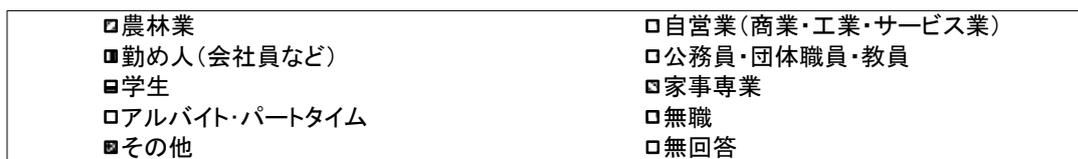
問4 あなたの職業は、どれにあたりますか。《1つだけ選んでください》

全体数=687

無職が25.0%、勤め人が19.5%、自営業が14.3%の順で多くなっています。
 年齢別にみると、自営業は50歳代以上で多く、無職は60歳代以上で多くなっています。



男女別にみると、男性では無職や勤め人、自営業が多く、女性では無職やアルバイト・パートタイムが多くなっています。



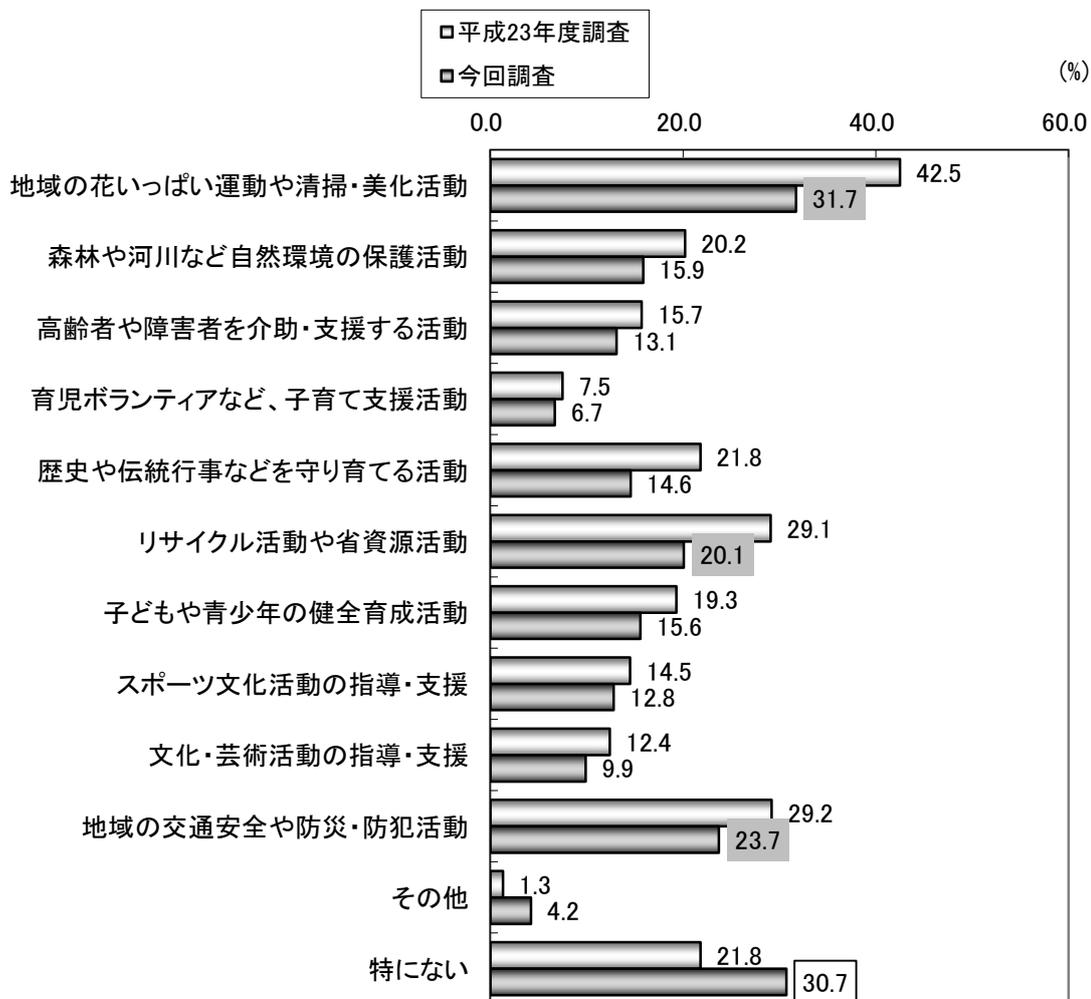
2 まちづくりへの住民の参加について

(1) 自分自身が参加したことがあること

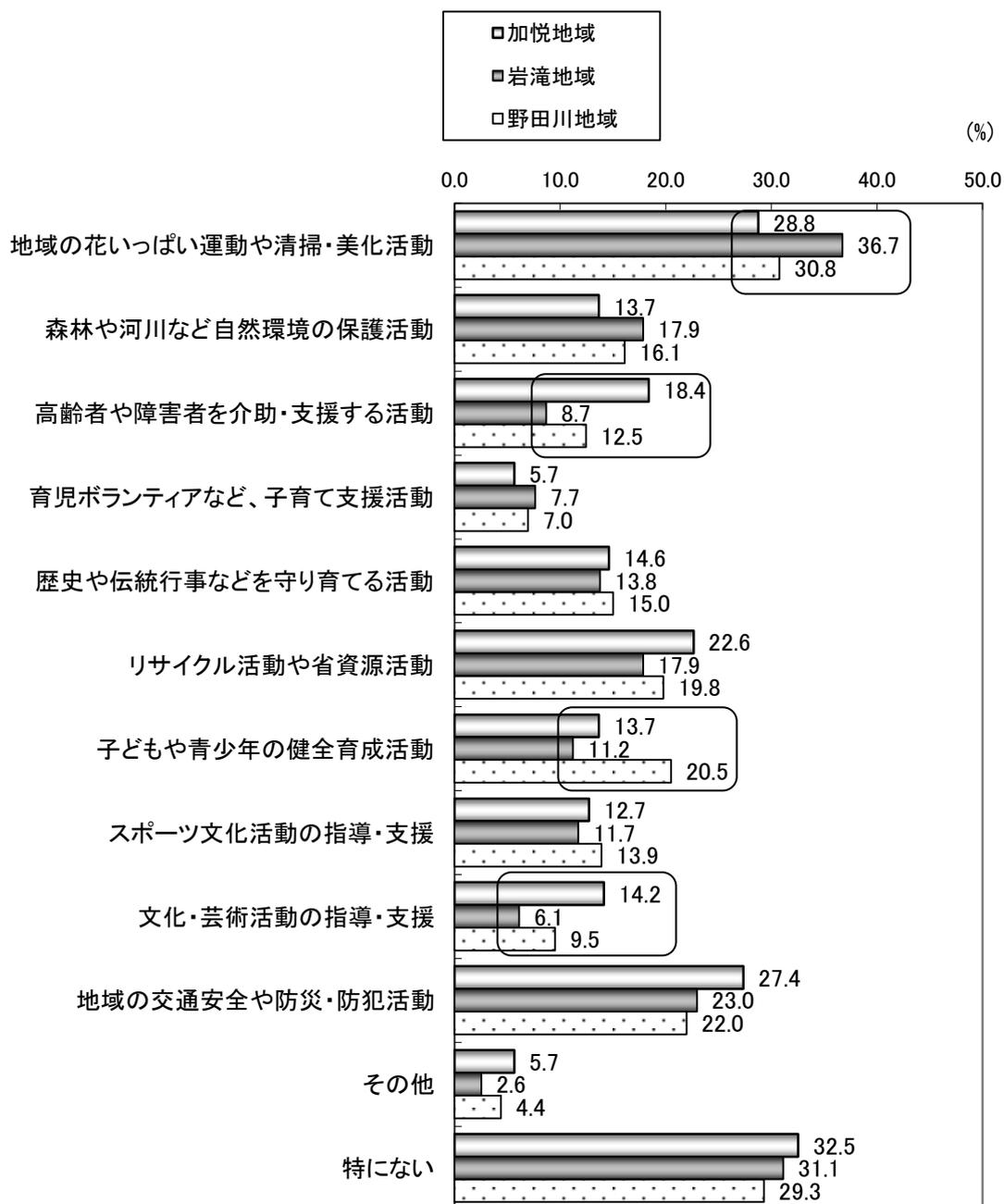
問 5 あなたは、「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。《参加したことがあるものすべてを選んでください》

全体数=687

「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」がもっとも多く31.7%、次いで「地域の交通安全や防災・防犯活動」23.7%、「リサイクル活動や省資源活動」20.1%などとなっており、順位の傾向は前回平成23年度の調査結果と変わらないものの、率が下がっており、「特にない」という回答が21.8%から30.7%に増加しています。

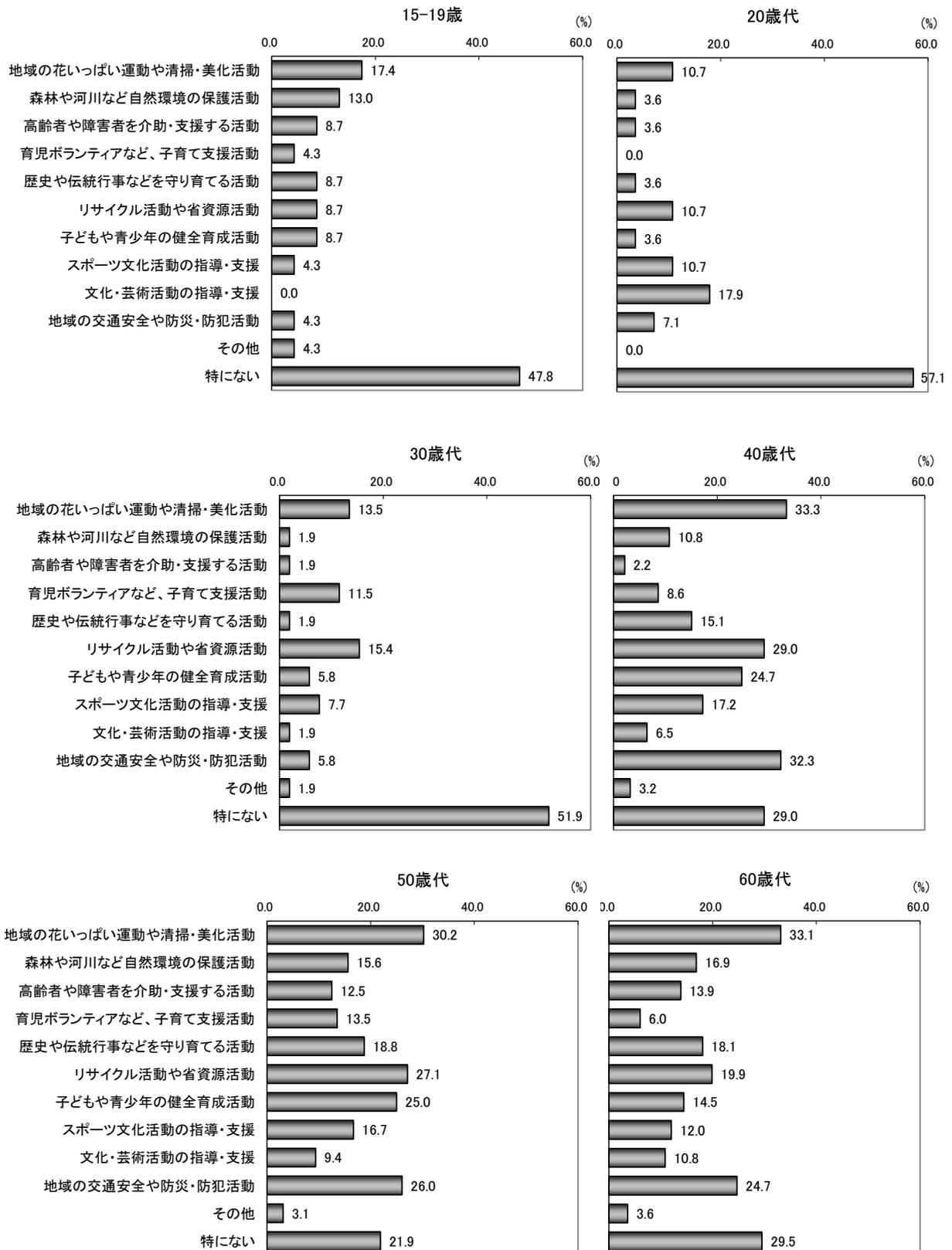


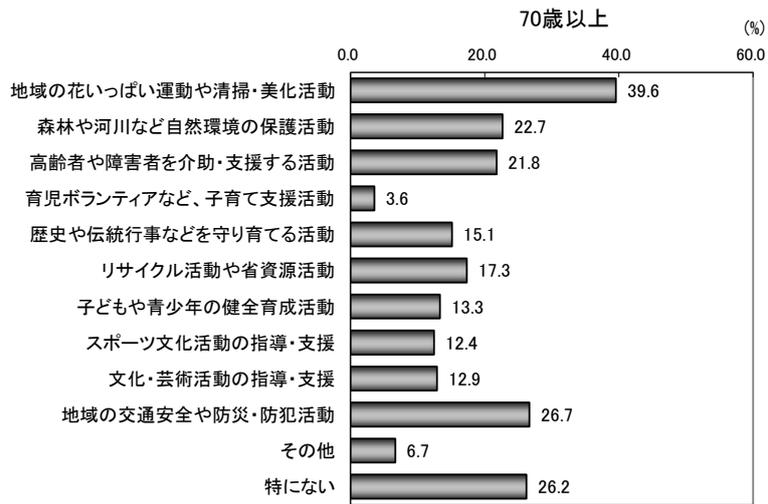
地域別にみると、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」、「高齢者や障害者を介助・支援する活動」、「子どもや青少年の健全育成活動」、「文化・芸術活動の指導・支援」などで違いがみられます。



年齢別にみると、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」や「地域の交通安全や防災・防犯活動」は40歳代以上で高く、「リサイクル活動や省資源活動」は40歳代～50歳代で高くなっていますが、いずれも平成23年度調査結果から低くなっています。

また、「特にない」が20歳代で57.1%、30歳代で51.9%、15歳～19歳で47.8%を占め、若い年代の地域のまちづくりへの参加が課題といえます。





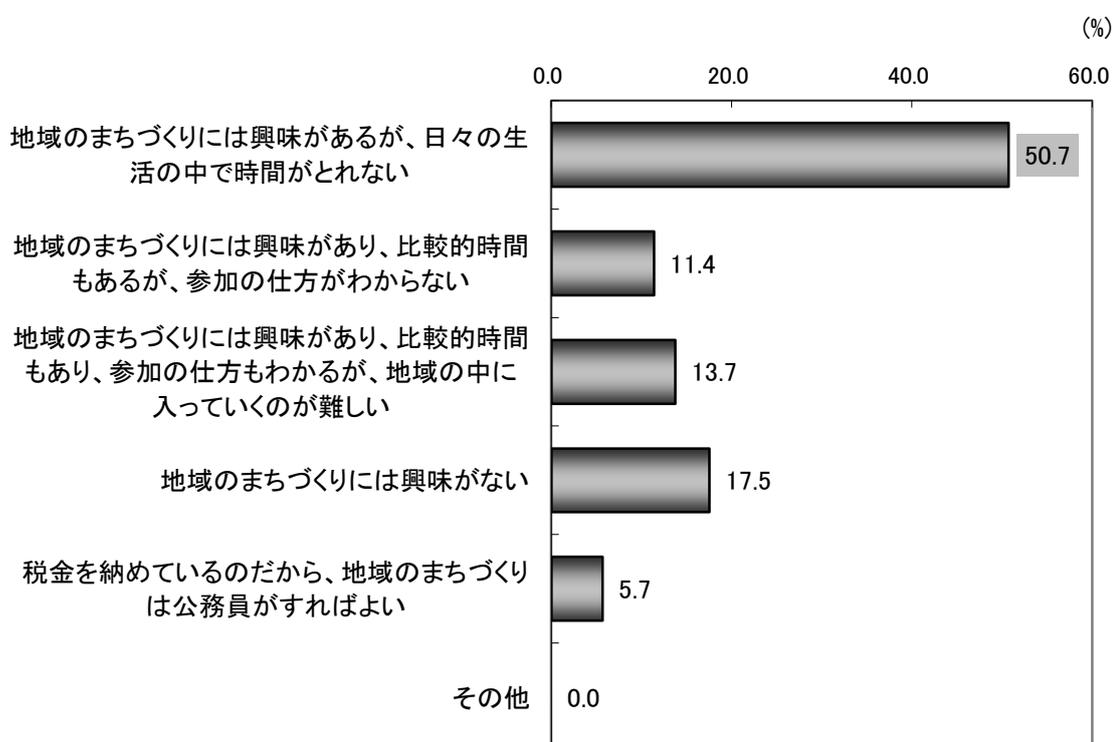
(2) 自分自身が参加しなかった（できなかった）理由

問 6 問 5 で「12. 特にない」と回答された方にお伺いします。あなたが、参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？《3つまで選んでください》

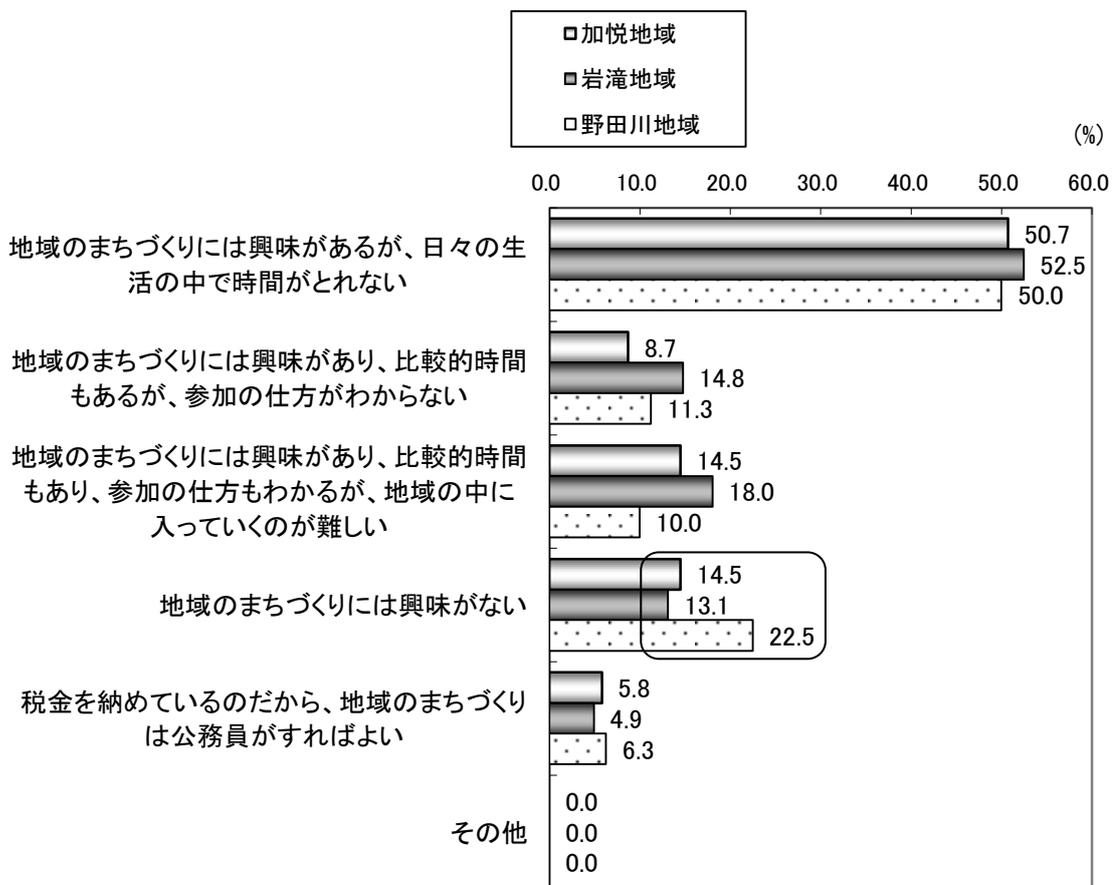
※平成 18 年度及び 23 年度調査では本設問はない

全体数=211

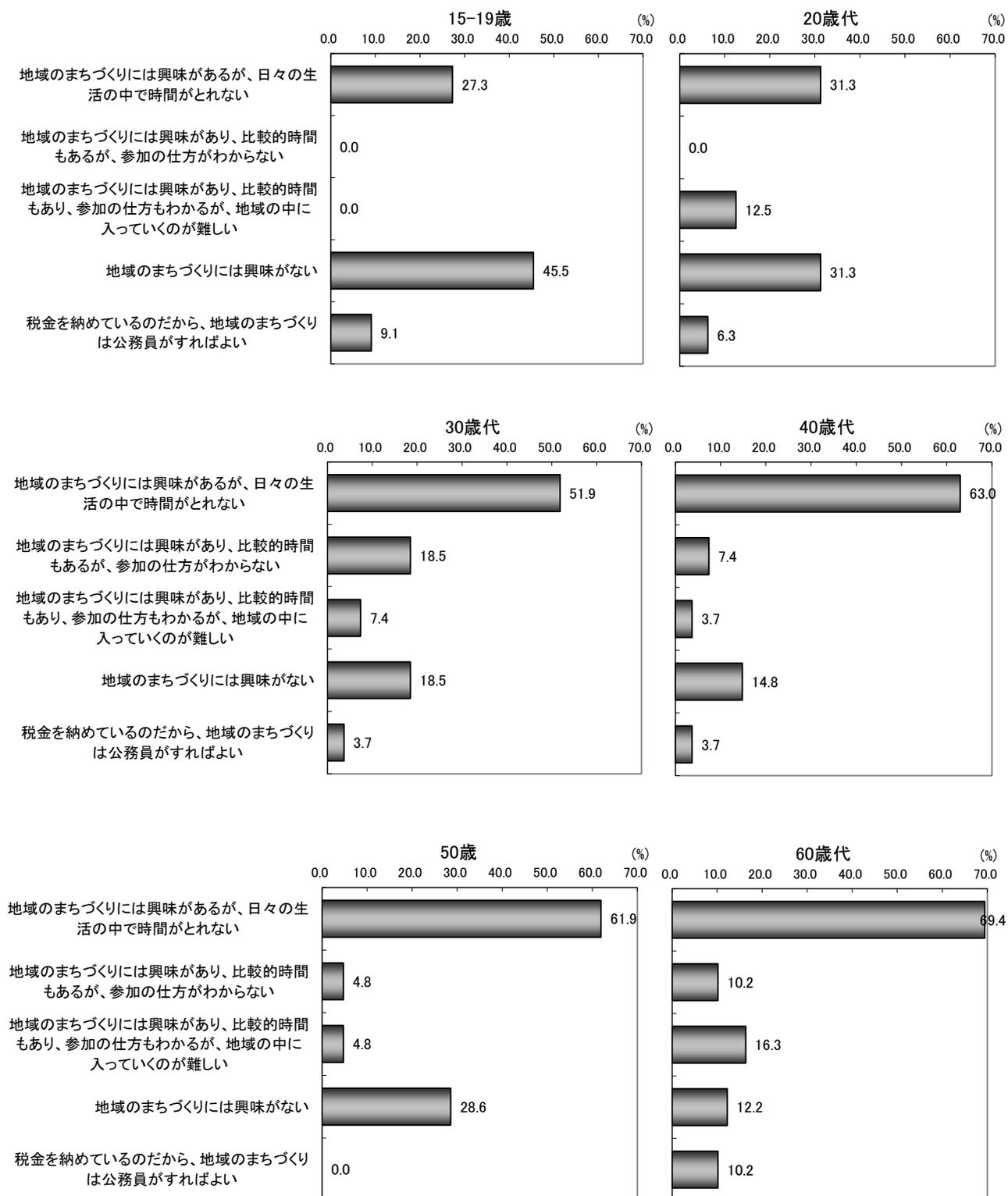
「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」が圧倒的にもっとも多く 50.7%、次いで「地域のまちづくりには興味がない」17.5%となっています。興味があり比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない、地域の中に入っていくのが難しいとお答えの方への対応によって、今後のまちづくりへの参加が期待できます。

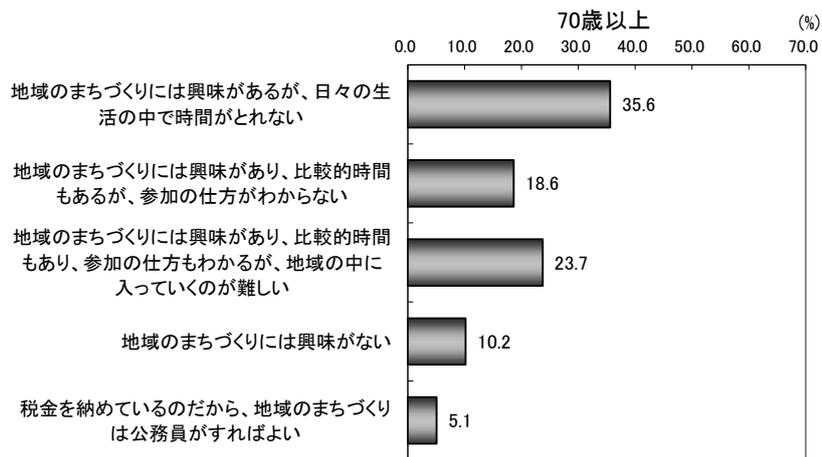


地域別にみると、特に「地域のまちづくりには興味がない」で違いがみられます。



年齢別にみると、すべての年代で「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない」が高くなっており、30歳代～50歳代で50%を超え、60歳以上でも最も高くなっています。15歳～19歳、20歳代でも高くなっていますが、それ以上に「地域のまちづくりに興味がない」が高くなっており、15歳～19歳で45.5%、20歳代で31.3%を占めており大きな課題といえます。





3 与謝野町の住みごころについて

(1) 定住意向

問7 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。《1つだけ選んでください》

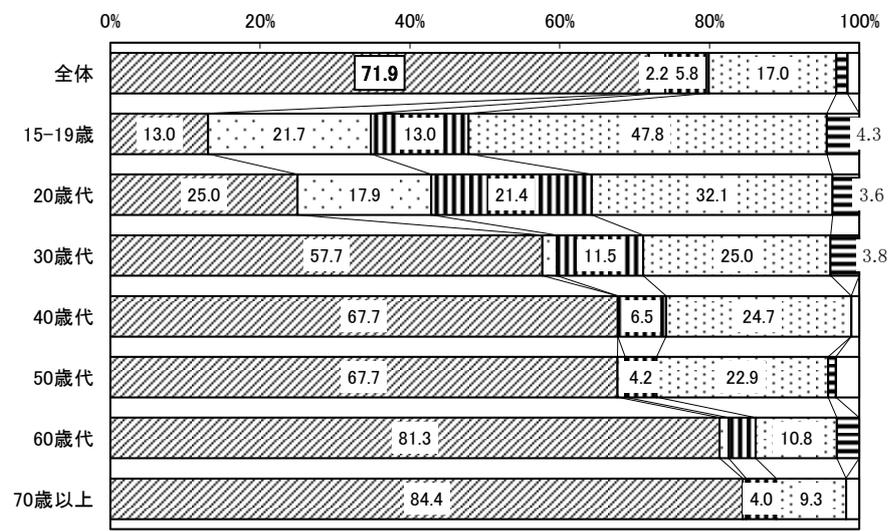
全体数=687

「これからも与謝野町に住み続けたい」が71.9%、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が2.2%と、過去2回（平成18年度、平成23年度）の調査結果と比較して定住傾向が後退する結果となっています。

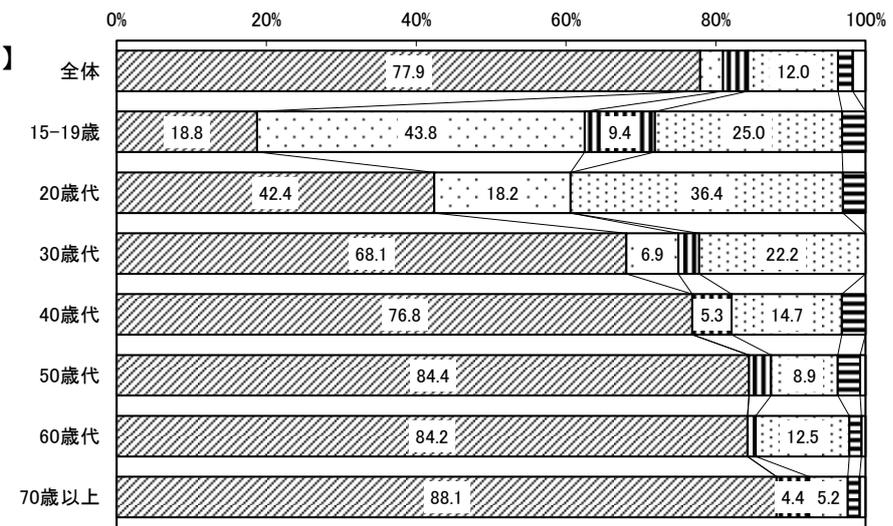
年齢別にみると、15歳～19歳や20歳代の場合、「これからも与謝野町に住み続けたい」が少なく、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が多い傾向は変わりませんが、「町外へ転出したい」が若い年齢層に一定の割合があります。

- これからも与謝野町に住み続けたい
- いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい
- 町外へ転出したい
- わからない
- その他
- 無回答

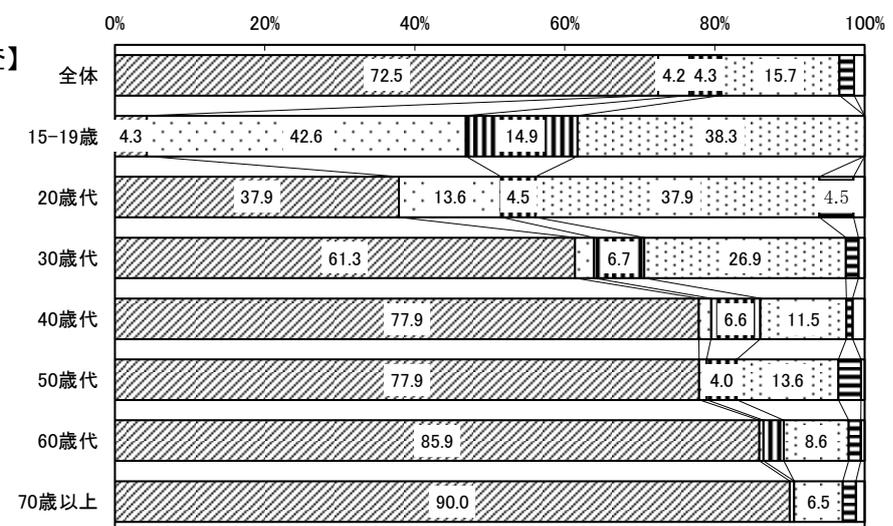
【今回調査】



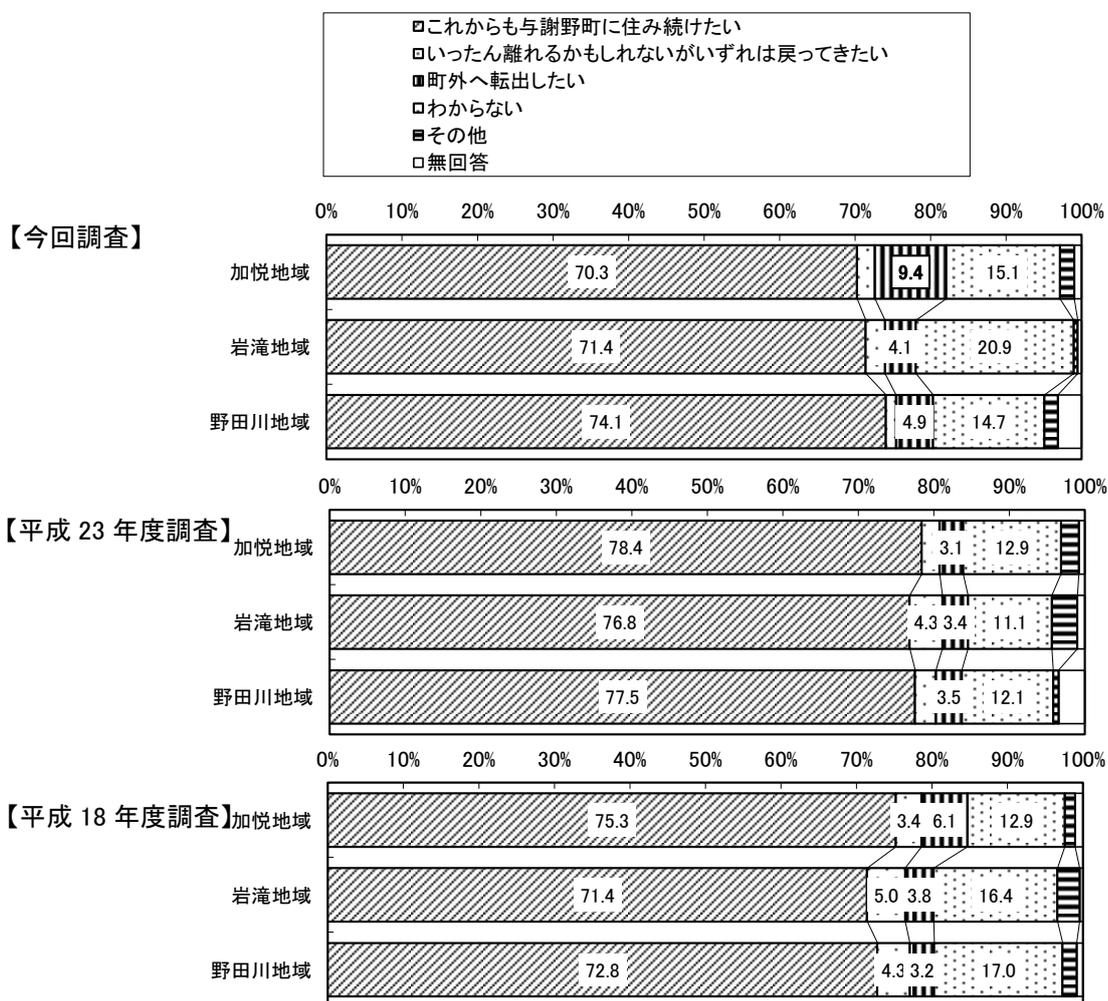
【平成 23 年度調査】



【平成 18 年度調査】



地域別にみると、どの地域においても「これからも与謝野町に住み続けたい」が70%を超えています。加悦地域では「町外へ転出したい」が9.4%と比較的高くなっています。



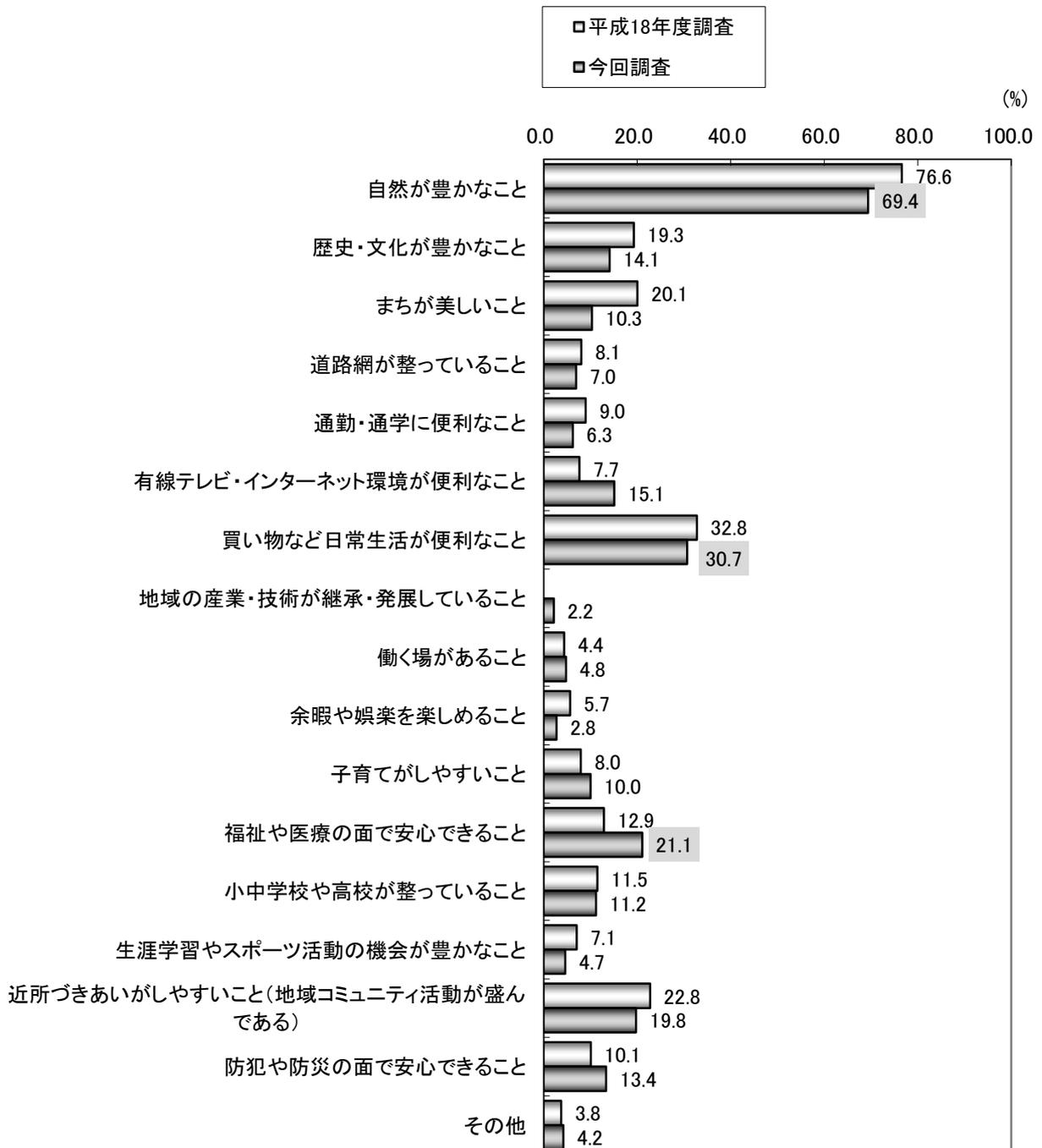
(2) 与謝野町の良いところ

問8 与謝野町の良いところは何ですか。《3つまで選んでください》

全体数=687

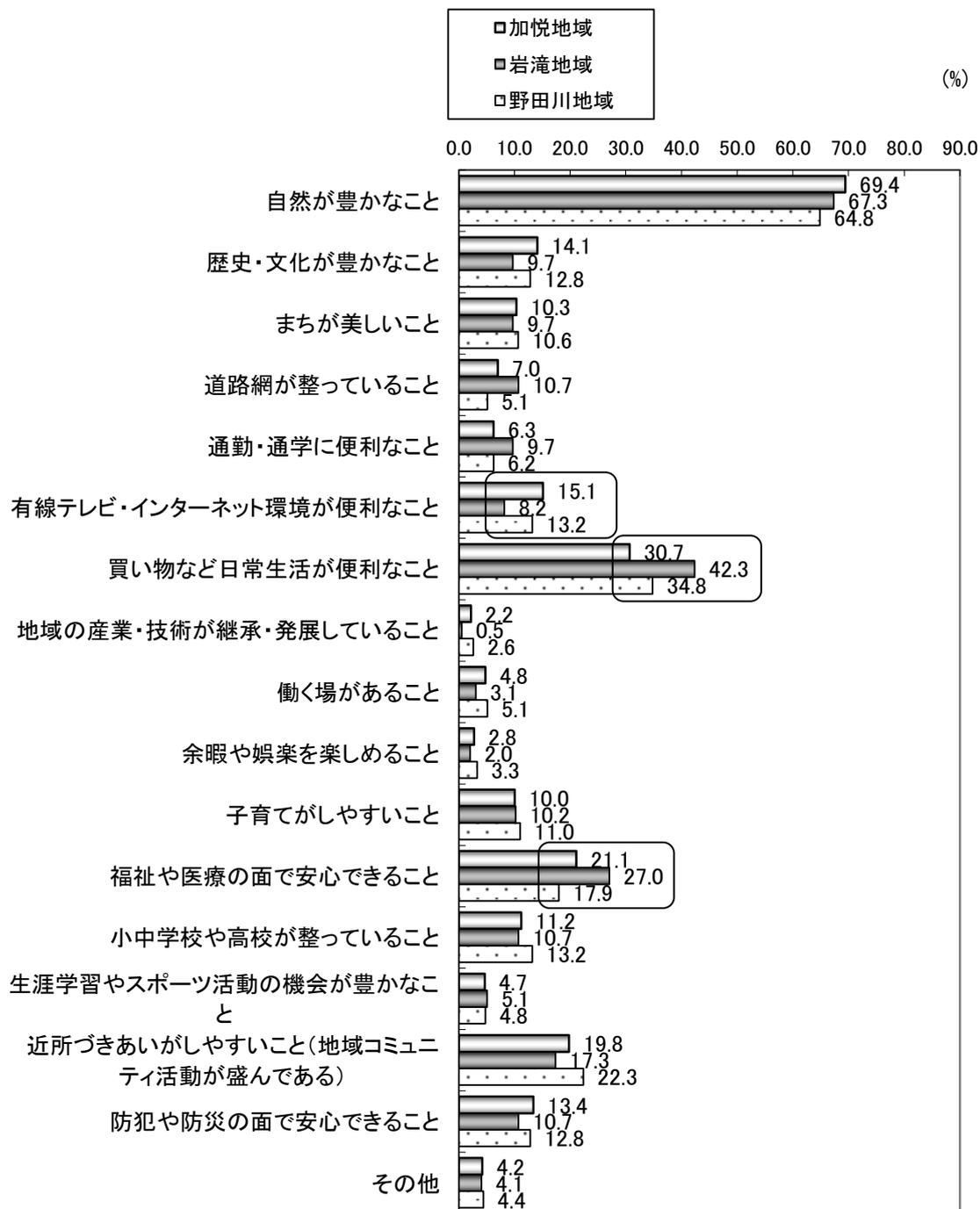
「自然が豊かなこと」がもっとも多く 69.4%、次いで「買い物など日常生活が便利なこと」が 30.7%、「福祉や医療の面で安心できること」が 21.1%などが続いています。

平成 18 年度調査結果と比較して、それぞれの割合の傾向は大きく変わらないものの、「福祉や医療の面で安心できること」、「有線テレビ・インターネット環境が便利なこと」、「防犯や防災の面で安心できること」の割合が増加しています。

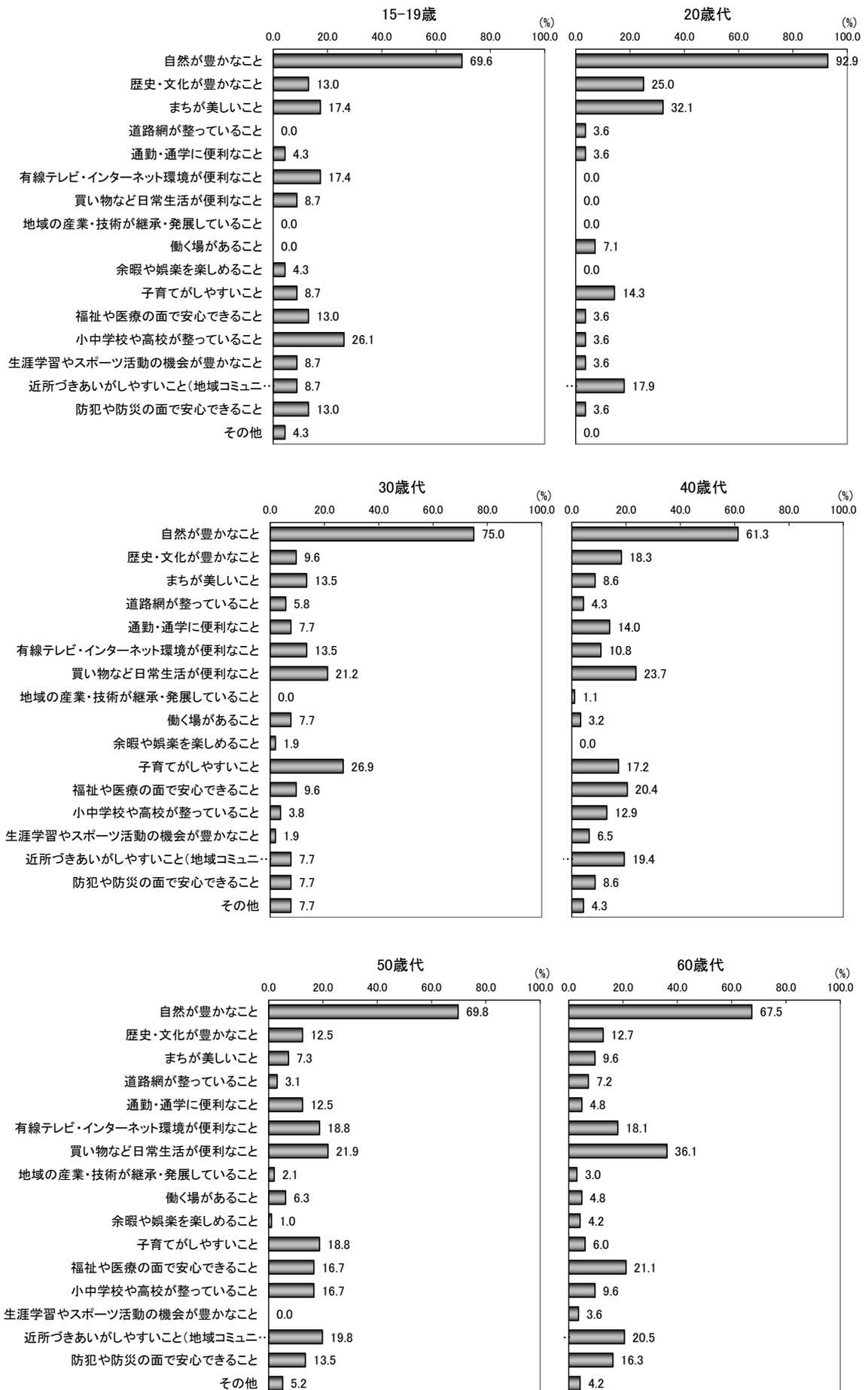


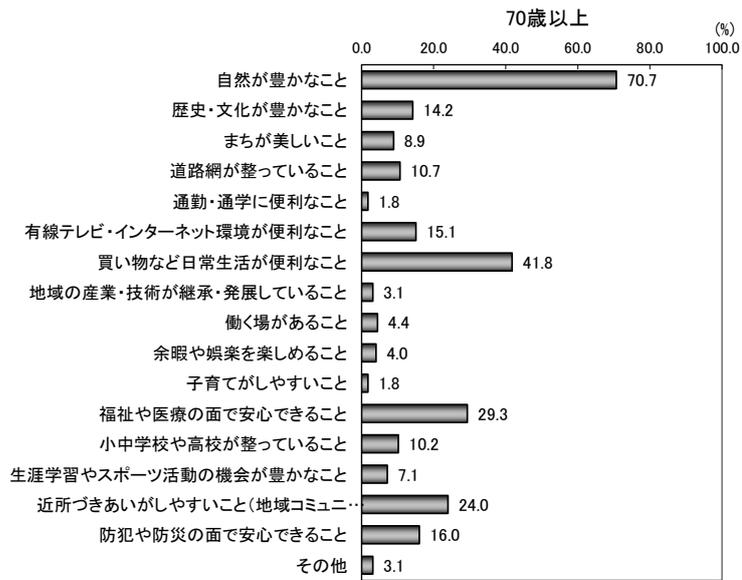
(注)これまでの調査には「地域の産業・技術が継承・発展していること」の選択肢はない。

地域別にみると、「買い物など日常生活が便利なこと」、「福祉や医療の面で安心できること」、「有線テレビ・インターネット環境が便利なこと」などで違いがみられます。



年齢別にみると、どの年齢層においても「自然が豊かなこと」が最も高く、「まちが美しいこと」は特に20歳代で、「子育てがしやすいこと」は特に30歳代で高く、「買い物など日常生活が便利なこと」が60歳代以上で高くなっています。





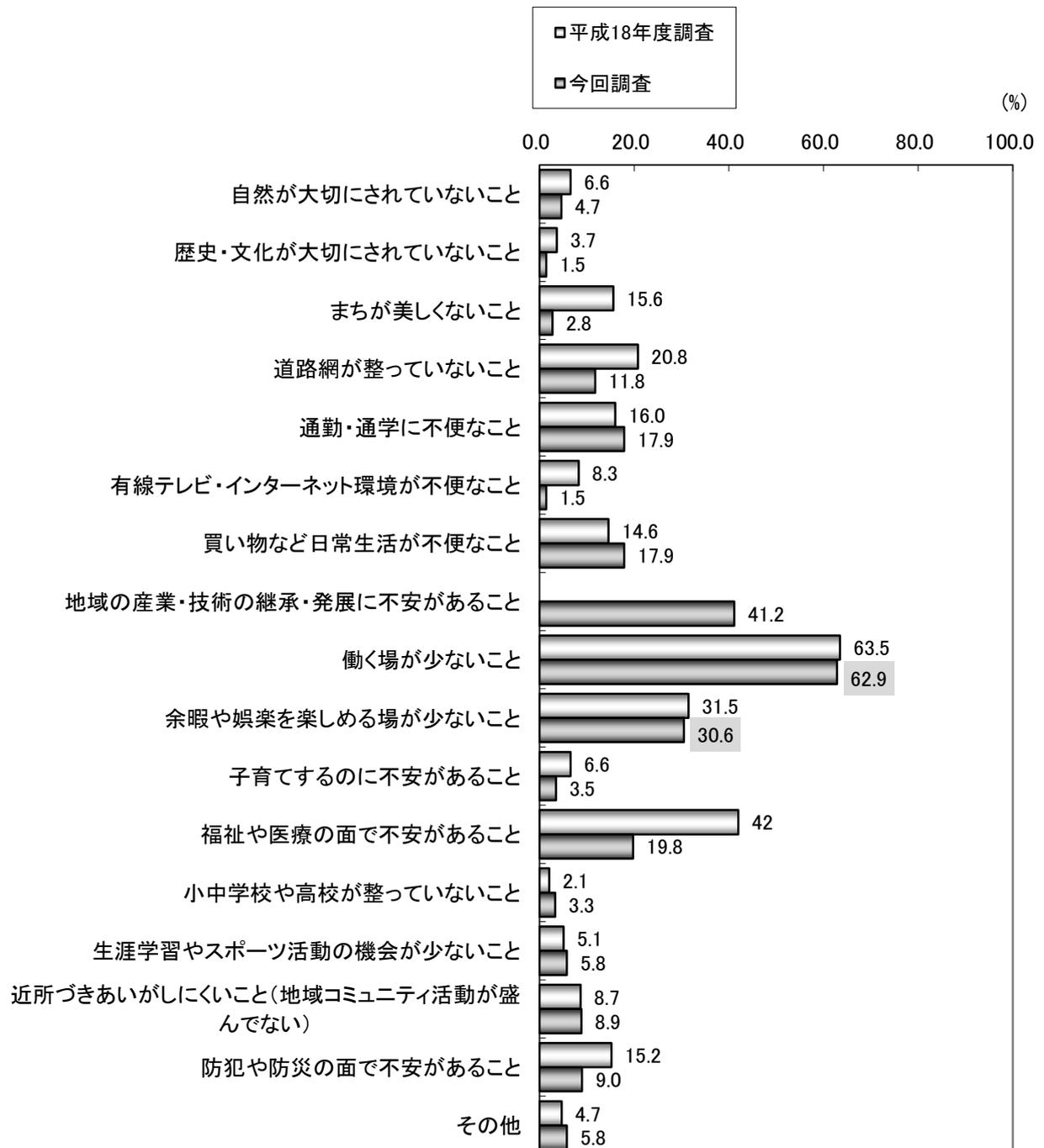
(3) 与謝野町のまちづくりで気になるところ

問9 与謝野町の気になるところは何ですか。《3つまで選んでください》

全体数=687

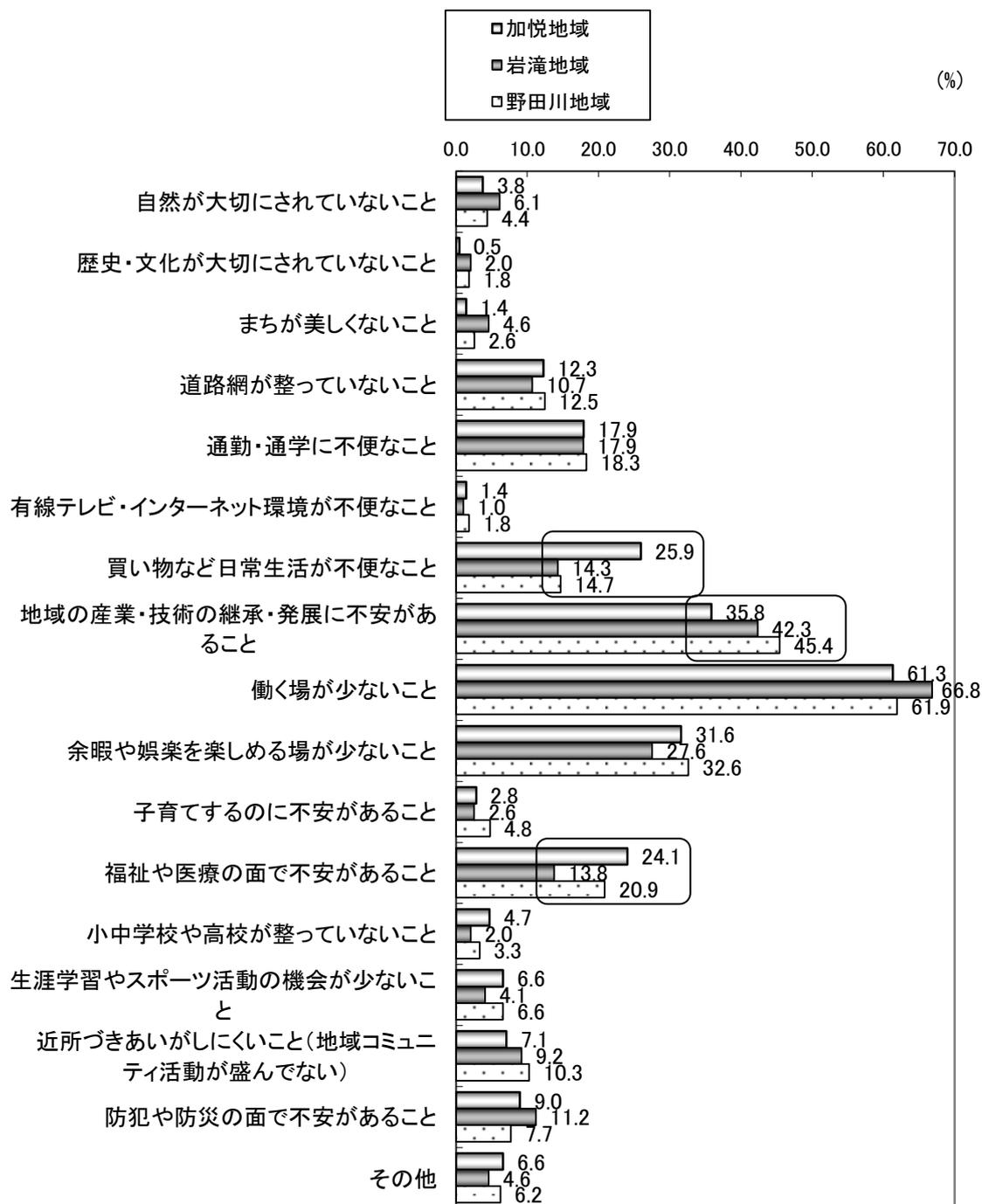
「働く場が少ないこと」がもっとも多く 62.9%、次いで「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」が 30.6%と、「福祉や医療の面で不安があること」が 19.8%などが続いています。

平成 18 年度調査結果と比較して、「福祉や医療の面で不安があること」、「有線テレビ・インターネット環境が不便なこと」、「防犯や防災の面で不安があること」、「まちが美しくないこと」、「道路網が整っていないこと」など多くの項目で改善していますが、「買い物など日常生活が不便なこと」、「通勤・通学に不便なこと」の割合が増加しています。

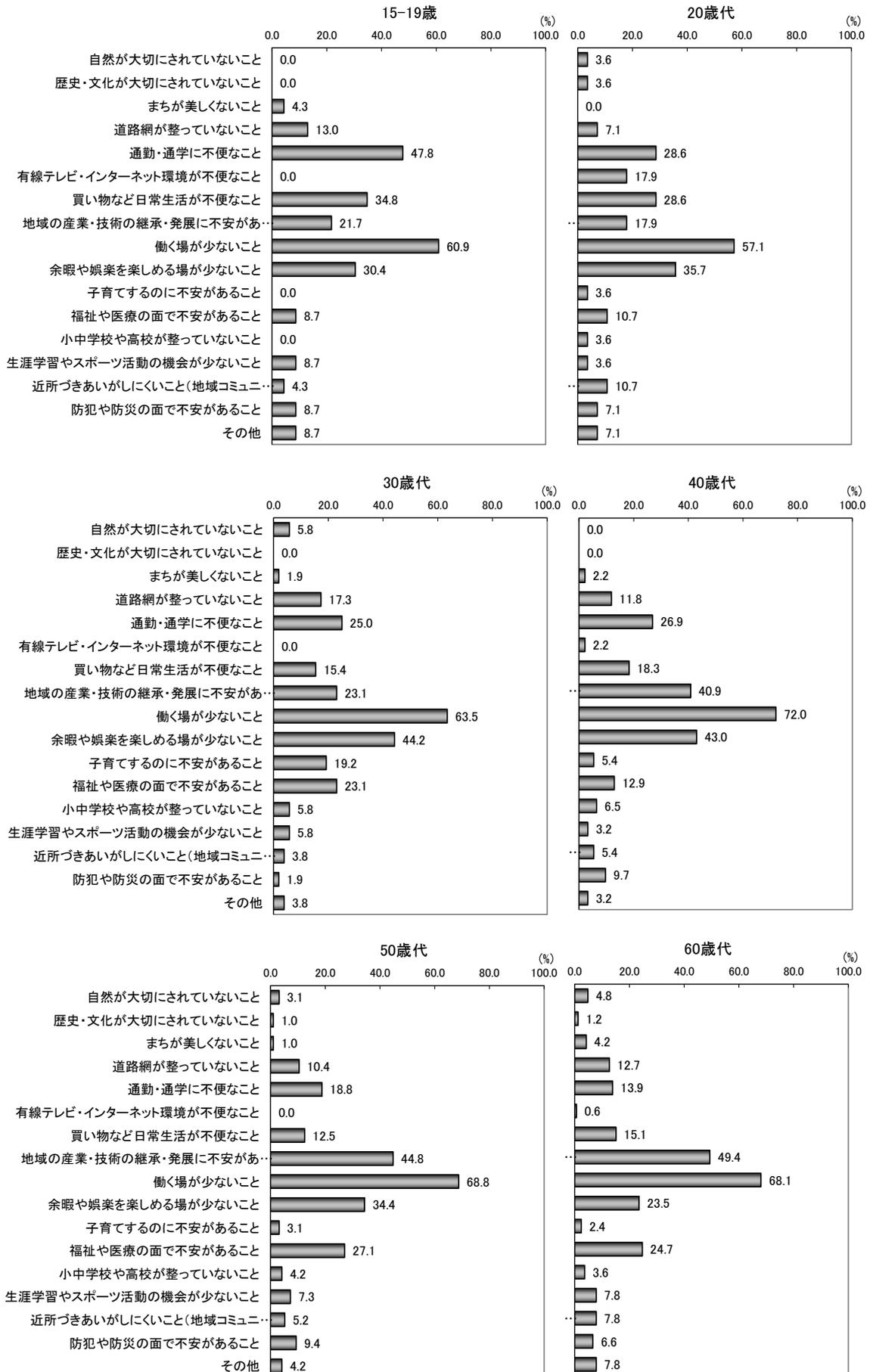


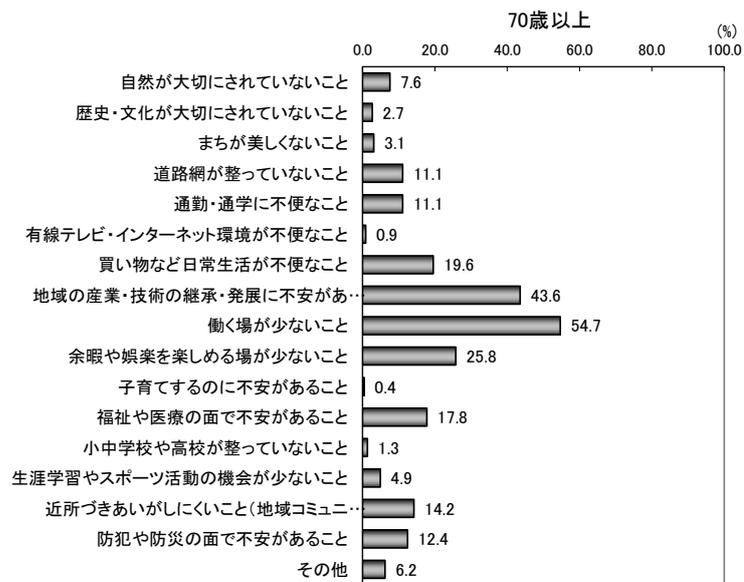
(注)これまでの調査には「地域の産業・技術が継承・発展に不安がある」の選択肢はない。

地域別にみると、「買い物など日常生活が不便なこと」、「福祉や医療の面で不安があること」、「地域の産業・技術の継承・発展に不安があること」などで違いがみられます。



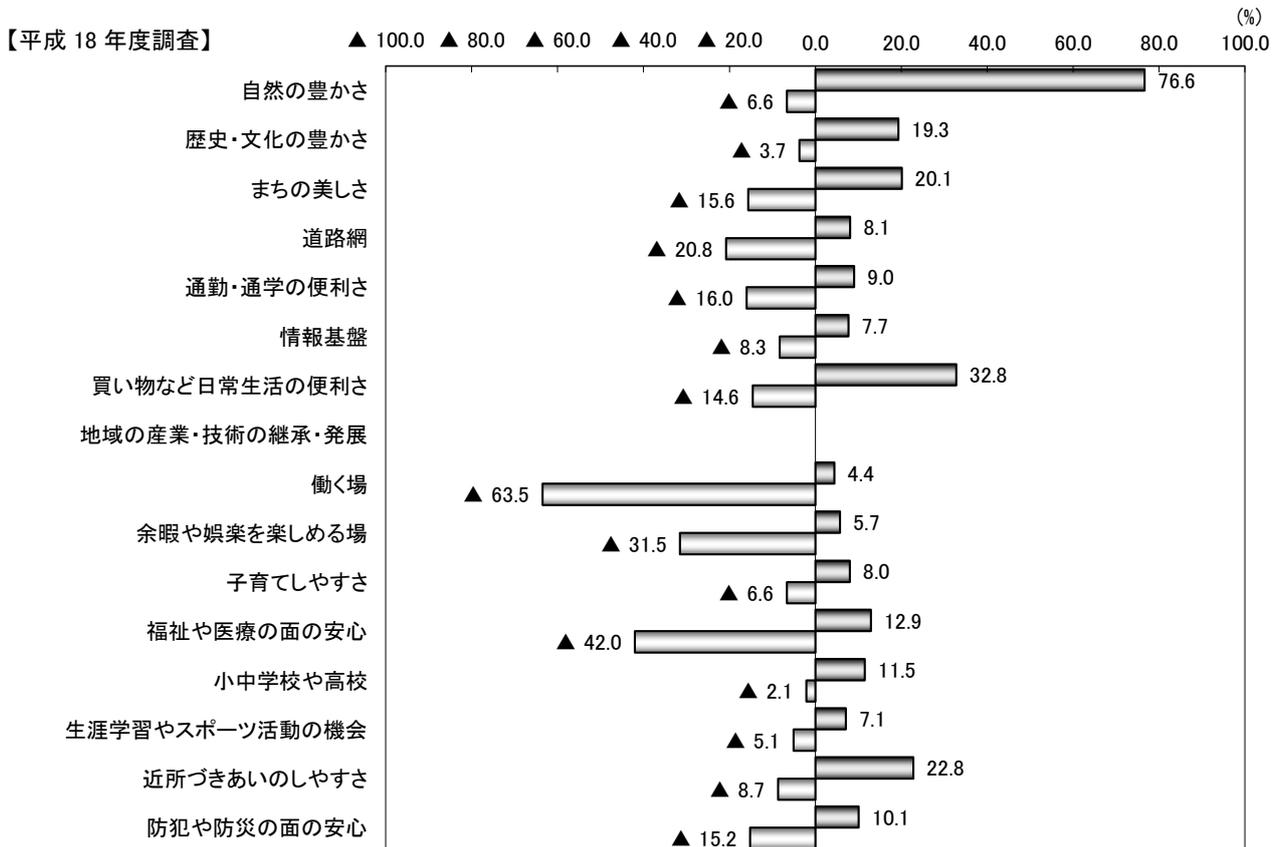
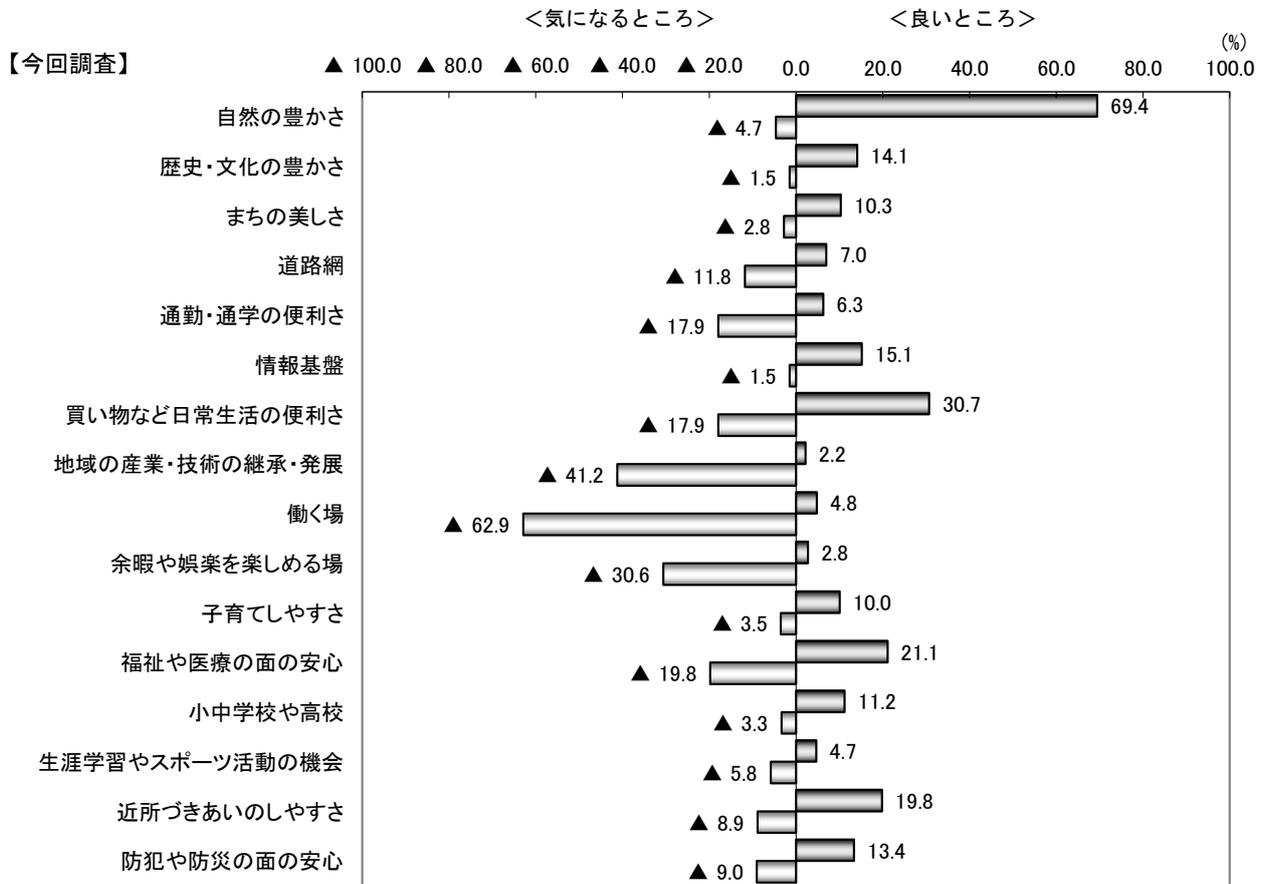
年齢別にみると、どの年齢層においても「働く場が少ないこと」が最も高く、「地域の産業・技術の継承・発展に不安があること」は40歳代以上で高く、「通勤・通学に不便なこと」は特に15歳～19歳で高くなっています。





(4) 与謝野町の良いところと気になるところ

与謝野町の良いところと気になるところを1つのグラフにすると、次のとおりです。



4 与謝野町のまちづくりと将来の姿について

(1) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度

問 10 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どの程度満足していますか。

《項目ごとに1つずつ選んでください》

全体数=687

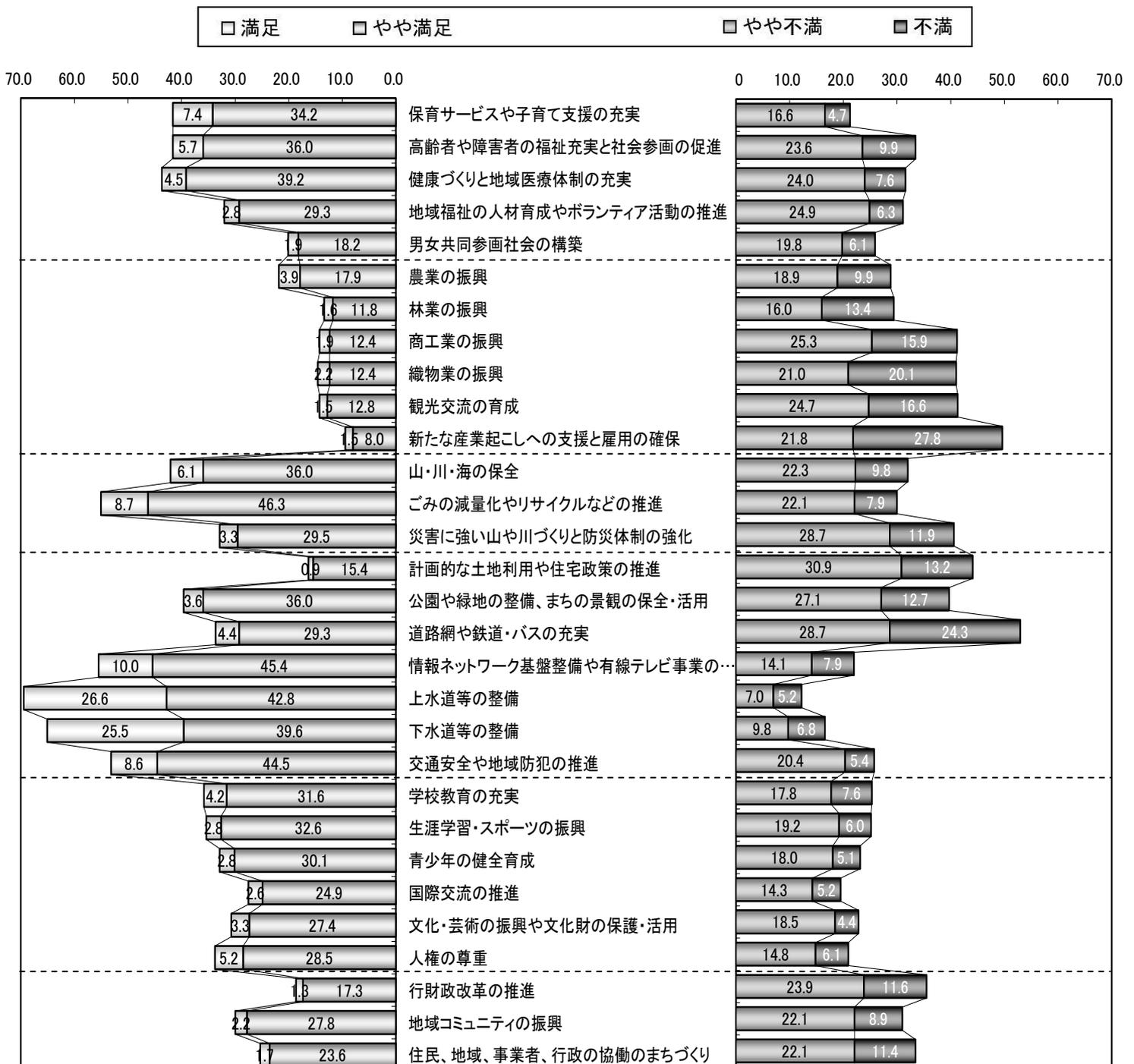
「上水道等の整備」、「下水道等の整備」が「満足」と「やや満足」を合わせてそれぞれ 69.4%と 65.1%と多く、次いで「情報ネットワーク基盤整備や有線テレビ事業の推進」が 55.4%、「ごみの減量化やリサイクルなどの推進」が 55.0%、「交通安全や地域防犯の推進」が 53.1%となっています。

反対に、「道路網や鉄道・バスの充実」は「やや不満」と「不満」を合わせて 53.0%ともっとも多く、次いで「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」49.6%、「計画的な土地利用や住宅政策の推進」44.1%、「災害に強い山や川づくりと防災体制の強化」が 40.6%となっています。

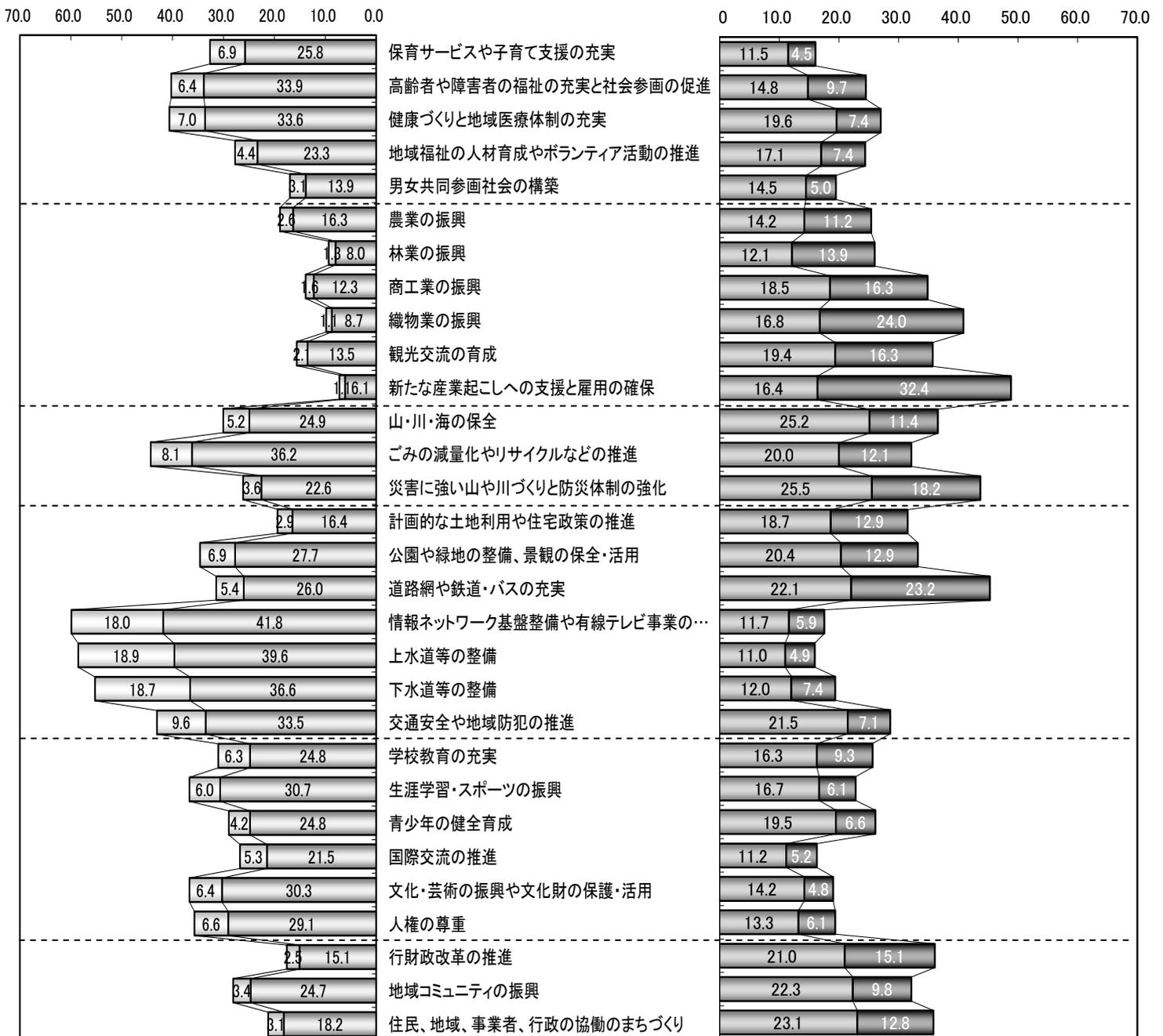
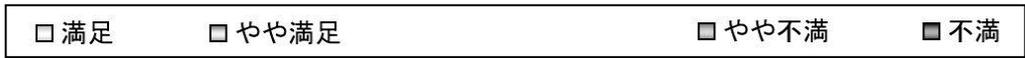
平成 23 年度調査結果と比較すると、「満足」と「やや満足」を合わせて「上水道等の整備」10.9 ポイント、「ごみの減量化やリサイクルなどの推進」10.7 ポイント、「交通安全や地域防犯の推進」10.1 ポイント、「下水道等の整備」9.9 ポイント増えています。

反対に、「やや不満」と「不満」を合わせて「計画的な土地利用や住宅政策の推進」12.6 ポイント、「高齢者や障害者の福祉充実と社会参画の促進」8.9 ポイント、「道路網や鉄道・バスの充実」7.7 ポイント増えています。

【今回調査】



【平成 23 年度調査】



(2) 30年後、与謝野町をどのような町にしたいか

問11 今から30年後、与謝野町をどのような町にしたいですか。また、次世代に何を残したいですか。下図の人口構成と予測も参考にしてください。(絵・イラスト可)。

《いくつでも自由に記述してください》

※平成18年度及び23年度調査では本設問はない

全体数=308

⇒問12は、55ページへ。

| 【総合】に関する意見(78人) |
|---|
| 自然災害に強い町づくり、治山治水の整備。若者が町内で就職できる場づくり①地場産業の育成②工業団地とは言わないが、それに見合う様な企業誘致。第一次総合計画「水、緑、空、笑顔かがやくふれあいの町」スローガンの継続。文化芸能の継続、神楽、大名行列等。(60歳代 男性) |
| 中途半端なことはせず、都会に近づける、便利にする、大型商業施設、遊べる場所(アミューズメント施設 etc) 娯楽。あるいは自然をウリにする、観光(不便さは残しつつも交通の便のみは改良) 子育てに最適! など。どちらか方向を決めて取りかかる。大学で他地域に出ると、そのまま就職してしまい戻ってこない。仕事がないことも人口流出の原因。何も良いアイデアはないが、魅力があれば一旦出て行ってもUターンするはず。移住も期待できる。何か魅力ある町に!(40歳代 女性) |
| <ul style="list-style-type: none">・企業誘致が出来て若い世代の働く場所を確保する。・学校への通学路をすべて歩道ありにする。子育てしやすい環境にする(遠方の子どもにはスクールバス)・バスの路線を増やすもしくは、乗り合いタクシー(安価な)をする(高齢者が出かけやすいように+高齢ドライバーによる事故防止)もちろん誰でも使えるようにする。・空き家や空き地を有効利用して町が借り上げて借りたい人に(移住したい人)安価で貸せる体制にする。・せっかく織物業という昔ながらの産業のある町。高齢化に伴ってその技術が失われるのはとてももったいなく思います。もう少し力を入れて織物の町として残ってほしい。(30歳代 女性) |
| 高齢者、独居世帯等への対策として、30年後を想定しながら今から地域で支えあえるしくみ(昔のような向三軒両隣の生活が見え、支えあう関係※今は都会のように希薄な関係が目立つ?) 地域コミュニティの強化? 婦人組織の活性化や強化、町の予算もそこに計画的に投資していく。また、若者が一旦は外に出ても、将来的に故郷に帰りたいたいと思えるような町づくりが大切。あわせて、脱都会、移住先として「住みたい」と思えるような与謝野町へ→自然豊かな町、そして「人」がやさしく迎え入れてくれる「おもてなしの心」を持った町。「自然」→山・川・海が環境保全が行き届き、自然の生き物と関わったり(あまり規制をしない)、楽しめる場(あまり人為的に作らないほう、農村体験などが良いが、自由に遊べる場が保障されているなど)魚がいて(めだかなど)、鳥がいて(コウノトリなど)。※獣害対策がしっかりされていないと、作っても食べられない。(60歳代 男性) |
| 次世代も今の土地で家族を持ち住み続けるであろうと思われる家は、隣組を見ても数件になると思われる。住んでいる人のいない家屋は無人のままにしておかないで何とか活用できる手立てはないものかと思えます。今、旧岩屋保育所が子育て支援センターとして開放され、充実した遊具と場所、先生でお母さん、子どもたちの笑顔であふれています。そんな状態を見ると子どもたちの声でいっぱいだった昔の保育所を思いうれしくなります。夫婦ともに他町、他府県出身で市営住宅に住んでいる人が「住宅を求めている。岩屋に中古の住宅はないか?」又、介護施設に勤めている人が「冬の間下宿できる家はないか?」などと聞かれることもあった。家を求めて、与謝野に住みたいと思っている若い人がいることを嬉しく思います。自然豊かで子育て支援の充実している与謝野が若い人であふれることを願っています。(60歳代 女性) |
| ①自立できる町、自給率120%を! どんなことがあってもどんな時代になっても安心して食べられる町。しっかりとしたよい地元産で、また加工6次産業もともなって充実させてほしい。②安心して暮らせる町、福祉と医療の充実、特に子どもにお金をかけて。※大学の学費の援助が大事!(50歳代 男性) |

| |
|--|
| 人口減少は地方にとっては全国的な問題であるが、その中でも”しっかりと自立できる町づくり”。 (60歳代 男性) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の振興、 ・職場を確保し若者が住みたいと思える町づくり、 ・農地の有効活用。(40歳代 男性) |
| <p>高齢化率が増えるのなら、元気な高齢者をボランティアというのではなく、何か自身にメリットのある形で社会に貢献できるような仕組みがあれば良いと思う。又、高校を卒業したら大学に進学し町を出てしまうが、卒業後町へ帰ってこられるように雇用の拡大をするべきだと思う。実際、息子が二人いるが、地元就職が難しく都会へ出てしまっている。一人帰ってきたが地元では就職があっても経験や資格がないと難しい。今は、コンビニのアルバイトをしているが、とても生活できるだけの収入も無く、親が養っている。これでは結婚も出来ない。アルバイトでは厚生年金にも入れず、健康保険も親の保険に入っている。臨時やアルバイトでなく、正社員になれる雇用の拡大を切に望みます。私自身、幼い子ども3人連れて町外から引っ越してきて、近所の方に本当によくしてもらって、ありがたいと思っています。町外へ出て行ってしまった子ども達が、家族をつれて帰ってこられる町になったら良いなあとおもいます。子育てと介護どちらもしやすい町になれば、自然と人口も増えると思います。(60歳代 男性)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・町全体を自然豊かで、他ではない様な(見られない)場所に出来れば・・・。 ・テレビで見たが、淡水魚、海水魚、両方を同じ水槽で養殖していた。このような新しいチャレンジもいいのではないか？(60歳代 女性) |
| <p>様々な年代やライフスタイルの人たちがそれぞれに生きがいや楽しみを持てる町になってほしいです。ただ若者に戻ってきてもらいたいというだけでなく、中～高齢の人たちにも生き生きと元気に過ごしてもらって、それぞれの年代が助け合えるような町になってほしいです。(20歳代 女性)</p> |
| <p>高齢化対策が整っていて若者に大きな負担とならない町。地域(地区、班)で助け合える仕組みづくり、孤立化を防ぐため。文化の継承。他地域、全国、世界から人が集まる観光地。経済効果も含め。食を大事に出来る町。ユニバーサルデザインが整った町。(30歳代 女性)</p> |
| <p>全体的な人口の減少や人口構成の問題は、与謝野町だけの問題じゃないので、それをどうにかすることを第一の目的にするとちょっとハードルが高いかなと思う。”30年後”という長期的なビジョンも大切だけれど、今日一日、明日一日をこの町で暮らす人、学ぶ人、働く人が今の現実の中でいるわけだから、まず視点を当てるべきはそうした人たち一人ひとりなのではないのだろうか。人口100万、200万の大都市ではない、ということを生かして、どこか、だれか、どんな願いや困り感を持っているのかを掴むことから始めること、そして、それらをきちんとサポート、解決しきることに重点を置いて調整を進めればいい。そうした仕事は決してスマートでカッコよく、効率のよい仕事ではないけれど、でも、”わたし”を見てくれている町。”わたし”の思いを聞いてくれる町。”わたし”の願いをサポートしてくれて、”わたし”の困り感を解決しようとしてくれる町は、人々が安心して暮らし続けたいと思える町だろうし、一度出ることがあっても戻って来たいと思う町になるのではないかな。で、そういうことを”本気”でやり続けるうちに町の本当の特色が見つかったり、作り出したり、継続させていったり、成長させていったり出来るのかなと思います。(40歳代 男性)</p> |
| <p>30年後は私は生存していないと思います。これから老年期へ入っていくのですが健康でいたい、ひとりぼっちになりたくない。いきがいを見つけていたいと様々な思いを持っています。これらの支え、礎となるものが提供していただけていたらありがたいと思います。若い人たちへの生活が出来やすい町づくり、老人が楽しく生活できる町づくり、そして共有しあって生きていける環境を望みます。人間形成の基本となるモラルや人として持っていなければならないやさしさ、思いやりを育てていって欲しい。介護施設が今後どのように変化していくのかとったり・・・。(60歳代 女性)</p> |
| <p>住みよい町に・交通網の発達やインターネット社会により、子ども達は国際社会にどんどんつながっていくと思うので、それに引け目ない(田舎だからとか思えない)教育の充実をしていく必要があると思います。そして高齢者同士がつながりあい、男女隔てなく尊重される社会にしていけたら良いです。(30歳代 女性)</p> |

| |
|---|
| 安全に子育て出来る町になってほしい。車が無くても、買物ができる交通網、高齢でも地域に参画できる社会。(50歳代 女性) |
| 子育て世代に優しい町へ。高齢者、障害者に優しい町へ。人に優しい町へ。自然と伝統の保全された町へ。(40歳代 男性) |
| ①もっと明るい活気のある町にしたい。②古民家の利用方法を考える。③与謝野町の特産物を作る工場を誘致する。(70歳以上 女性) |
| 人が集いやすい活気のある町、福祉面の充実化、雇用の拡大。(30歳代 女性) |
| ※福祉と低所得者への安心※災害に強い町づくり※若者が町内で働きが出来る町。(70歳以上 男性) |
| 昔のように子どもが多く活気がありそれなりに生活基盤を充実した環境社会を望む。(60歳代 男性) |
| 合併10周年経ても未だ本庁舎問題も解決に至らず旧体質そのままなのか?(しがらみのない町政を)ゴミ袋、上下水道の値上げ学校の統廃合など与謝野町に未来はあるのだろうか(少人数学級の充実を)住みやすい町として残してやりたい。また高齢者が若者と一緒に頑張れる町にしてほしい。(60歳代 男性) |
| 30年後は若い世代が多く活気あふれた町になってほしい。隣近所を見ても若い人は誰もいない。今与謝野町はシニアの私から見ても住人でよかったとは思わない!理由は?人間関係、偏見、シニアの方も若い人の意見を聞き入れない風潮があるような気がする(三河内区)町の体制としては、よくやっていただいていると思うのですが、なにかしら住み心地が悪いのはなぜか?新しいものを取り入れて古いものも残すことが大切ですが、若い世代が意見を言う場が少ない。シニアの方ももっと若い人の意見に耳を傾けても良いと思います。私を含む住民シニアの人達が若い人が住みたいと思う町づくりをしていかないとダメだと思えます。若い人、シニア同時意見交換の実施など。(70歳以上 男性) |
| 与謝野町には、自慢できる建築物、人物、名物的なものがないと思います。(あるにはあるが、あまり目立ってないような・・・)もっと、ここがすごいというものを極めていけたら良いのですが・・・そうすると、活気が出て人口が増えるようになれば、高齢化の問題にも少しはよい方向へとつながるのではないかと思います。観光的なものがないので難しいですが、与謝野町に住むとこんなに住みやすい得なことがある(免除してくれる、医療、保育、福祉など)住みやすい良い町になればと思います。(40歳代 女性) |
| 少子高齢化が顕著である。暗いニュースが多いが、明るい話題を提供願いたい。冒頭の件に関して2つばかり申し上げたい。まず、少子化に伴い、小中学校(高校も含まれるかな?)の統廃合が考えられるが、それは慎重に進めてほしい。廃校(休校)となる校舎の活用方法が町全体がバランス良く発展していくのが望ましいし、一極集中は避けるべきでしょう。もう一点、高齢者の増加に伴い福祉施設の充実が望まれるが、むしろ健康長寿の町として、生涯スポーツの奨励等各種施策を促進することが肝要ではなからうか。健康増進に後見できる産業の育成も重要な施策のひとつだと思います。以上。(60歳代 男性) |
| 人間は必ず死が訪れる100%。生きるとは少しの食料で済む。私を知る(病気はどこか?)自我がないこんなもんだ!過去も未来もない”今”が大事、今することをし満足感を味わう。コミュニティは大事だが他人のうわさ話はするな。良い友人を作ろう。もちろん経済も大事。行き着くところまでできていると思う。人間は手足しか動かない頭で考えすぎ(妄想しすぎ)もっとシンプルに生きよう。大勢がこんな考えでいたら町も良くなると思います。自分がいっぱいある世の中もったいないもったいない。国のロボット化はもういい。もう少し一人ひとりを大事な政策があるのと違いますが・・・キラリと光る与謝野町を作りましょう(皆で学ぼう)(70歳以上 男性) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治組織の強化を図る。 ・小型バスを改造し、役場出前オフィス車を作る。役場までこられない高齢社宅に出向き、住民票、印鑑証明の交付はもちろん、申告の受付、介護認定の受付等、出かけることが出来ない方の支援を行う(有料でもOKだと思う)(60歳代 男性) |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・政府の悪政に翻弄されない骨太の基本方針をもった町 ・農林漁業が盛んで、太陽光、風力、水力発電所が整備され多くのものが地産地消出来る町。 ・保育、子育て、教育が充実した若者が住みたいと思う町。 ・スポーツ、文化活動が盛んな町（必ずしも競技力が高いということではない。一部の人がマイナーな競技で名前を売っても仕方が無い） ・役場の職員がのびのびと力量を発揮できる雰囲気、学校の教職員が上からの妙な圧力を受けずに十分に子どもに関わることができる学校。 ・外国人が普通に入出入りし、うろうろしているような国際色豊かな町。そのための仕事や文化がある町。 ・あらゆる点において身の丈にあった施策を実行し続けることができる sustainable な町。（60 歳代 男性） |
| <p>私は、与謝野町が都会のようにゴミゴミした場所にはなって欲しくないと考えます。不便なことも多くありますが、やはり育った地域には愛着がありますし、今までのようにこれからも穏やかな環境であって欲しいです。美しい山々と水田の光景が好きです。人口の減少と高齢者の増加については全国的な課題であり、もはや地方だけの力ではどうしようも出来ないところまできているのではないのでしょうか。（15 歳～19 歳 女性）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・近年は地震等自然災害の被害が各地で発生しているので、「災害に強い町」（有事の際の対応がしっかりしている町）というのは、大変魅力的なのではないかと思います。 ・学校へ行くため、市内へ一度出てから与謝野町の実家へ戻って、働いています。自分の自立のため、実家を出ることを考えていた際、町内には空き家らしい民家がいくつかあり、そういったところをお借りできたらなあとおもいました。特に宮津市さんでは空き家バンクというのがあり、1 ターンの方だけでなく、どなたでもお借りできるようでしたので、うらやましく感じました。 ・与謝野の町を次世代につなぐためには、やはり若い世代や、子どもがいることが不可欠だと思います。なので、住むところがあり、雇用があり、教育施設や環境が充実し、また若い世代や子ども達を見守り、受け入れる地域づくりが重要だと思います。（20 歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・特産品をもっと前面に出すべき！ ・ひまわり畑とか、昔もっときれいだった事、物をもっと盛り上げるべき。 ・空き家の処分→高齢者はしたくても出来ない→・残っていたら景観が悪い、子どもに悪影響、あぶない。 ・都会に出た人が定期的に帰れる（帰りやすい）制度を作ってほしい！バスを増やす（野田川丹海本社⇄大阪、京都）特別な価格にしてほしい、割引。 ・他の地域にももっと興味を持ってほしい。（20 歳代 女性） |
| <p>空き家や空き店舗対策と、子育て支援（土日や夕方帯）、キャンプ場などの宣伝、利用拡大（双峰公園）、豆っこ米以外にもオーガニック農業に力を入れてほしい。（30 歳代 男性）</p> |
| <p>役場中心に施設のそろったニュータウンの建設。病院、学校、銀行、ショッピング、マンション等。年々空き家が増えて人口減と過疎化になるのは避けられない。外部から見て住みたい町になればいいのですが。土地があるので全国から人を呼べるような観光名物があれば（日本にひとつしかないものとか？）（60 歳代 男性）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・30 年後も丹後ちりめんの町であってほしいと思う。 ・人口が減っても子どもの教育が十分に出来る町であってほしい。 ・30 年後は高齢者も減るでしょうから、活力のある若々しい町であってほしい。（70 歳以上 女性） |
| <p>1. 世界中から人が来る町（何か魅力的なものの必要）、2. 自然環境。（40 歳代 男性）</p> |
| <p>住みやすく活力のある町であってほしい。（40 歳代 男性）</p> |
| <p>人口が減って高齢化になっていくのが目に見えているので、楽しみを持って生活できる町になれば良いと思います。出かける場所があると良いかな。（50 歳代 女性）</p> |
| <p>都会にしたい（15 歳～19 歳 男性）</p> |

| |
|---|
| 大きな町にしたいです。(40歳代 男性) |
| 大きな会社や高い建物がなく、自然界の中で暮らしていることが分かる町だと思います。「町をどのようにしたいか」それぞれの人たちの思いでは動かなくなっている社会です。全国の情報に流されることなく、この町固有のものを守り、若い人たちがその状況を目の当たりに出来る仕組みを作らなければいけないのではと思います。現代人は、「知っている」という思い込みの中で生きている人が大半です。機織や畳作りをされている現場を見るだけで感動します。子どものときに新しいものを見たときの新鮮なまなざしは、大人になっても簡単に蘇ります。子どもたちに文化として体験させる機会が、学校の授業などでだけ行われ、私たちが町中で見ることが出来た「現場」を体験できなくなっています。興味から入ることこそ、自分たちの町に愛着を感じるのではないかと思います。次世代に残したいのは、古い建物の路地裏、海や山との関わりを持てる暮らしです。これらは、やはり私たちの世代のものの意識の中に刷り込まれています。「田舎」、見ていたい、けど住むのは嫌。丹後半島全域を見て、よそからやって来る若者たちは「田舎で暮らしたい」という思いの人が多いです。(知識レベルの高い人達が多い) 不満を漏らす人には田舎は向かないです。子どもたち、少年少女に与謝野町を体験する機会を与えてあげてください。(という、他人事の人が多いのも問題です。一緒にやらなければ意味がないですね) (60歳代 男性) |
| 30年後の少子高齢化の下降ペースをできるだけ早い段階でゆるいペースになるようにしなくては町は存続しない。人口減少を減らすにはこの町に住む人を増やすこと。増やすためには、住みたいと思える町であること。住みたいポイントは人それぞれ違うかもしれないが、決して企業誘致や産業を興すことといった既存のアイデアではない新たな考え方が必要になってくる。「豊かな暮らし」の豊かさを何に求めるのか。自然環境やサービスの向上はもとより、一人ひとりの考えや思いが大切にされ、各々が人のため、町のために役立っていると思えること。何かしらの貢献ができ、それが生きがいややりがいにつながるような町づくりが必要。又、そこに関わる人は住民だけでなく他地域の様々な年代キャリアの人が関わっていることも大切。週末人口が増える町でもよい。(50歳代 女性) |
| 次世代に残したいのは、平和で心豊かに暮らせる町です。住んでいる町に誇りと郷土愛をもてるように若い世代に教育、伝承していかなくてははいけません。山から川、海に連なっている豊かな自然は与謝野町の宝です。子どもたちにはその自然に大いに触れ、学ぶ機会を教育、地域のコミュニティを通じて得られるようにする。その中で町として、農業、地場産業、商業、観光など、色々な面で魅力ある受け皿があれば、又、次世代につないでいってくれる担い手として地域に残ってくれるはず。 ※その他に他の地域との交流、他の地域方の若者の移住も熱意ある人材確保に良いのではないのでしょうか。(60歳代 女性) |
| 与謝野町(ここ)にしかないものを作って欲しい。(40歳代 男性) |
| 高齢になると健康を一番に考えます。30年後も福祉がさらに充実した行政で、皆が元気で楽しく集い合えるコミュニティ活動を残して欲しい。また、若者がこの地に勤務先がある職場を増やすなどにより、人口減少を食い止めて欲しい。(70歳以上 男性) |
| 美しい自然、子育て支援～例えば地域ぐるみで地域の子を支えあう、ボランティア活動として、高齢者の見守り、今後も空き家が増え、若い人が都会に出て行く中で残ったもので地域ぐるみで支えあう必要が出てくるのではないか。そこにプラスして行政やNPOなど事業者の支援も必要となると思う。(60歳代 女性) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・山紫水明すばらしい此の地。 ・世界平和で明るい子供達の笑い声の響く町。 ・障害の有無に関わらず楽しい生活の出来る世の中。 ・病院。店等への交通の便。只今色々と考えて取り組んでいくことすべて、有難いと感謝しております。どうぞよろしく願いいたします。(70歳以上 女性) |
| この地域のみならず日本どこの地域においても起こりうる現状だと思いますが、やはりこの地域のいいところを見直し、広めて考えていけたら良いなと思います。(70歳以上 女性) |
| いろんな部門でオンリーワンの物がいかに多く出来ているかで将来は決まる。創造的なものが多ければ多いほど活気づく。与謝野町にしかないもの。(70歳以上 男性) |

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基本となるのは、働く場所の無い点。全てがここから始まると思います。 ・もう一点は、医療の充実より、その前の段階で手を打つ。どこかの自治体でされている健康づくりのポイント制、とてもいい制度だと思います。 ・自然は良いと思うが、ここへ遊びに来てもう一度来たいかと問われればNO！子どもが小さい頃丹波自然公園に行きましたが、何回もいった記憶があります。これといったものは無かったと思うが、何かひきつけられたのでしょうか。（70歳以上 女性） |
| <p>残したいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然 山川海田畑 機械ロボットを使って手入れ ・織物 伝統産業を途切れさせない ・住み心地のよさ 安全・安心して暮らせる環境の継続 30年後の与謝野町 ・多分この世にいないと思うが子どもの声が聞こえる町であってほしい。 ・舞鶴も含めた三市二町で役割分担を決め、中国や海外の国と関係を築いて北部を発展させる。日本全体の問題でもあり、一町民には手立てが思いもつかない。提出が遅くなり申し訳ありませんでした。（60歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者であっても働ける場を作ってください。 ・皆が気軽にいける基地公園を作ってください（横浜の外人基地のように） ・高速道路の開通で京都市までのアクセスが良くなりました。与謝野町の観光振興を強く希望します。又、高速道路は4車線が当たり前です。他府県等の例を見ても、京都府は遅れており残念です。国や府への強い働きかけをお願いします。「まともな高速道路を作ってくださいように！」（60歳代 男性） |
| <p>休耕地や山などを全国からオーナーを募り、地元の農、林業者と協同して経営、参画できるような体制を作る。（40歳代 男性）</p> |
| <p>人口ピラミッドより（1）15～64歳の生産労働人口5.7ポイント減少。（2）65歳以上10ポイント増加、人口減少と高齢化UPは①超過疎化②世帯数は人口減少より減少率が低いと推測され一世帯あたりの家族数減少になり、独居老人の増加を意味し、地域コミュニティの崩壊をもたらす⇒1. 次世代に残せるもの、豊かな自然の南北に流れる川（水）と農地であり、農業人口減少傾向の中、稲作以外の農業を開発、育成し、新産業として（六次産業化）（素材農業から加工農業へ）生産人口の町民の就労の場として新農業モデルを残す。2. 次世代に残すべきもの、高齢者。独居老人に住みやすい新コミュニティ地域を町の中心地域に作り、公営住宅を含む新しい高齢化社会の集合生活圏を作り、高齢者に優しいインフラ密度の高い効率のよい町をリノベーションし、残す。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>高校卒業後ほとんどの若者は大学進学。残っている10代後半の人達は数少ない就職組しかいない。大学卒業後もUターンはほとんどないのは圧倒的に働く先が無く数を増やすのはなかなか難しいことではありますが、魅力ある企業が少ないと思います。在住の私たちでも与謝野町の魅力と聞かれると思いつかないです。通りすがりの町でなく何度も来たい、留まりたいと思えるような与謝野ブランドがあれば…残してほしいと思うのも。古民家維持リフォーム、リノベーション、農業での与謝野ブランド野菜、どんどんアピールしてほしい。（50歳代 女性）</p> |
| <p>現在は車に乗れて、どこにでもいけますが、岩滝などトイレがたくさんありますが、加悦から野田川、石川方面、作っていただきたいです。インターを降りる周辺に道の駅、石川の辺など、目に付くところなどに作っていただきたい。野菜、地元の物産品。借家など、役所がもっと力を入れて、借りてもらえるように、宣伝していただければ、若い方、家族などに住んでいただけると思います。若い家族、高齢の人などが周辺に住めるように、若い子どものエネルギーをもらえば元気に笑顔も出てきます。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>人口を増やしてほしいと思うが、それは難しいと思うので、せめて人口を減らすのを止めて欲しい。都会では保育所などが足りていないため、待機児童が増えている・その待機児童をこの町に呼べば良いと思う。そうしたら潰れた保育所を復活させることが出来ると思う。また、人口も増えると思う。でも人を呼ぶための家を建てるのに、山を切り崩すのはやめて欲しい。外貨を得るために、フェスを開いて、人を呼べば良いと思う。大きな道以外にも、除雪に入って欲しい。（15歳～19歳 女性）</p> |

| |
|--|
| <p>「町民へのお知らせ」や一般の町民に見えにくいものの印刷費が最近多いように思う。各家庭配布、回覧物等一考してほしい。町の臨時職員の待遇があまり良くないように思う。生活のために働いているのだから、少しでも良くなるよう努めてほしい。農業対策を充実してほしい。もみがら等の処理を町でまとめて行い、肥料に使えるようにして還元するなど、いろいろ検討できることもあるのでは・・・休耕地も多いのがとても気になる。町内で最大限自給自足出来るようにする等の姿勢は望めないか？（50歳代 女性）</p> |
| <p>現在の和装織物業の早期撤退。道路（特に高速道路）の早期着工、山陰道。国立大学の設置。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>ちりめん街道といいながら、ちりめんの作品を展示する場所がないのは残念。着物はもちろん、小物などいっぱい見ていただける場所があると良いと思う。（60歳代 女性）</p> |
| <p>地域青少年、老人のコミュニティ振興。農業食の安全。（60歳代 男性）</p> |
| <p>地域を作ってこられた高齢者に謙虚に学ぶ。学ぶ内容はもちろんのこと、学ぶ側の姿勢、心構え、心遣いといった、一見難しそうに思える目には見えない部分を大人が次世代を担う子どもたちに示していく。「今の子は・・・」という否定的な見方ではなく、そのように育ててきた大人として（地域住民として）自らが良い手本となれるよう努力する。その一助として高齢者のノウハウや戦争体験、昔の遊び、苦労話、うれしかった話等を聞く場を設定する（小さな単位で）（50歳代 女性）</p> |
| <p>高速道路が出来ても、立ち寄りたいたい町と思える何かがあれば・・・。農地（田んぼ）は今後、荒地が増えるのでは・・・。そういった荒地を見るだけで、寂れた町と覚えてしまう。何かに活用できれば・・・。例えば、ひまわりだけでなく、あじさいとか（町の花木）を植えて、イベントするとか、季節ごとに来てもらえる？！（40歳代 女性）</p> |
| <p>①20代30代中心の色々なフォーラムを推進してもらおう。40代の方はサポーターしてもらおう（住みたい町づくり）②産業改革A企業誘致の推進B地元会社の発展C与謝野会社の設立（与謝野雇用促進事業）③あらゆるアクセスを良くする。道路は産業、観光に要求される。少しでも安全に早く。④中途半端な施策では益々だめになると思います。予測よりもっと悪い状態になると思います。（60歳代 男性）</p> |
| <p>土地開拓を主に町全体を便利化し、次世代に地方就職などで地方離れを防ぐ為にもこの先子どもに選択肢を与えてあげられる環境づくりによって人口減少も回避でき、30年後は今より安定した町になっているような気がします。親は、子どもとずっと一緒にいたいものです。今の状態では、就職口がないこの土地には残ると言う選択肢がないということです。（40歳代 女性）</p> |
| <p>今現在、当たり前のように行われている行事や、地域区画割等、一度、分解するべきだと思います。伝統文化も必要だとは思いますが、生きていくために何をすべきか、ということのを第一に考えてほしい。当然、経済的なことが1番であろうと思います。封建的な考え方は、もうありません。（50歳代 男性）</p> |
| <p>小学校、中学校、高校、大学と一箇所に出来ればと思う。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>人口増が重要。（50歳代 女性）</p> |
| <p>子どもが半分になることは、とても悲しいことです。町の中に子どもの声や姿がないところは活気もなくなります。歯止めになることはないのか？知恵を出しあう事で、何をしていくか案を出すことから始めるべきでは？（50歳代 男性）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・働き手が少なくなってくるので、税収も減り、公共サービスが不十分になるので、町をコンパクトに住むように、計画的な土地、企業等を集中して集めるような取り組みをしないとこの予想図より早く人口構成にならないようにする。 ・与謝野町に若い人が帰ってこれるように、住宅、空き店舗等に優先的に入れるように低家賃等誘致する。 ・自然豊かではある反面、アミューズメント等（内海ポートレース場）とか、バルーン（気球場）とか、ヨットレース（風が弱いかな？）、今現在あるような概念でないような内容。 ・大胆な発想転換を町全体でやっていくことが必要だと思います。 ・元気な年寄りも活用してほしいし、その年代が引っ張っていくことが必要であると思います。（50歳代 女性） |

| |
|---|
| 住民の経済的負担の軽減。行財政健全化。町潤い、美しく閉じる。(50歳代 男性) |
| 子どもの減少により、小学校の統廃合は免れません。そこで、廃校になった校舎や、空教室を利用して老人向けの施設へ変えていく(その中に幼児の遊ぶ部屋があってもいいなあ・・・)(60歳代 女性) |
| 農業振興：農業従事者(専業農家)の育成推進と農業法人の設立を推進し雇用を図り、優良農地の保全が必要。産業振興：丹後ちりめんだけの町づくりではなく、若い人の働く場所の提供を促進(企業誘致など)子育て支援：子育て世帯を増す為に、子育てのしやすい町づくり(必要経費の軽減)をはかり、若い人の流出を止める。(60歳代 女性) |
| 里山の復活。区民あげて山林、川の清掃、植林等里山への関心、愛着を植えつける。(70歳以上 男性) |
| アンケートは考えのない者か、余程考えに詰まったものが行う常套手段です。問12の内5つまで選択せよとありますが、問いが間違っています。30すべてが重要です。優先順位をつけることは、行政の怠慢にお墨付きを与えるようなものです。これらの項目は全国共通であり、「山・川・海を保全し、災害に強いまちをつくる」とか、答えは問いの中にあり町の30年後のあるべき姿は簡単に想像できます。与謝野町を伊根町に置き換えても、さして違和感はありません。未来を想像させることにより、現実から目をそらし問題のすり替えをしないでいただきたい。未来のため、今すぐに何をすべきか、見据えてください。第一次与謝野町総合計画はどうになりましたか?桜を町中に植えてください。子どもに町の歴史を教えてください。過去を共有することは、現在を共に生き、未来を共有することでもあります。(60歳代 男性) |
| 人口減少、高齢化率の増加、若年層の減少で想像するのは活気がなく、さみしい状態になるのではないかと心配されます。かつてちりめん等織物産業がうまくいっていた頃は、消費者ニーズと地域の気候風土が相まって良質のちりめんの絹織物ができ、地場産業として成り立っていたのだらうと思います。地域の特徴(山や海)があること、おいしい食材があること、人口が少ないのであれば渋滞が少ないことや広い土地があること、クアハウスなど温泉があることなどを利用していけばよいと考えます。大津市に行ったとき、琵琶湖漕艇場を見ることができます。ここではボート競技のメッカになっています。他県で国体があっても、ボート競技は琵琶湖ですることが多いと聞きます。阿蘇海は内海で波は穏やかだと思えます。ボート競技の場を作るとか、渋滞が少ないならロードレース(陸上、ロードバイクなど)、そこまで大がかりになると経費がかかりますが・・・スポーツ競技の合宿所の様な形にすると1,2日の滞在ではなくもう少し滞在日数も増え、そのための雇用も必要となります。すみません素人の考えなので、それに係る経費などは考えず記述しました。(40歳代 女性) |
| 先の理想を求める学者の意見も大切と思うが、足元の小さなことを大切にしてほしい。逆算してその答をさがすべくアンケートは分かるが、日本工業のみの名声に溺れたため微細な産業がおろそかになった教訓を活かして欲しい。種はいっぱい町内にある。只トップ(町長)はマクロを語るまでに自分の足で末端を見るよう、和顔施で行動あるべきと思う。(70歳以上 女性) |
| 「人口の減少は全国的な事」で、与謝野町だけで「どうしようもない」と諦めている人が多すぎる。全国に先駆け「奇抜なアイデア」を出し合い、「与謝野町が全国を引っ張っていくのだ」というくらいの気概を持って行ってほしい。上記の図は「誰でもかける」悲観的な図より、「ここをこうすれば、こうなる」くらいの前向きなものがほしい。(60歳代 男性) |
| 私は、生まれも育ちも与謝野町というわけではありません。なので分からないことが多いのですが・・・でも、この与謝野町が好きです。そんなに不便でもなく都会すぎず、この地域の人懐かしい気質が好きです。若者が働ける企業が少ないのが残念です。働いて家族を養える収入がないと定住者も減るでしょうし、子どもの数も減ると思います。伝統の機織りは素晴らしいと思いますが、それだけで生計を立てている方はほんの一握りですし・・・。ちりめん街道でも色々イベントをされているようですが、町民のほとんどが知らないようではもったいないです。役場を退職された方を再雇用するというシステム(天下り)もいかがなものかと思う。空いたポジションに若い将来性ある人材を雇用すべきだと思います。そして、新しい感覚で新しい発想で勢いで改革していくことも必要ではないでしょうか。町長も若い方が選ばれたということもありますし、保守ではいけないと言う民意の表れです。役場の体制を見直し、町民第一の取り組みを行わなければ発展はないと思う。(30歳代 女性) |

| |
|--|
| 【結婚】に関する意見（8人） |
| 人口減少の対策として、私の親元では各町に結婚相談員が居られ月に1度会合され情報交換があり、多く結婚が決まっているとのこと（営利目的でなく信用できる人たちの紹介で若い人が地元に住まると子どもができ人口が増すのではないのでしょうか。公務員さんが率先して地元の家を構え地元の店で買い物をしないと個人商店が全部潰れてしまい自動車に乗れなくなる老人が店がなく困ります。ちりめん街道にこられても又来たい魅力がないと思います。日祝日には人力車があったり、ちりめんのドレス着て写真が取れる（結婚式をされてない人は特に喜ばれると思います）第一に食事をするところがない、機音が聞こえないなどもっともっと工夫が大事だと思います。他町から引っ越してこられる人（特に若い夫婦等）に安い住宅を作る、2所帯住宅を作り若い人たちに住んでもらう等人口が増えないと何もだめになります。（70歳以上 女性） |
| 若い男女が結婚して住みやすい町に。結婚をしない男、女が多くなりそれが原因で子どもも少なく先が心配です。（60歳代 女性） |
| 結婚適齢期の人材が現在でも高齢化している状態では、今後の人口構成予測は悪化の傾向になると思われる。早めの対策（高額な税金の創設等）を講じる必要があるのではないだろうか。（70歳以上 男性） |
| 老若男女、誰しものが魅力的といえる町を目指す。先での心配は人口減少であり、人口を増やすためには若者たちに住んでいただくことが先決であり、そのためには結婚しても安心して生活できる環境、働く場、子育てしやすい地域、教育支援等の施策を他市町と比べられても与謝野町が若者たちにとって1つでも2つでも秀でた思案で施行してほしい。三河内なので三河内曳山祭りの伝統を後世まで残せる引継ぎをしていきたい。（60歳代 男性） |
| 今若い方が結婚をされません。一人にいるほうが気楽だからです。町も一人でも若い方が結婚されますよう何か力を入れて頂きたいです。今の高齢者はほとんどの方が結婚されて子どもをもうけ苦労してきたんだと思います。一人でも多くの方が結婚されることを願います。（70歳以上 女性） |
| 子どもが結婚しない人が多すぎです。結婚しても子どもの出生率が少なすぎ。子どもを育てることって大変ですがもっと苦労してほしいですね。親は元気で長生きで中高年の人が大変な時代です。だから買い物、病院のアクセスが大変だと思います。（60歳代 女性） |
| 若い人に結婚してもらわないと人口も減ります。（女性） |
| ①若い人の働く場所が必要②若い人が結婚できる町づくり。（70歳以上 女性） |
| 【子育て、教育】に関する意見（23人） |
| 自然も多く子育て支援センターなどもあり子育てはしやすい環境にありますが、保育園が土曜日は午前中まで日曜日は休みとなると働ける場所が限られ、働きにくいです。働けないと収入が減るので子どもを2人目、3人目・・・というのはためらいます。また、室内で遊べるような施設や、小さい子どもを連れて行けるような飲食店なども少ないと言うか無いように感じます。色々なイベントがあってもなかなか知る機会もありませんし、役場での対応もあまり良くなく町外から来た者には情報が届かないのですみにくいと感ずることがあります。（30歳代 女性） |
| 自然が豊かで子どもに対する福祉・医療も充実しているので、子育てしやすい町だと思う。若い夫婦世帯を増やすために移住してもらえるようにアピール（具体的にどういうメリットがあるのかなども含めて）する。とにかく人口増加が重要だと思う。（50歳代 女性） |
| 人口を増やすことを考えて、子育てしやすい町に。保育サービスや子育て支援に力を入れてほしい。（50歳代 女性） |
| 引っ越してきたばかりで分からないことばかりですが、これから子育てをしていくであろう立場なので、子育て支援や教育等が合併10年になり変わって行くのか心配です。福祉ともども、よりよい環境を目指して頑張ってください。（30歳代 女性） |
| 若い人が生活が出来安心して子育てが出来る町にして欲しい。又、健康で長生きできるよう医療と福祉の充実した町に皆でして欲しい。（60歳代 男性） |

| |
|---|
| <p>保育サービスの充実、中高一貫教育の推進で子どもたちのためのサービス・教育に良い町になってほしい。また、老いても体が不自由でも外出（日常の買い物等）が臆することなく出来るよう、公共交通機関を充実させてほしい。バスは「すべての道はローマに通ずる」ごとく便利であつたらうれしい。隣町からもうらやましく思われるような町であつてほしい。与謝野町なら、住んでみたいと思わせる町、人それぞれ違うでしょうが、大きな起業より小さな起業でも生業として生活できるような支援も必要でしょう。これらが30年後にひとつでも実現していたらと思います。私は確かめられないかもしれないけど。（40歳代 女性）</p> |
| <p>次世代につなぐ意見でも子どもの人口が増えればいいが、減ると予想されるので、子どもたちが住みやすいような環境のまちづくりをしていくべきだと考えます。高齢者や今住んでいる人々も大事にしないといけないが、次世代をになう子どもたちにとって、子どもたちの減少を食い止めるべきであり、少子化をまず改善するべきである。それから何を残すか考えるべきである。（30歳代 男性）</p> |
| <p>都会から移住してきたが、自然環境にとても満足している。観光に力を入れることも大切であるが、与謝野町の自然環境は保全するべき。上岡から問題は若者の都会への移住だと考える。対策としてはやはり働き口の確保であると思う。「帰りたいけど、働き口がないから・・・」と言う話をよく耳にする。人口増加には安心して子育てが出来る環境づくりが重要ではないか。2人目、3人目・・・の保育・学費の免除は必要。人口増加に貢献している世帯には優遇されることがあるのは必然。医療機関の過疎化が心配。大きな病気をしたときに現在の医療体制では不安。医療の発達にどんどん力を入れるべき→安心した老後。全国的に人口は減少しているのである程度の減少は仕方ないと思うが・・・。高校卒業後、大学進学のため、都会へでてしまうので、教育が充実すればよい。昔ながらの地元の人にはよそ者を受け入れることが出来ないのではないかな？都会からの移住者を増やすのであれば、新しい環境、考えにも対処できる柔軟性を持つことが大切。（人柄でもあると思うが）→中高年世代に講義等聞いてみては。祭りを含め、行事等の強要は避けるべきである。これは若者離れの原因にもなる。今の子どもたちが都会へ出て帰りたいと思える環境、安心して暮らせる町づくりが最も重要。（30歳代 男性）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・老人の町とならないよう若い世代の働く場所を確保 ・子どもたちがきちんとした社会人になれるよう学校、周りの大人が協力して子どもたちのことがよく見える見通しの良い教育環境を作って子どもを大切に育てて欲しい。 ・学校でどのような授業、先生とのかかわりと持って生活をしているのか公開して皆で子どもを育てる（先生にも色々いらっしゃるようなので安心して子どもを預けて良いのか不安という声も・・・特に中学校）子どもが少なくなるからこそ大事に育ててこの町を良い町に感じて欲しい。（60歳代 女性） |
| <p>年々高齢化率が増加しこのままではこの先どうなってしまうのかと心配です。少しでも出生率が上がるようにするためには安心して子どもが産める環境づくりが大切だと思います。育児休暇が取りやすいようにしたり、休暇明けに仕事が無くなっていたりしないようにしたり男性もどんどん育児に参加できやすいようにしたり、行政が積極的に推し進める必要があると思います。（60歳代 女性）</p> |
| <p>高齢化社会になることは分かっていますが、次世代、子育てを充実させていく社会でなければ、活力のある社会にはなりません。（50歳代 女性）</p> |
| <p>1. 3人目100万円、4人目200万円、5人目300万円と出産祝金と高校までの医療費や学費等の無料化。他入園、入学、卒業祝金制度の創設。2. 雇用と働く場づくり、通勤に必要な道路網の整備充実。3. 地域の医療体制、健康づくりの充実。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>若い人に帰ってこれる職場があり、保（幼）、小中高が地元にある町。（15歳～19歳 男性）</p> |
| <p>子どもが少なくなると学校が減ることが予測されるので、通学が大変不便になる。地元で学べるように与謝野町のよさを発信し、子育て世帯が増えるよう工夫する。そのためには働く場所が必要。子どもを育てやすい環境づくりをさらに推進してほしい。（40歳代 女性）</p> |
| <p>子どもが減っているからといって、学校を統合して減らしたり、いままでどおり安心して通学をまかせられないような案を出すこと自体信じられない。貴重な少なくなる子どもたちだからこそ大切にしてお手厚い教育をするべき。このままでは子どもの成長を素直に喜べない！不安しかない。（30歳代 女性）</p> |

| |
|--|
| <p>まず、高校を卒業するには与謝野町から出ないといけない状況が、若者ばなれになっていると思う。専門学校や大学があればいいのと思う。三重の親戚のおばちゃんが、「散歩できる場所がない」「三重では歩行者用の散歩コースが4kmぐらいある」と言っていたが実感としてある。町民も、健康になるのではないか。(30歳代 女性)</p> |
| <p>少子高齢化、人口減少しても、子どもへの教育体制は残したいです。(30歳代 男性)</p> |
| <p>教育の町、小中一体型学校(40歳代 男性)</p> |
| <p>私は30年後、約80歳になります。子どもも減ってきて今、高校の編成が問題になっていますが私は今のままでよい意見です。第一に高校がなくなると通学が大変になるし不登校になるのが目に見えます。1つの高校の人数が少ないのなら、クラブ数を減らせばいいし、したいクラブがないならそのクラブのあるところへ通えばいいと思います。(50歳代 女性)</p> |
| <p>加悦高の存続、若い人が住みやすいまちづくり(住宅手当など)(30歳代 女性)</p> |
| <p>私の父親は、勉強させたら都会へ出てしまうので勉強はせよと言うことは一度も聞かなかったと人に話していたらしい、学校の先生にも・・・町は奨学金を出して、5年以上町内に住み又は町内の企業、勤務に就いたら返済しなくて良い制度作りの確立急務、町内に住まなかったら1%くらいの利子を払って返済してもらおう。5年以上町内に住めば返済なしに子どもを1人生めば10万~30万程度の祝金支給、子どもの遊ぶ声のする町に、自分のことしか考えてない、老後のことしか考えない人はだめだ。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>教育施設(学校)やスポーツクラブを残して行きたい。子どもが健やかに育つ環境がある町にしたい。将来、働きやすい町にしたい。(20歳代 男性)</p> |
| <p>貴重な若者に対して教育費の無料化(医療費も)(70歳以上 女性)</p> |
| <p>【若者、Uターン、仕事】に関する意見(77人)</p> |
| <p>進学で市内や大阪などへ出た人が就職で帰ってきてやすい町にすれば人口が減るような事が少なくなると思う。少子化で小・中学校が合併され学校が減っているので子育て支援など、もっと子育てしやすい町にするべきだと思う。他府県から人が流れ込んでくるような観光地を作ったりアピールできることはやって町を活性化させるべき。(20歳代 女性)</p> |
| <p>若い人たちが安心して生活できる場所である事。仕事があり経済的に心配せず子育てが出来る生活が送れる。都会から若い人たちにもっと帰ってきてほしいです。でも、難しい現状です。(60歳代 女性)</p> |
| <p>若い人が与謝野町で暮らしたいと思うような町づくりを！新たな産業を興すとか、子どもや老人に優しい町づくりとか、他市に誇れる町にしたいです。わが子三人とも町内には住んでいません。仕事が無い。不便。等の理由です。私自身も30数年前ここに来て、不便さ、人間関係の難しさ、文化レベルの低さとか感じ、何とかしなければ・・・と考えたこともありました。若い頃は自分から求めて行動することもできましたが、年々おっくうになってきました。高齢者が多いのならその人たちの力を活かすこともできるのではないのでしょうか。(60歳代 女性)</p> |
| <p>住み続けたいと思えるようなまちづくり。子どもが一旦町外や府外に出てもまた戻ってきたいと思える、ここで自分の子どもも育てたいと思える環境づくり。そのためには働ける場所も必要。子育て支援や助成金の充実。(30歳代 女性)</p> |
| <p>人口減少は避けられない現実で、それに則した政策を行っていくことが大事だと思います。若い人のUターンIターンも是非来てほしいが、仕事と住むところを考えなければならぬ。私は、ずっといなかで暮らしてきたが、暮らしやすくて良いと思う。そう考える若い人もいるのではないかと同時に、人がいなく成る地域も出てくると思うが、そういう地域に無理やり若い人を住ませるのは、どうかと思う。人がいなくなる地域もあることを踏まえたうえでコンパクトな町づくりをしたほうが良いと思う。(60歳代 女性)</p> |
| <p>人口減少、高齢化は目に見えている。若者が住みやすい働きやすい町づくりが必要。(40歳代 男性)</p> |

| |
|--|
| <p>今の子ども達が大人になったとき、与謝野町に残っても安心して仕事、子育てができる町。仕事も無い、学校も近くにない。そんな地域で、生活したいとは思えない。与謝野町の人口は変わらなくても、仕事、学校、レジャーで人が集まるような施設が増えてほしい。土地の広さを活かした店、工場、専門学校、カルチャースクール、阿蘇海の公園整備、阿蘇海でのカヌーやボートなど……。(40歳代 女性)</p> |
| <p>産業が発展し、若者や子育て世代が住みやすい町にしたい。古くから残された伝統・文化を残したい。(40歳代 男性)</p> |
| <p>若い世代が安定した生活ができるよう、働く場所、子育ての環境の整備、税金が町民にとって有効に使われるように行政の改革を行っていただきたい。もちろん高齢者にとっても住みやすい町、家族に負担をかけず様々なサービスを受けながら安心して過ごせる幸せな町になれば良いですね。(60歳代 女性)</p> |
| <p>30年後若い世代が与謝野町で働けるように、遠くまで通勤しなくても良い様になっていけばいいです。若い人が増えれば子どもも増えるし、活気も出るから、与謝野町に住みたいと思う人が増える町になる様にしたいです。高齢者もこれからはなるべく人の世話にならずに健康に過ごせる様努力しないとイケないと思います。(60歳代 女性)</p> |
| <p>若い人口が多く若人で支えていける町。職があふれる町、大企業の誘致、子育て世代がしっかりとフルタイムで働ける環境の整備。出産祝い金制度等、とにかくこのまちに落ち着いて子どもを育てていこうと思える独自の制度、今後は若い人は取り合いになるので、都会に負けない住みたくする要素が必要。(30歳代 男性)</p> |
| <p>現在、10代~20代の次世代がいったん地域外に出ていっても、また、故郷に帰ってきて住みたいと思ってくれる町にしたいです。そのためには・・・安心して子育てできる町、雇用の充実など”住みやすい町”を目指さなくてはイケないと思います。(50歳代 男性)</p> |
| <p>若い世代の働く場を確保すべき。人口の減少を町としてどう捉えているのか？そのまま放置する？食い止める施策を行う？何か施策を行うならどのような策があるのか？→町として人口減少の策を考えたことがありますか？私が見てきた限り、工業の盛んな地域は地方であっても若い方が多く働かれています。(得に愛知県、市街地から離れた地域でも)人口の減少を食い止めるには若い世代(20~30代)を増やすべきでは？(流出を食い止める、他地域から移住してもらう)若い世代がこの地を離れる理由は？大学がない→仕方ない、大学卒業しても働く場がない、1番の理由では？実施に調査するのもアリ。どの産業がBEST？観光？商業？工業？その他？工業；土地がある、多数の雇用が確保できる、都市から離れていても交通網が改善している→工場の誘致を行うべきでは？(近隣の地域でも可、通勤できる場所)→町として検討してみてください(現段階では町民には何も見えません)(30歳代 男性)</p> |
| <p>年々子どもが少なくなり、色々な行事にしても元気が無いように思います。私は高齢者も大切にしたい気持ちと、これから子どもが増えるよう地域の活動に協力し、若者が与謝野町から出て行かないような町づくりがしたいです。(30歳代 男性)</p> |
| <p>若者が町を離れた後、また戻りたいと思う町づくり。職場(仕事)の確保、自然の保全。(40歳代 男性)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が定住できる町。 ・自然を活用した豊かな町。(60歳代 男性) |
| <p>30年後に存続しているかどうか解らないが少子高齢化の町ではなく、若い人の働ける場所があり子どもの声のする経済的にも豊かで安全・安心して住みやすい町にしていきたい。(60歳代 女性)</p> |

| |
|---|
| <p>高齢者（大人の為）（大人の考え）の為に金を使っていくのではなく、これから生まれてくる命のために金をかけていくべきだと思います。それが若者をはぐくみこの地域の宝物に成ると思うのでもっと大人のための行政ではなく赤ちゃん、子どものための行政のあり方をもっと考えていくべきだと思います・国・地域は人が作っていくもの。その人がいなくなるということは国、地域が衰退していくということなので、とにかく新しい命の誕生のために行政がもっともっと力を注ぐべきです。子どもを生み育てやすい環境をもっともっと充実させるべきです。身勝手な大人のための行政ではなく（お金、お金の）心を大切に作る町づくりを行ってほしいです。人口が減っていくと分かっているのならもっと増やしていくことを考えていくべきです。この地域で結婚し、住み続け、子を産み育てていく環境を第一に考えていただきたいです。高齢者は金を持っています。若い人にはそれだけの蓄えがありません。高齢者を保護するのではなく若者を保護していける様な行政のあり方であって欲しいものです。（40歳代 男性）</p> |
| <p>若い人にも、住みやすい地域。過疎化にはならないように。今から少しずつ若い人向けの取り組みや、ここに住みたいと思わせられることを観光客の人にアピールしていく。（15歳～19歳 女性）</p> |
| <p>若者が多い町づくりを目標にしていきたい。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>高齢者より若者が増える町にしてほしい。（20歳代 女性）</p> |
| <p>若年層が減少していく中、町外への流出を防ぐためにはどうしていけばよいのか考えていく必要があると思います。若者がいるからこそ地域の活性化が見込めるのではないのでしょうか。誰もが此の町に住んでよかったと思える環境づくりをして次世代に継承できたらと思います。（60歳代 女性）</p> |
| <p>若い層の人たちが働けるところがあるようになって欲しい。大学に行っても、与謝野町で働く職場が無く、そのまま市内で就職してしまう。（40歳代 女性）</p> |
| <p>若い人の雇用される企業を増やし、人口増にしていける。双峰の整備をし、観光客を増やす。素敵な自然を生かす方法を見出していく（大江山）（50歳代 女性）</p> |
| <p>若い人たちが戻ってこれる働く場が必要！（70歳以上 女性）</p> |
| <p>若者が住み続けたいと思うよう、働く場を作り出す。新たな産業、工場などを生み出し、働く場があることが大切。そうでないと、人は住めない。（60歳代 女性）</p> |
| <p>若い人たちに与謝野町に住んでもらうには、働く場を増やしてこの町で生活していける環境をつくらなければ、どんどん減っていくと思う。（50歳代 女性）</p> |
| <p>若い人が与謝野町から出て行かないよう、またはUターンできるよう、安定して働く場がもっとできれば・・・（40歳代 女性）</p> |
| <p>仕事、雇用があることが、町に若者が残る又はUターンすることになると思います。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>若年層の働く場所を確保してほしい。過疎化対策が必要です！（60歳代 女性）</p> |
| <p>若い子の働く場がなく、都会に行くのが多く与謝野町も新しい雇用の確保が必要ではないか？より人口が減りそう。自分の子も、家を出て都会に行くのかと思うと寂しい感じです。（40歳代 男性）</p> |
| <p>若い方たちの働く場が増えるようになれば良いと思います。（60歳代 女性）</p> |
| <p>雇用の確保をして、若い世代が暮らせるように願います。（40歳代 女性）</p> |
| <p>30年後の町など考えられません。今のままの行政では、もっともっと住みにくく、町全体が貧乏になっていることでしょう。ちりめん業界も、もうなくなっているでしょうね。早急に、企業の誘致など実行して、働き場所の確保などする必要があります。若者の働き場所が無いので、子ども達は帰ってこれない。親の面倒は見れない。かといって、福祉も予算不足で充実していない。みんな、不幸です。お金持ちの人だけ優雅な生活をして、格差社会は今の行政のままではどんどん進むでしょうね。（60歳代 女性）</p> |
| <p>若い人たちが都会に出て行かなくても働ける職場がたくさん出来れば、与謝野町も人口も多くなるのではと思います。簡単にはいかないでしょうが。私は与謝野町は住みやすいいい町だと思っています。（70歳以上 女性）</p> |

| |
|--|
| 若い人たちの働く場が少ないのでどうしても他の市町村へ行くのではないかと思う。(60歳代 女性) |
| 若者の地元への職がないので子どもが帰ってくるのが難しい。(50歳代 女性) |
| 若者の仕事先の確保、公民館ではない高齢者の集える所地区ごとに。(70歳以上 男性) |
| 小さな単位で「みんなの家」制度があれば孤立化が防ぎやすいのでは。若い人の働く場の確保が一番だと思います。引き続き確保してほしい。(60歳代 女性) |
| 企業の誘致、若者が働ける場所、若者が住める場所、老人ホーム、福祉施設の増設。(50歳代 男性) |
| 少子高齢化が進むと言う事は、若い働き盛りの世代が他所に移動する。又、他所から入ってこないと言うことになると思います。与謝野町に限らず、どこも同じような問題を抱えていると思います。若い世代が働ける産業の創出、又、子育てがしやすい環境を整備したり、小規模でも企業をしようとする人の他所からの受け入れ、支援、新しいけれども地域と密着した産業(地産、地消)。例えば、害獣駆除等(イノシシ、シカ)の一次処理施設(雇用)処理したジビエ(猟肉)を地元の飲食店に安価で卸す仕組み。それを食べたお客様が精肉を買ってくれる。安心して農業が出来る。林業も、里山作りに参加できる仕組み。そうして出来た米、野菜を地元の人が食べてくれる。すべてをばらばらでなく、つなげて1つの大きな流れを作る、又、仕組みをつくっていくのが行政の仕事だと思います。(50歳代 男性) |
| 第一に町の出身者が帰りたい町、他市町から住んでみたいと思う町づくりを進める必要あり。それは福祉第一の町、安心して住める町づくりを築くことが大切。その上で第二に、働く場、産業基盤の確立を進めることが重要。特に産業基盤の確立は難しく、長いスパンで戦略的に系統的に進めなければ失敗する。山添町政の産業政策(商工)を見ると、成果を早く出したいと思う気持ちは分かるが、思いつきの政策が目につく。十分な議論と計画を練り上げた上で職業化をしないと、町政の汚点になると思われる。商工観光課長は、ひどい。上記2つを車の両輪として、粘り強く取り組む幹部が求められている。(60歳代 男性) |
| 昔と違い、近年は高校卒業後大学へ進学する子どもが多くなっています。大学にいつまで就職する場がないため、地元で就職を希望するものも結局は都会への就職となっています。若者が地元に戻り活気ある町にしたいです。(50歳代 男性) |
| まず町内に企業、産業、サービス業、観光業などで卒業後就職先があるようにすること(卒業後町外に出て行く人が多い)。若者が地元で結婚、子育てが出来るように支援すれば、自然と活気のある町に人口増になっていくと思われる。(70歳以上 男性) |
| 一度、進学などで都会に出た子どもたちも地元に戻り就職できるよう、働く場が今よりたくさんある町になってほしい。(30歳代 女性) |
| 大学を卒業した子どもたちが、帰ってきてくれるような町。働く場所が必要。(40歳代 女性) |
| 若者が帰ってこれる産業発掘(雇用確保)、自然を活かした観光及び高校、大学等の合宿誘致による廃校等の活用及び雇用の確保。(50歳代 男性) |
| 良い働く場所があり、Uターンしたくなる町にしてほしい。区役等、若者減少のため負担減をして下さい。(40歳代 男性) |
| 若者が減っていくことはしょうがないことです。なぜなら大学生など戻ってくる際に仕事が無いため戻りづらいという現状があるからです。教育において、小学生の頃から与謝野町のいいところを教えていき、いつでも帰ってこれる安心できる空間にすべきだと思います。(20歳代 女性) |
| 若者が増え活気のある町に(公務員の天下りでいつまでも席を与えず若者の募集を強化すべき)、交通網の充実を強化、企業誘致に力を入れ働く場所を、若者がUターンし、結婚、出産をしない限り人口減少は免れない。次世代に残したいのは活気があり若者があふれる町。(60歳代 女性) |

| |
|--|
| <p>人口の減少はやむをえないと思いますが、これからの世代をになう子どもたちが、与謝野町に愛着を持てるような取り組みが必要だと思えます。新しい施策で、魅力あるまちづくりも大切ですが、まずは地場産業や歴史・文化を今一度見直し、子どもたちに良さを伝え、進学などで町を離れても、必ず与謝野町に戻って来たいと思えるような町にすることが人口の維持に少しでも繋がるのではないかと思います。そうやって戻ってきた子どもたちが、新たに与謝野町で家庭を築いてくれ、町に住み続けたいと思えるような魅力ある町づくりを今からはじめてもらえればと思います。(30歳代 女性)</p> |
| <p>若者に住んでもらうには1番は仕事と考えます。私の経験で近所の長男が帰省するといっていたが、お父さんが「良い仕事がないから帰らなくて良い」といっていたことを思い出す。町は産業を興さなくても、近隣の企業に優秀な若者を送り込むパイプを持つことだと考えます。日頃よりコネクション作りを行政がしっかりする事。又、規制を促す特例等若者にアピールする町になってほしい。優秀な大学を出て、この町に帰省してもらおうことが、人づくりになり、新たな産業となると思う。(60歳代 男性)</p> |
| <p>私は大学生で、今は滋賀県の大津市で一人暮らしをしています。大学4年間で、年に2回ほど里帰りをしてきました。普段は、比較的人口の多いところであったり、建物の多いところで過ごしているので、与謝野町の出身である私にとって、緑豊かな与謝野への里帰りは、心の落ち着きになる部分がありました。与謝野町の人口は、上の図を見ても分かるように、年々減少し、どの年代の層も減りつつあります。これから、与謝野の人口を増やすためには、若い代を増やすほかにありません。私にとって与謝野町は、里であり、一番落ち着くことが出来る場所ですが、里帰りをしたときに、友達と久々に会ったりしても、若者の居場所があまりないのかなと思ったことが何度かありました。極端な話、若者が好むような場所を1つ作るだけでも、変わるのではないかと考えました。参考にしてもらえばありがたいですが、私たちはいつも里帰りをしたときは、比較的小店の多い福知山市か京丹後市に出かけることが多いです。与謝野町が更なる進展を遂げることを祈っています。(20歳代 男性)</p> |
| <p>1. 人口の減少が一番の問題です。特に若者の減少、高齢化社会となるのが目前に迫っています。与謝野町で育った子どもたちが、進学しても与謝野町に戻って住み続けるためには、やはり町内に就労できる場があることが大事です。2. 行政で将来を見つめた若者の働く場、住みよい町づくりを望みます。(教育の力も含めて)参考として、伊根町では、取り組まれつつ見えています。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>個人で事業をしている人達が希望を持てるような町であってほしい。全国どこにでもあるチェーン店ばかりが増えていくのは、便利な反面、大切なものが少しずつ失われていく気がします。(60歳代 女性)</p> |
| <p>今後はコンピュータ、ロボット時代になり、自宅で仕事が出来、大都会への流出が必要なくなり、人口減少も現在とは変わると思えます。若者の企業家が育ちやすい地域づくりを行い行政がバックアップする、そのような町に。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>もちろん若者が働ける場の拡大。若者だけでなく中、高年の働ける場所の提供。若者が帰って来たい与謝野町。(40歳代 男性)</p> |
| <p>与謝野町を含め、全国的に若者の数は減っていると思うが、新しい事業をしたいと思っている若者は少なからずいると思うので、そのような人が与謝野町を活動の拠点に選んでくれるような町になれば良いと思う。(20歳代 男性)</p> |
| <p>若者が生き生きと仕事やいろんな活動が出来る町にして、子どもの数が増加するようにする。(60歳代 男性)</p> |
| <p>とにかく若い人が高卒後も残ってくれて(大卒後帰ってくれて)若い人が働きやすい町。小さくても起業する人がいっぱい町。(50歳代 女性)</p> |
| <p>職種の違う企業家が数多く育ち、若い人たちが職場につけて定住し、活気のある町になればと思う。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>与謝野町は目の前に天橋立を有し、山も海もある大変いいところです。一般的ですが多少人口が減っても若者に仕事があり、年寄りには便利で暮らしやすい町が理想です。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>労働の場を残したい。(40歳代 女性)</p> |

| |
|---|
| 働く場の確保と人口減少抑制。(50歳代 男性) |
| 働く場の充実。(60歳代 男性) |
| 新たな産業起こしへの支援と雇用の確保が最も重要であると思います。(70歳以上 女性) |
| 町の外から人を呼びこめるだけの産業(農、商工業)の育成、誘致。(60歳代 男性) |
| 子ども達が、地元に戻り就職が出来るよう、雇用の確保できる産業、企業誘致が必要。他地域からの転入も見込め、人口減少を食い止めることが出来るのでは・・・産業、企業誘致の施策をお願いします。(60歳代 女性) |
| 若者が住める町、正規雇用率が高く働く場所もたくさんある町。企業誘致、法人税の一部を町が負担する。子どもを育てやすい町。高齢化が進む予想と書かれていますが、高齢者のシェアハウスを町が運営する。 |
| 何か大きな企業を生み出すか、それとも大企業を岩滝に引っ張ってくるかしないと人口も増えないと思います。もう織物産業が先も見えてきたような気が致します。災害も忘れた頃に来るといいのですが、災害に強い町をお願いしたいと思います。(70歳以上 男性) |
| 人口減少は、町に魅力が無いわけではないと思う。働く場所が無いことが原因だと思う。企業誘致にもっと力を入れて、大きな魅力のある企業をつれてきていただきたい。そうすれば、地元民の働き場所を維持できるだろうし、よその地域からも与謝野町に住み着いてくれる人も増えてくる。そうすれば、人口も増加に転じて税収も増える。=町民へのサービスも充実する。ただ犯罪も増えるかな～？(50歳代 男性) |
| 与謝野町の活性化の為企業誘致に力を入れる。(70歳以上 男性) |
| 与謝野町は京丹後市のように若い人が働ける大きな工場とか施設、他あまりないような気がします。与謝野町も、大きな企業の工場、施設を誘致してもらえればと思います。(60歳代 女性) |
| 30年後は私はいないと思うが、家業が織物で生まれ育ちました。岩滝の町、与謝野町がやはり織物(和・洋・その他の織物)で再発展してほしい。技術者の養成(現在は高齢化していない)、丹後の技術を残してほしい。(60歳代 女性) |
| 織物。(20歳代 男性) |
| 織物業の復活。(40歳代 男性) |
| 新しいことを取り入れることも大事だと思います。今まで支えてきた丹後ちりめんの産業をいかに残すかも考えてほしいです。ちりめんも高齢となり、すたれていっているのが、音、目で実感しています。老老夫婦も独居も多くなると予測され、社会福祉の充実が大事となってきます。伊根町で取り組んでいるエンディングノートなど、石野医師より講演等も大事では・・・。(30歳代 女性) |
| 【高齢者】に関する意見(26人) |
| 高齢化に伴い福祉サービスの充実(デイケア、サービスの紹介など)、福祉施設の増加(老健など)、それに伴う雇用機会の増強に力を入れて頂きたいです。また最近話題となった准高齢者(65歳~69歳)の継続的雇用の拡大、機会の提供を重視していただきたい。少子化、老老介護が深刻になっていくと思うので、若い世代が暮らしやすい町づくりが大切だと思います。通勤・通学のための交通機関の充実、子育て世代への補助金などの充実が必要ではないでしょうか。(30歳代 女性) |
| 高齢者が働ける町にしたい。車がなくても困らない町が理想です。(40歳代 女性) |
| 高齢者も働く場所がたくさんある町。(50歳代 男性) |
| 高齢者が働ける場所、つけもの、調味料、甘酒、お味噌など手作りをし販売できる場所。町の景観を四季折々の木々を植え美しい町と思える町づくり。(60歳代 女性) |
| 定年後に働ける場所があると良いですね。(50歳代 女性) |
| 新たな産業、高齢者の仕事(働ける人)(40歳代 男性) |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも健康で働ける人は多数居られます。又、働くことでさらに元気になれる事もあります。よって、医療費の関係よりも財政に良くなると考えます。 ・農業の振興を進める。 ・企業製品の分解区分の仕事 etc. (70歳以上 男性) |
| 30年後に今の年齢(71歳)で生きていたら、健康・経済面などで自立した生活がしたいです。若い人と一緒になって働ける職場があれば良い。急には出来ない事なので、今から意識を改革(大げさかな)を感じます。(70歳以上 女性) |
| 高齢者が住みやすい町。高齢者関連事業所等の支援による雇用拡大(補助金や減税)等?(40歳代 男性) |
| 高齢化していくので、公共施設等利用しやすく、バリアフリーな環境整備。また、休日等利用できる医療施設の拡大で安心して暮らせる町。(30歳代 男性) |
| 30年後、私はいないと思いますが、できれば年寄りに優しい与謝野町になってほしい。(60歳代 女性) |
| 収入の少ない高齢者の方が楽しく暮らせるような町にしたいと思います。(40歳代 女性) |
| 元気な高齢者がいる町。認知症になっても安心してすごせる町。(40歳代 男性) |
| 子どもに頼らず安心して暮らし、そして死ねる町づくりをしてほしい。子どもたちが健全な子ども時代を過ごせるように。(60歳代 女性) |
| 老後が安心して暮らせる町。(30歳代 女性) |
| 私自身含め年齢が高いため同じくらいの年齢がピークの30年後、とても不安です。住みやすい町にしてほしいです。(60歳代 女性) |
| 子どもや高齢者、障害者が暮らしやすい町。(50歳代 女性) |
| 高齢者が一人でも安心して暮らせる町。町の資源(ソフト面、ハード面)を生かし、他からも人が訪れ、集まる町。「与謝野町に来たら何か面白いものがある」など思ってもらえるような。経済面や精神的・身体的など困難を抱えた方たちも安心して暮らせる町。(50歳代 女性) |
| 高齢者に対する自立のための必要な生活環境、交通手段、買物、娯楽施設の充実。今のように施設があっても、利用しにくい(利用料の高額、型にこだわり自由性が無い)もっと行政の方は他地域の実態を勉強し自分達の地域との違いを見つめ改善すべきである。行政の方が住民の中に入っていく、お互い情報交換すべきで一方通行のない様にすべき。(70歳以上 男性) |
| 高齢者に住みよい町、不安の無いことが、住み続けたいと思うのでは?(50歳代 男性) |
| 高齢者が健康でいられること。町が活気づき若者が住みやすい環境をつくること。(40歳代 女性) |
| 高齢者と若者が活動できる施設的な場所があったら!みんなが一同に活動できる施設がない。(60歳代 男性) |
| 30年後私はたぶんいないですが、家の後継ぎはいません。年老いた夫婦二人で、できる限り暮らしていくつもりですが、定年を迎え次の人生をよりよく豊かに楽しく過ごすために、模索しているところです。結婚後与謝野町に住み続けていますが、のどかな風景、近頃では日常生活には困らない買い物など昔から比べて随分住みやすくなったと感じています。ぼーっと暮らしていてもいい田舎町に、どっぷり腰を下ろしているのかもと……。ただもっと就職先があれば子どもたちにも選択肢ができるのではと思っています。又、年老いてもサポートして下さる方々の協力を期待しています。老人が住みやすい町を目指すと雇用も人口も増えるのでは!(60歳代 女性) |
| 高齢化が何故悪い。最近後期高齢者を光輝好齢者と書くような「ひかりかがやき、よき年頃」この人たちの知恵を経験、まだまだ現存する体力を上手に使えない行政の怠慢を棚に挙げて何をぬかすこのハカ者どもが。我々に不足しているのは子どもが産めない、産ませることは可能だけだ。子どもの増はお前たちの責任だ、バカが!(60歳代 男性) |

| |
|---|
| <p>30年後がどうなっているのか、どうしたいかなんて考えもつきません。想像もつきません。それよりも高齢になってくると、今を生きるが大事。いかに介護に、又、福祉のお世話にならないようにと思うのが精一杯です。子育ては大切なことは十分分かります。大切です。しかし、少ない年金から介護保険を支払っているのだから、もう少し、年寄りに優しい、又、プラスなところがあって良いのではないかと思います（例えば町ごとでなく、もっと細かく、区ごととか気安く利用できる場所があればなどと思います。）生活しやすい、やさしい与謝野町であってほしいです。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>高齢化社会を迎え、どーしても閉じこもりがちな高齢者の人達が気楽に外出できたり、他者との接触を増やす中で、自然な交流を通じて高齢者の活性化をはかる。こんなことが行政、区、老人会などの組織をもっと動かし、取り組めたら、良いなと思いました。その拠点として「リフレかやの里」周辺としたらどうでしょう。週に何回かバスを運行し、お風呂に入ってもらったりその後バイキング料理を頂き、周りの人と話したり和やかにすごして頂く。又、周辺の建物を利用し、エクササイズをしたり体験工房的な施設があっても良いと思います。車のまだ運転できる人は個々使われているかもしれませんが、行政、区、老人会等の組織が組織的に動かすことが大切だと思います。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>【福祉・医療】に関する意見（10人）</p> |
| <p>もっともっと福祉や医療に力を入れて今後、与謝野町に住みたい、居住したいと思う様な町にすれば人口の増加など色々な面でプラスになると思う。（50歳代 男性）</p> |
| <p>安心できる場所！（医療、福祉、教育の充実）（60歳代 男性）</p> |
| <p>独居老人が安心して過ごせるような福祉の充実した町づくりを望みます。（50歳代 女性）</p> |
| <p>やはり少子高齢化対策が今以上に必要になります。なので、介護や保険の拡充が何より必要になります。介護員の増員と介護制度の改変でご近所や家の人でも「介護を体験、学ぶことが出来るイベント」を開いていき、より良い町になれば良いと思います。（20歳代 男性）</p> |
| <p>福祉の充実。介護の問題をもっと充実、解決させ、独居老人でも安心してすめるようにしたい。産業、就職が増え、地元に残って働けるような町になってほしい。（40歳代 女性）</p> |
| <p>医療・福祉の充実。働く場の充実（Uターン者、若者の増加）。教育の支援。（50歳代 女性）</p> |
| <p>地域包括ケアシステムの充実。（20歳代 女性）</p> |
| <p>医療における人材の需要が高まるのでは→若者の人材育成に力を入れる。大学または専門学校卒業後～年与謝野町で勤務などの条件で学費を～割出してくれるなど→働いている間に住みたくなるかも。交通の手段をもう少し便利に、働く場所を増やす、住む場所を集中させる（空いた土地を利用）→人が集まる。オシャレな店が増えたらなおよし。笑（15歳～19歳 女性）</p> |
| <p>医療従事者の不足の解消に向けて、育成機関の充実を図っていくべき。例えば、福知山になってしまっていますが、福知山公立大学に看護学部の設置の推進を北部としてやっていくべき。同時に高校生の都会への流出も防げるのではないかと思います。（30歳代 女性）</p> |
| <p>・子育てをする親。・介護をする夫や妻、子ども、それぞれに要素は違えども色々な負担があり本当に大変な世の中だと感じます。その中で、児童手当があるのなら介護手当てというものも考えてもらいたいです。介護は先が全く見えないもので、お金もすごくかかります。年老いていく介護者の方々を思うと本当に心苦しいものがあります。（40歳代 女性）</p> |
| <p>【移住】に関する意見（7人）</p> |
| <p>今のままの人口推移を変えるべく、若夫婦に移住していただき、安心して子どもさんを育てられる環境（就業、住居の確保）を思い切って作られるのは如何でしょうか。地域に子どもさんがいる事が先決。しかも出来たら大勢の。近くの就農の人見れば60代前後の人が多。よそから農業に対する深い志のある人に入っただき、昔からの土地を有効活用してほしい。そういう意味で明石地区の松尾さんの経験（本人の努力、色々な手助け）はすごいと尊敬します（他に存じ上げませんので・・・）当町において子育て中の人々へ今よりも層の厚い手当てを加えてでも子どもさんが増えたらいいな。嫺かな大江山、おだやかな野田川がある古里が末長く普通に続きますよう只管お祈りします。（70歳以上 女性）</p> |

| |
|--|
| <p>他地域からの移住支援に力を入れて若い世代をもっと増やして行きたいです。子育てをしたり、日常生活を楽しめる要素はとても充実しているけれど、住むために必要な仕事が多く、賃金も安いために移住に踏み出せない人は多いと思います。与謝野町に住み続けるために将来（未来）につながるビジネスの可能性を町民自身が掘り起こして外へ発信していく必要があると感じます。（30歳代 女性）</p> |
| <p>○少子高齢化、人口減少を抑えるためにも、沢山の人に移住・定住してもらえる町にしてみたい。その為にも、①与謝野町に限らず京都北部地方に多くの雇用を生み出す②子育て世代への住居支援、子育て支援のサービスを充実させてほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃料3万円程度で住めるような町営住宅を整備する ・新築・改修費用の助成の幅を広げる ・空き家を安い賃料で賃貸する、所有者から寄付をうけられるような空き家があれば、10年以上住めば無償提供など、空き家を有効活用する。 ・保育料（2歳児までは）無料・子ども園、小学校、中学校の給食費無料 ・子ども園、小学校、中学校への入学時にかかる費用の助成 ・不妊治療費の助成 ・多子家庭へのいろんな面での料金・費用の補助など。 <p>他の市町村よりも魅力ある、厚い支援で移住・定住したくなる町になってほしいと思います。（40歳代 男性）</p> |
| <p>移住・定住施策を進めて活気のある町にしたい。グラフにあるとおり、何もしなければどんどん人口は減る一方。何故、人口減少、流出、少子化がとまらないか。生きること必死で仕事を得ること、働くこと（長時間労働、残業）で精一杯だから。若者向けの施策を進め（住居、仕事、子育て）若者の人口比率を上げたい。次世代には美しい自然と加悦谷の気質（助け合い、大らか、受容的、矜持の心）を伝えられたらと思う。（30歳代 男性）</p> |
| <p>Uターン、他の地域からの移住が出来る様な町づくり。Ex.阿蘇海を利用した観光業・漁業など。（60歳代 男性）</p> |
| <p>若者が与謝野町に戻って来たいと思える町づくりが必要。教育水準のアップ。与謝野町は、平均的に学力が低いと感じます。町外からの移住をもっと推進し、生産年齢人口を増加させる。税金アップ。公共交通機関の改善。ニーズに合わせる。これらのことが実現されるような町にしたいです。（15歳～19歳 男性）</p> |
| <p>何かアピールするものをつくりUターンする人、移住する人も増やしていかなければならないと思う。（30歳代 女性）</p> |
| <p>【観光】に関する意見（6人）</p> |
| <p>今後の30年後は今よりも豊かで町の人口も若い人が（30～40歳）地域の要人と成っていることを願いたい。その策として、住居街と道路（高速）は通り過ぎ、京丹後行き。与謝野町にメリットのある町らしい観光誘致策を（専門人材）設けては。側路に道の駅とか。（60歳代 男性）</p> |
| <p>農業と織物と観光がひとつになり多くの人をこの町に呼べるようにしていただきたいと思う。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>海・山・観光化して町外の人を訪れる活気ある町づくりを。（60歳代 女性）</p> |
| <p>京都縦貫道をもっとPRし観光に力を入れて欲しい。就職先の確保。（40歳代 男性）</p> |
| <p>他府県からもっと人が来てくれる名所を作るべき。せっかく日本三景があるのに、近くに大型施設や橋立につながる施設がないと感じる。映画館やショッピングモールなども出来れば、住民も他府県に行くことなく働き場も増える。（30歳代 女性）</p> |
| <p>人口の減少、高齢化率はいかんともしたが、当地域は古代日本の中心地とこのべき歴史の遺産がある。山と民族の原風景に触れてもらうべく、多くの日本人を訪れてもらえれば、気持ちの上でも活気が出るのではないだろうか。（50歳代 男性）</p> |
| <p>【コミュニティ】に関する意見（3人）</p> |

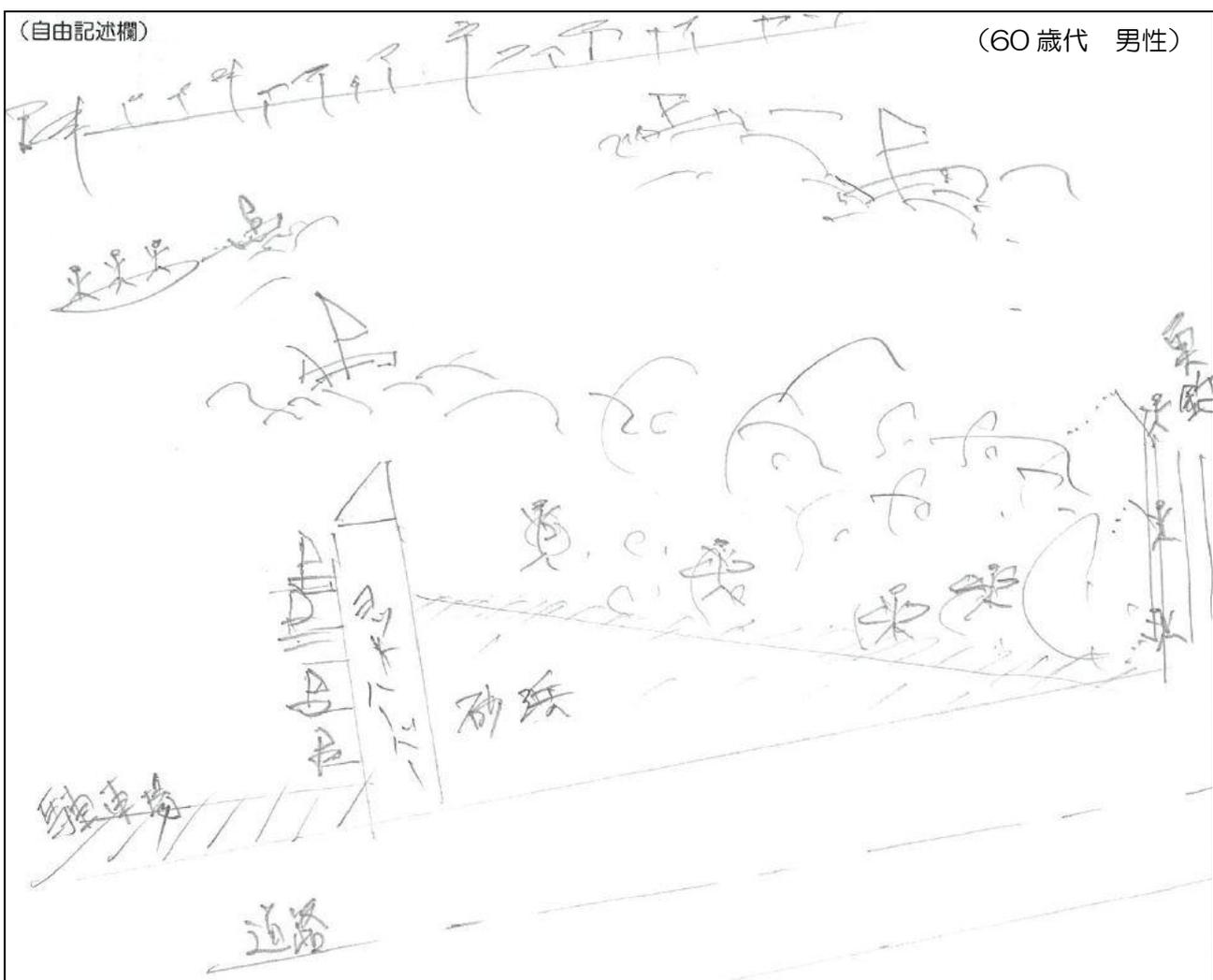
| |
|---|
| 子どももたくさん増えて、昔のように隣の人も自分の子どものように叱ったりほめたり出来るような暖かい町が良いと思います。隣組同士のスポーツ（昔は楽しかった。ソフトボール）など、近所同士のコミュニケーションもあったし、もっと人と話が出来場所作りも必要だと思います。笑い声が多くなれば人は幸せになれます。次世代は人と人とのつながりが深くなって欲しいです。助け合ったり笑ったり！（60歳代 女性） |
| 少ない人口だからこそ出来るアットホームな町。地域のつながりの深い町。（30歳代 男性） |
| 他府県からの人も暖かく迎え、閉鎖的にならずコミュニケーションをとること。地域の中に入っていくのが難しいと若い人から意見です。（70歳以上 女性） |
| 【歴史・文化・自然】に関する意見（9人） |
| 町の歴史と文化。産業を振興し文化交流が出来る町づくり。（60歳代 男性） |
| 東町岩滝大神楽保存会をはじめとする伝統芸能。（20歳代 女性） |
| 加悦町に嫁いで45年あまり、若い人たちが頑張っていた頃です。今は高校を出、若者が少なくなりました。地元に残っても生活をしていける仕事がありません。私は30年後の与謝野町を見られないと思いますが、自然、歴史、文化等、大切に安心して生活していける町を・・・心、温まる町になってほしい。（60歳代 女性） |
| きれいな自然、きれいな町、きれいな阿蘇海。（15歳～19歳 女性） |
| このまま自然豊かな町でいてほしい。ちりめんは推し続けてほしい。地元で働く人が増えるよう、地域手当のようなものがあれば良さそう。（20歳代 女性） |
| 自然。（15歳～19歳 男性） |
| 美しい自然、平和。（50歳代 女性） |
| 自然、歴史、文化、今まであったものを壊さず、より良い形で若い世代に引き継いでいって欲しいです。（40歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を残す。 ・歴史・文化の振興（文化財の活用）している町。 ・雇用が確保できる産業振興が出来ている町。（50歳代 女性） |
| 【利便】に関する意見（7人） |
| 家の近くにコンビニがあったり、スーパーがあったりして、車がなくても日常生活が送れるような町。（15歳～19歳 女性） |
| 商業施設を作り、何でもそろそろ便利な町づくりが必要。（50歳代 男性） |
| 高齢化に伴って不便な地域を少しずつ縮小して小さな町でも便利の良い町になればと考えられる。各地の行事も一つになってたくさんの方々が集まると良いです。各行事はみんなコミュニティバスが出るのも考えられる。旧加悦鉄道の線路の後、水戸谷の駅のところがすてきになっていると何かで見ました。SL広場まで歩道が線路に見えるようにデザインされた歩道に延長してみてもいい！（60歳代 女性） |
| 交通機関がもっと発達して欲しい（京都市内までいける手段が少なく、かつ、時間がかかるので）（20歳代 女性） |
| もっと交通手段がたくさんあって買い物できるような所もたくさんあったらいいと思います。（15歳～19歳 女性） |
| 都市と近くなる高速道路がついても通行料が高いので（京都ー宮津間）近くなったとは言えない。若い人でも気軽に利用できる料金になれば住み着く人も多くなるのでは。都会に出ている子ども達気軽に行き来出来るようになり、また帰って住み着く気にもなりよいと思う。（70歳以上 男性） |
| インターネットの高速化とどこでもつながるようにしてほしい。（40歳代 男性） |
| 【合併】に関する意見（7人） |

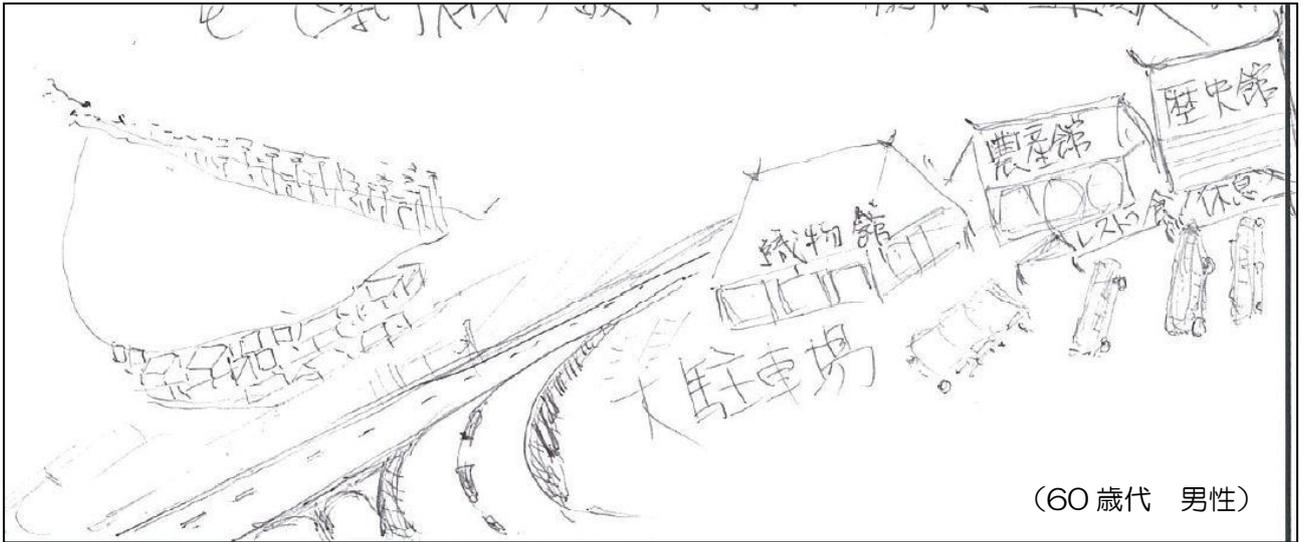
| |
|--|
| よく分からないが、小さな町では財政的にも限界があると思う。早い時期に合併を希望します（余力があるうちに）そして雇用の場を確保して若い人が都会に行かずとも地域で暮らしていけるような町づくりをお願いします。小さな町では国も相手にしてくれません。町も特段のアイデアがなければ合併を推進してほしい。（60歳代 男性） |
| 30年後与謝野町は存続不能となる。これからの市町は国の出先機関の無い市町は維持存続ができていく。大企業誘致で維持、それとも舞鶴市に吸収合併か。（70歳以上 男性） |
| 人口減少は避けられないと思います。新庁舎など建てる必要もない。あるものを有効に使うなど工夫が必要。今後施設があまってくる。次世代につけをまわさないよう考えるべき。行政規模を少し広げないと（無駄が多い）最低規模5万人必要。（60歳代 男性） |
| このグラフを見ていると70～80年後にはこの町は消滅するのではと思います。次世代に住む場所と働く場所を残すことを考えるならば、京丹後市と合併を行い財政を浴することだと思う。このままでは、次世代に残すのは借金だけのようになります。（60歳代 男性） |
| この間は当方にすれば愚問に近い。せめて、10年後か20年後にすべき。8年後の2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、人口流出とあいまって高齢化率50%近くになるであろう。近未来に合併は避けられない。（60歳代 男性） |
| 1. 人口構成と予測に恐れています。2. 30年後の事を今予想することは出来ませんが、今のままの流れでは町は寂れ、生活は苦しくなるばかりになるのではないのでしょうか。3. 上記のような悪い見通しを振り切り、明るい明日に。今、変化が最も必要ではないのでしょうか。それは、どこから考えても与謝郡、宮津市は仕方ないです。出来るだけ早い時期に与謝郡、宮津市の市町村合併を行い、心機一転特色ある町づくりへ向かって行動を起こすべきだと考えます。（当然伊根もはいています）（70歳以上 女性） |
| 私は「団塊の世代」の人間ですが、30年後はもういないと思います。30年後は人口が減って他の町と合併していると思われる。現在、町内を囲んでいる金網のフェンスの内だけでも、住める環境にして欲しいものです。草刈、荒地の手入れ等を続けること。そのための予算として、現在24区ある町内の各区より毎年10万ずつ出してもらい、「頼母の溝」を作り4～5区が毎年240万の1/4～1/5ずつ、48万～60万を使って荒地の草刈をする。6年から5年で全部の区がお金が回ってくることになる。（60歳代 男性） |
| 【その他】に関する意見（44人） |
| 空き家が少しずつ増えているので、気になります。一人暮らしの家もあります。町から外れたところなど。（60歳代 女性） |
| 問12で出てくる自然環境、生活環境ともに関係あることです。私の住んでいる所でも空き家は増すばかり、田畑は又一つ又一つと耕作しないところが増えてきています。一つは高齢化が原因ではあるのですが、行政的にも対応が伴っていないと思います。今から30年後には今、住んでいる私の地域はなくなっていると思います。人の住んでいる、現在を残すことは、地域の住民ではどうすることも出来ないことです。行政の中で対応していただくほかは無いです。（70歳以上 男性） |
| 売れない家の問題をどうするか。昔からずさんな境界問題、終活の時です。どのように誰に相談してもらちがあきません。すべてお金が必要といわれ残念です。（70歳以上 女性） |
| 家や土地はあっても仕事もなく出会いもなければ、私は子どもたちに与謝野町に住みなさいとはいえません。（30歳代 女性） |
| 65歳以上が漬物の石状態で若い人たちを押しつぶしているのでは長生きなんて出来ない。申し訳ない気になります。収入が少なく結婚も出来ない、親の介護などで仕事も儘ならず大変な世の中になっているようです。年金が少ないなどと声も聞きますが、若い人たちに負いかぶさってきます。若い町長さん与謝野町を町づくり進めてください。なにかにつけクレーム有り、反対有り。70歳のおばあちゃん応援してまーす。（70歳以上 女性） |
| 与謝野の各職員が儲かる産業を誘致し各個人の人が少なくなり、ライフラインが維持しきれないようになるので税金が少なくなる予想。（70歳以上 男性） |

| |
|---|
| <p>趣旨から外れていますが一言。二言。三言。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、温江に住んでいますが、何が不便かという、交通の便が悪いと思います。私は現在 62 歳ですが、いつまでも車が持てるほど収入があるわけでもありませんし、主人も含めて子ども達とは同居をしていないためこのまま温江に住み続けるとしたら車が無くなったら（技術面で運転できなくなるとか年金だけで車が維持できないという理由で）買物とか病院とかでかけるにも、どうしたらよいのか先行きが不安です。 ・病院の件ですが、近くに良い総合病院が無いですね。京都府立医科大学付属北部医療センター（与謝の海病院）しかなくてもっとレベルの高い病院は無いものかと思います。京都市内とかに行かないと納得の出来る治療は出来ないと思いますが、なかなか私のような年代になるといけません。仕方なく手近なところになると思います。治せる病気も治せないと思います。皆、そう思って通院してると思います。（60 歳代 女性） |
| <p>少子高齢化がこの前もずっと続くということですね。現在、すでに高齢者で、病院も施設もパンパンです。そこで働く職員も同様に高齢化。働き盛りの 20~40 代の女性は子育てで忙しく、パートやアルバイトさんが主です。結果、フルタイムで働ける人、夜勤できる人、休日出勤できる人はごくごく限られてきます。私は 30 代で子どもが 4 人います。生活のために朝も夜も盆も正月も関係なく働き、子育ては二の次です。本当にしんどいです。しんどいけど、働いても働いてもお金は飛んで生きます。子育て世代の女性が働きやすい環境を整えてほしい。（30 歳代 女性）</p> |
| <p>全てにおいて岩滝に偏りすぎ。</p> |
| <p>子どもが増えるといいですね。（70 歳以上 女性）</p> |
| <p>与謝野町、政府も現在をあまりに前向きに生きているように思えて仕方ありません。あるメディアでは財政が破綻しているのにそれを報道はしない。それは、前向きではないからだと言う。現在の新聞、テレビ、インターネット等は真実を伝えているのか、余りの楽観主義に恐れを感じています。経済、景気は良くならない。これは当たり前だと思います。高度経済成長は終わったのですから。まだ夢を見て、前向きに進む安部総理が影ながら大変心配です。財政見直し、再建、職員給与 30%減、退職金 50%減、ベンチャー人材育成、ノーベル賞、京都賞等、与謝野町が受賞する。（60 歳代 男性）</p> |
| <p>行政に頼らない。すべて自己責任。（60 歳代 男性）</p> |
| <p>自分の出来ることを一生懸命に努めて、いい仕事をする、私に出来る一番のことは著作だと思っているので、その作品に出会った人々に”どんな町だろう？どんな風土だろう？どんな人が住んでいるのだろうか？”というような意識を一人でも多くの方に持って頂いて、少しでも人口が少なくなることの防御につながればと思っています。町民の一人ひとりが懸命に自分の課題に取り組む姿こそが魅力ある町につながるものと思うので、私自身その範となれるよう日々努めております。（60 歳代 男性）</p> |
| <p>年金で生活が出来るようになっていけば与謝野町に住んでいるかも？（60 歳代 男性）</p> |
| <p>クアハウスを利用しているものです。ドルフィンになってからサービス向上に力を入れて養育されています。ストレッチや水泳も人気あります。私自身 60 歳定年後大きな手術を行った（脊髄狭窄症 2 回）歩くことも困難状態だった。病院の先生の紹介によりクアハウスへ行きプールで歩くよう助言された。2 年間ほどプールで歩き、ストレッチは腰痛で出来なかった。諦めず自分を信じて欲も出てきた。水泳教室にも参加（有料）の楽しみを見つけました。与謝野町に住み続けたいです。（60 歳代 女性）</p> |
| <p>人口減っているのに、なぜ若者が増えるようにしないのか。30 年後といっている間は、何も変わらないし、違う町へ引っ越したほうが早い。そもそも次世代が出てくるのか、なぜ。（20 歳代 女性）</p> |
| <p>太平洋戦争の敗戦後（昭和 22 年）には人口が 2 倍になったがそれ以下はだんだんと下り始めてきた。現在の状況は女子よりも男子が多く生死についても男子の死亡が先。毎日新聞の生死を見ているのだが男子の死亡が女子よりずっと多い。現実がそうだから今後同一の経過をたどると思う。（70 歳以上 男性）</p> |

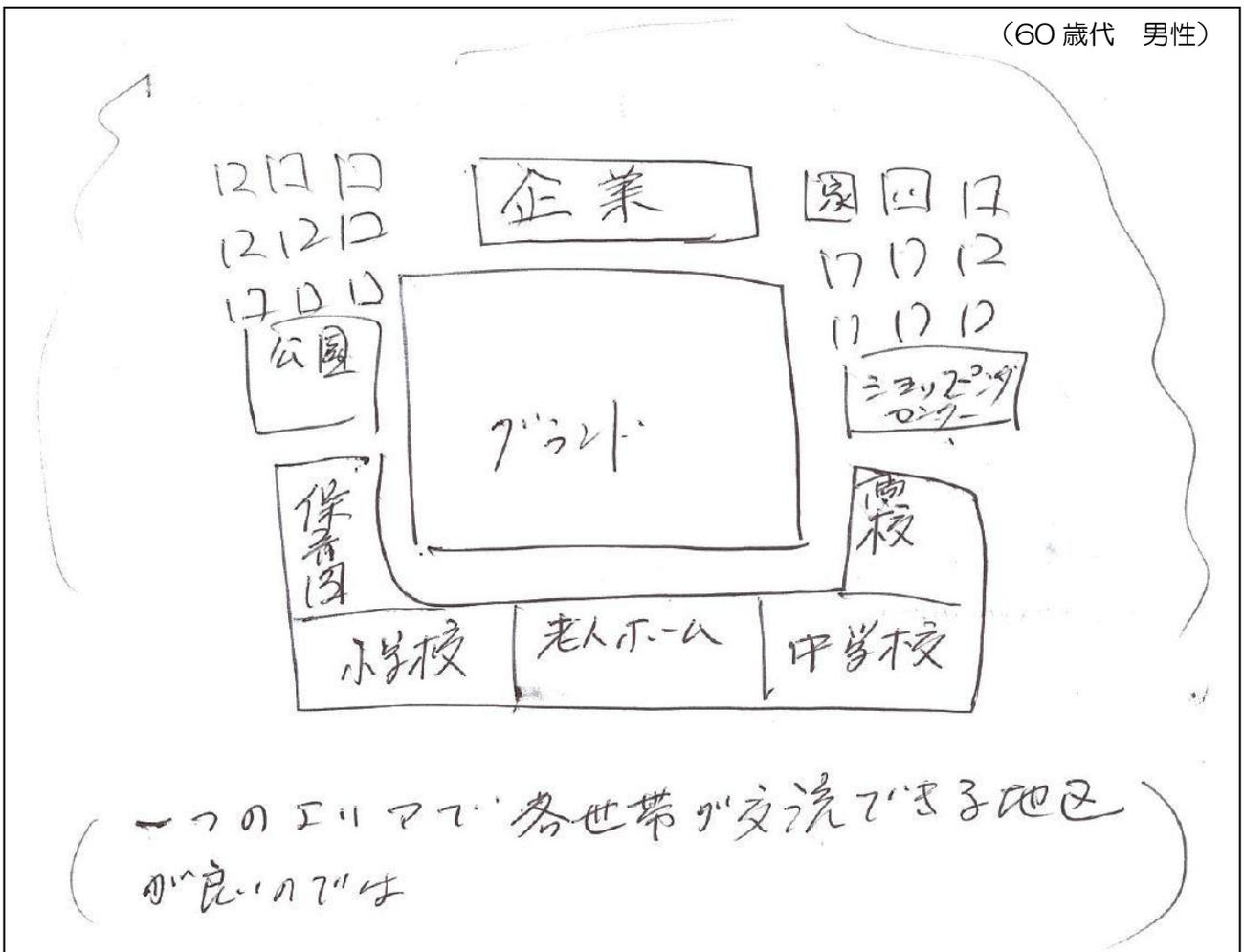
| |
|--|
| <p>今70歳の私の30年後は100歳。5年先のことも訳分からないのに30年後なんて不安と失望で孫の代が心配です。昭和生まれの半分以上が死亡し残っていても介護の問題で不安と世の中は生活しにくいことが多い。仕方ないでしょうが医師も少なく施設も介護する人も少なく世の中は何もかも電気になり年よりは機械おんちで使いこなせない、若者と同居していないから聞くことも出来なく若者は都会生活で老人ばかりの与謝野町になっているでしょう。空家ばかり草ぼうぼうの町並みぞっとします。平成の若者は苦労も知らないし楽なほうに逃げて人のいたみや思いやりの心もなく頭でっかちの人間になっていると思う。町には商店もなく電話一本インターネットで買い物出来る。人とのふれあいの場がなくなっている。みずくさい淋しい町になっていると思います。前向きな話ばかりではなくてごめんなさい。毎日の不安です。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>本当にどうなるのか、すごくさみしい気持ちになります。私自身もういなくなってるでしょうけど・・・明日アメリカが大きく変わる日です(トランプ大統領)世界が地球が変わる大きな事を見てもどうしようもないですが・・・自分勝手なことはだめだと思う。私も小さな人間ですが、一生懸命機を織っています。今いる子どもたちが夢を持っていくようにして何かと思いますが分かりません。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>今の季節なのでよく思うのですが、除雪車が家の前に大きな雪の塊を置いていかれて大変困っている。男手がある家は良いが、これから高齢化が進むと男手がいても困る家も増えてくると思われる。女ばかりの家なので雪の塊を置いていかれるのはやめて欲しい!ので、何とか考えて欲しい!(50歳代 女性)</p> |
| <p>与謝野町内(石川)にある最高に悪名高い府道、道巾狭く舗装面も悪く、車の離合も儘ならない。旧香河川沿い300m余り区間、河が改修出来現在の道になって約10年経過、小学生の通学路にもなっている。道路改修の予定、要望を町に毎年質問しているが、誠実な答えが返ってこない。嘘か本当かその都度理由が変わる。同じ町内の道路でも府道だから力が入らないのか。事故が起きてから考えるのか。町としては、府のほうにどれだけ真剣に説明や要望をしているのか。地元としては町に対しても不信感が募り限界に近い。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>住めば都というように、何十年もこの町で暮らしているといいところだと思いますが、近くにスーパーがあってもだんだん物は少なく高額であったりするとどうしても車で町外のスーパーに出かけていきます。車の運転が出来る間はいいいのですが、先は不安になります。宮津は大型スーパー、宮津駅、あちこちにバス停、便利なところだと思います。岩滝の役場も縮小され、加悦の役場まで行かなければならないことも何度もあります。高齢になればどうすればいいのでしょうか。たくさん不安のある町だと思います。(60歳代 女性)</p> |
| <p>長年この町に住んでいますが、案外与謝野町の良さは私自身知らないことが多いと思います。実際にはこの町に住み続けたいと思っている人は多いと思いますが、就職先がない交通の便は悪い、娯楽施設が少ないなど、あまり魅力的な町ではないのかなと思います。人口の減少を食い止めることが必要だと思いますが具体的にどうしたらいいのかわかりません。(60歳代 女性)</p> |
| <p>何年前に役場に防火水槽の看板が取れているといったけど直してないから直しておいた。道の駅をもっと元気に。(60歳代 男性)</p> |
| <p>何を残すかではなく今でしょ。今が良くなければ何も無い。(30歳代 男性)</p> |
| <p>残された月日を出るだけ自立できる様、がんばることに一生懸命で30年後見当つきませぬごめんなさい。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>30年後の人口予想に大変驚いています。今も、空き家が増えている中、この人口減での想像がつきませぬ。(50歳代 女性)</p> |
| <p>今現在子どもや老人(私達も70代)と同居していないのでその年代の人のことは分かりません。アンケートも自分達のことしか分かりませんでした。すみません。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>30年後、自分がどんな生活をしているのか分からないのに町のことを考える余裕などない!(50歳代 女性)</p> |
| <p>だんだん高齢化になってきましたのでとっても心配です。(60歳代 女性)</p> |

| |
|---|
| 特には何も思いませんが、これ以上人が減ったらどうなるのかなあって思いますね。なにも思わないし、そんなこと今聞かれて考えたから何ともいえません。(15歳~19歳 女性) |
| 考えられない。(50歳代 女性) |
| 想像が付きません。(50歳代 男性) |
| 今後のことは現時点ではわかりません。(50歳代 男性) |
| 問題が難しく思いました。(70歳以上 女性) |
| 高齢(88歳)の私には分かりません。(70歳以上 男性) |
| わからない。(70歳以上 男性) |
| 分かりませんので省略させていただきます。(70歳以上 男性) |
| 私には難しい。(15歳~19歳 男性) |
| 年金生活で何も考えていない。(60歳代 男性) |
| 何とも言えません。(40歳代 男性) |
| 特になし。(50歳代 女性) |
| 特になし。(70歳以上 男性) |
| なし。(15歳~19歳 女性) |





(60 歳代 男性)



(60 歳代 男性)

(一つのエリアで各世帯が交流できる地区
が良いのでは)

(3) 特に力を入れるべき施策

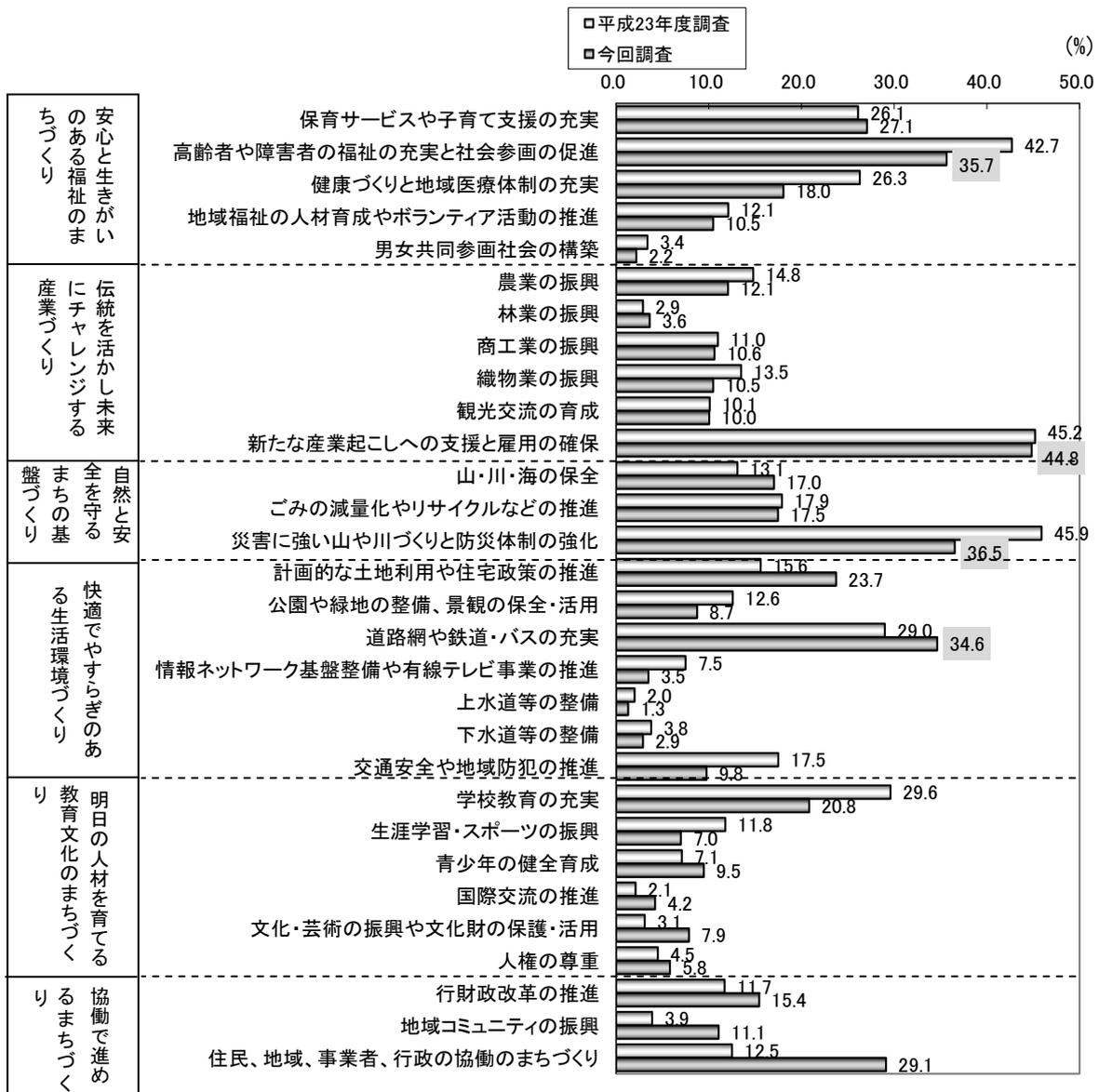
問12 与謝野町のまちづくりにおいて、今後、特に力を入れるべき施策はどれですか。

《5つまで選んでください》

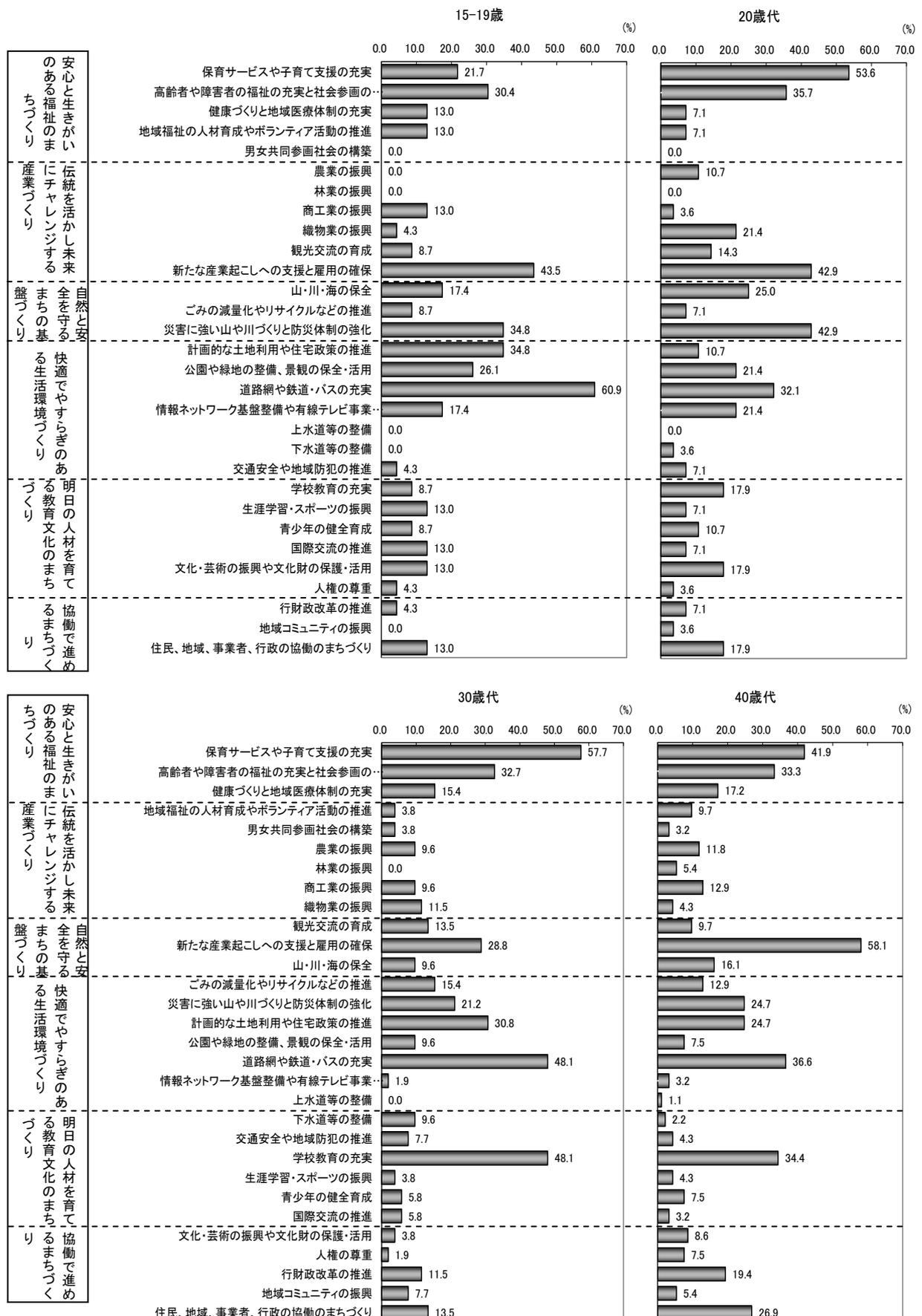
全体数=687

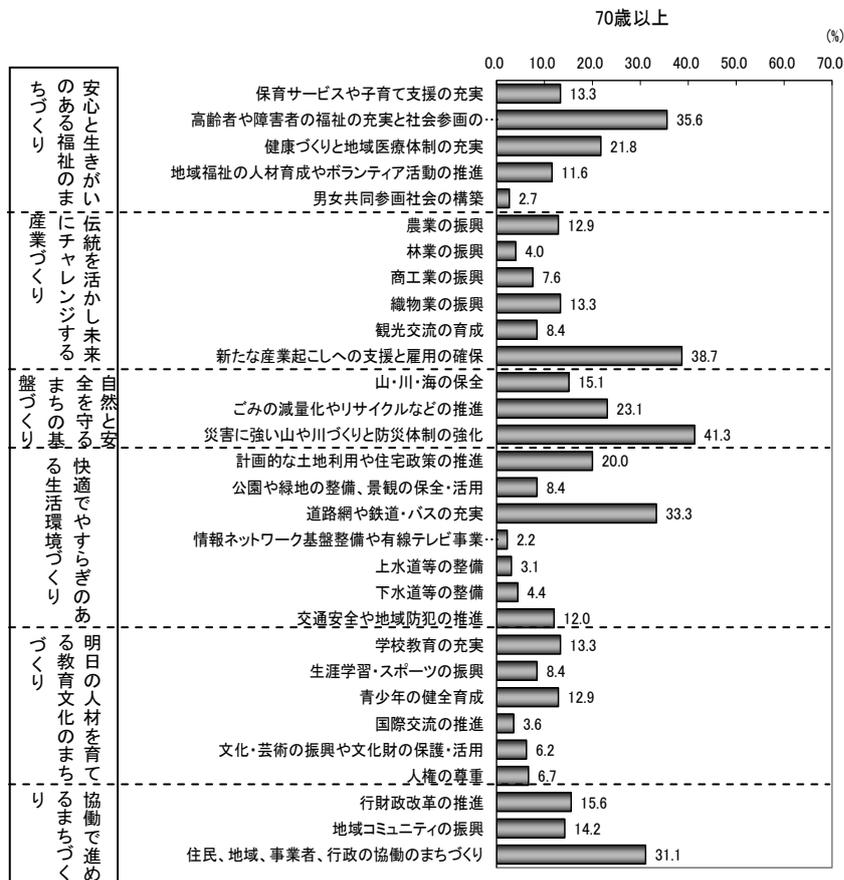
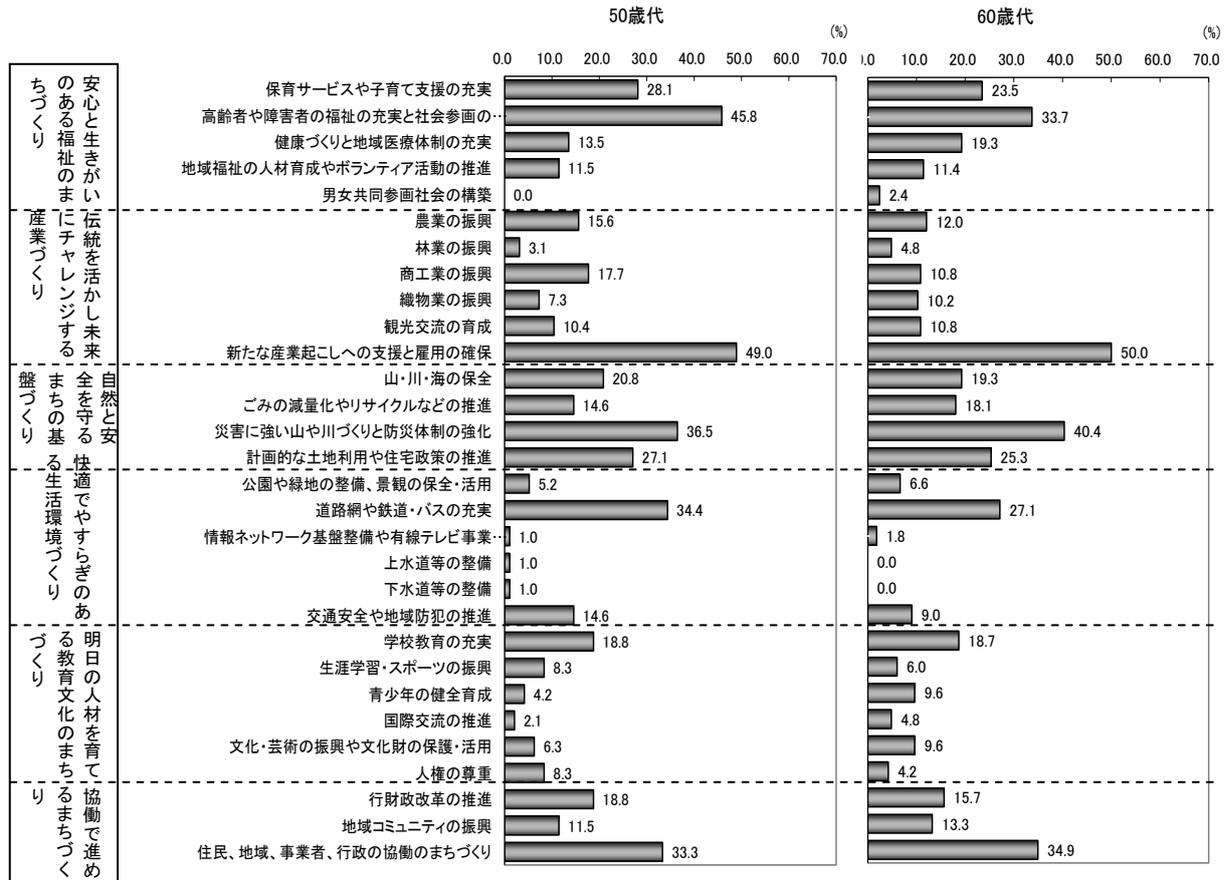
「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」がもっとも多く 44.8%、次いで「災害に強い山や川づくりと防災体制の強化」が 36.5%、「高齢者や障害者の福祉の充実と社会参画の促進」が 35.7%、「道路網や鉄道・バスの充実」が 34.6%となっています。

平成 23 年度調査結果と比較して、「住民、地域、事業者、行政の協働のまちづくり」が大きく伸びているのが特徴となっており、「道路網や鉄道・バスの充実」、「計画的な土地利用や住宅政策の推進」、「行財政改革の推進」などが伸びています。



年齢別にみると、どの年代においても「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」、「災害に強い山や川づくりと防災体制の強化」、「道路網や鉄道・バスの充実」が高く、若い年齢層では「保育サービスや子育て支援の充実」や「学校教育の充実」が高くなっています。高齢年齢層では「高齢者や障害者の福祉の充実と社会参画の促進」が高くなっています。





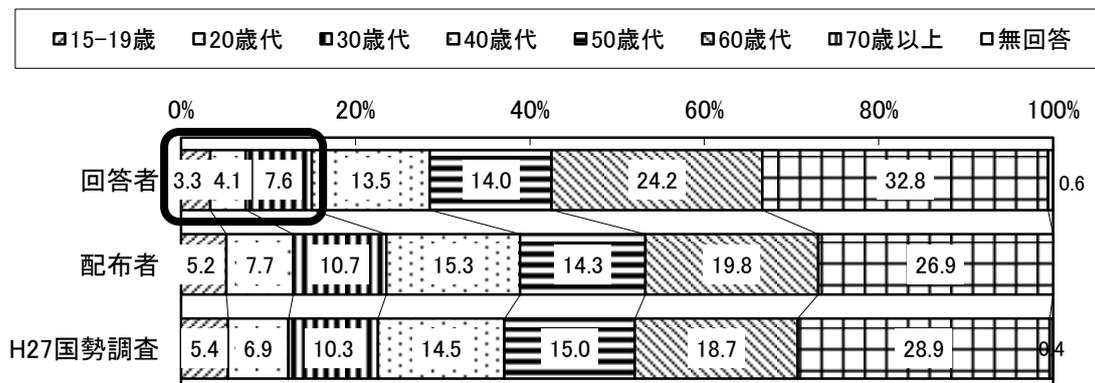
5 若者世代に見る与謝野町のまちづくりと将来の姿について

本アンケートは、15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出し調査票を配布し687件の回答を得ましたが、実際の人口の年齢構成において40歳以上が77%を占めており、また回答者の年齢構成においては40歳以上が84.4%を占めている。

そこで10年先、20年先において本町のまちづくりを担う主力と想定される15歳～39歳の年齢層（若者世代）103件の回答傾向を把握するため、当該世代に絞ってアンケート結果をまとめました。

| (全体) | | (若者世代 15歳～39歳) | |
|------|--------|----------------|--------|
| 配布数 | 2,000件 | 配布数 | 2,000件 |
| 回収数 | 687件 | 回収数 | 103件 |
| 回収率 | 34.4% | 回収率 | 21.6% |

(再掲)



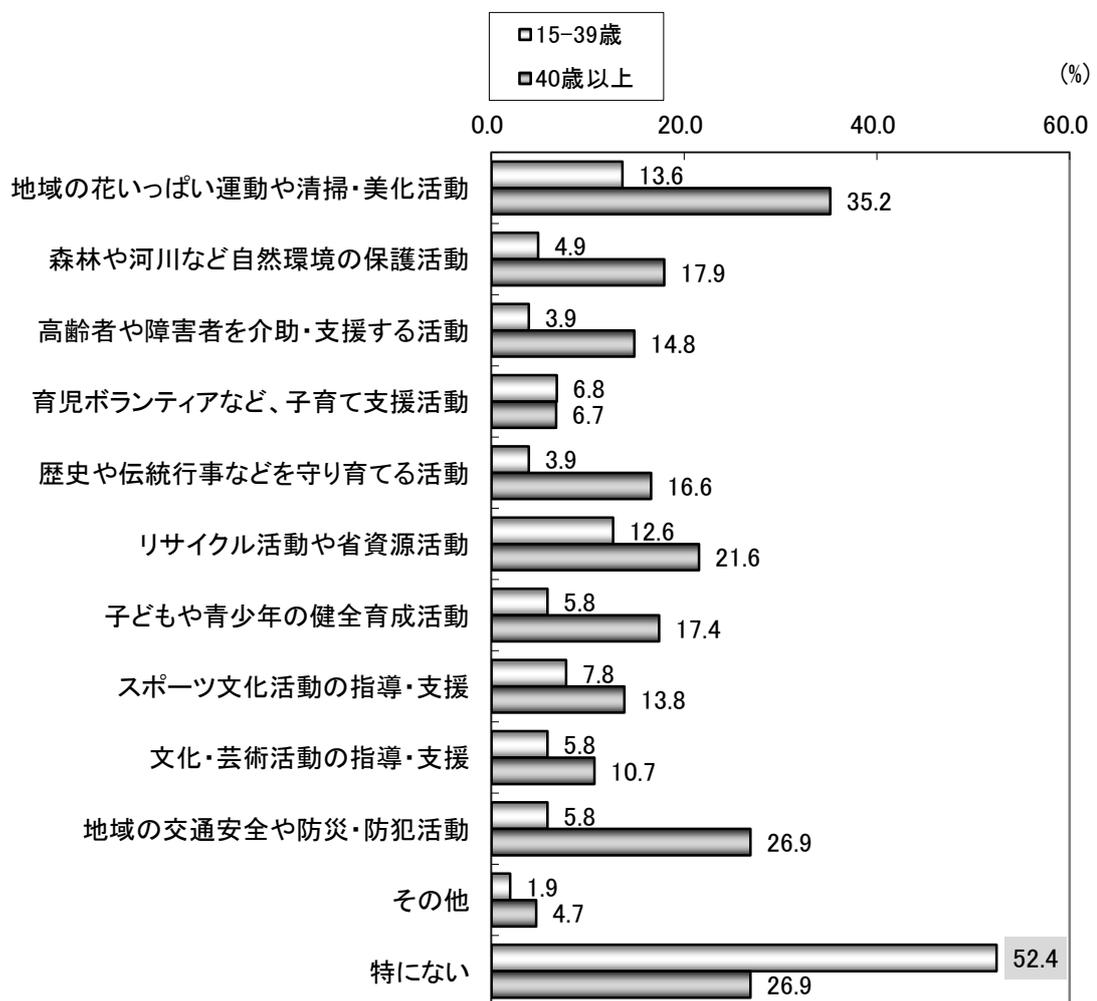
(1) 自分自身が参加したことがあること

問 5 あなたは、「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。《参加したことがあるものすべてを選んでください》

若者世代数=103/687

40歳以上で「特にない」が26.9%と高くなっていますが、若者世代では52.4%とさらに高くなっており、半数以上がまちづくりへ参加したことがない結果となっています。

またすべての活動において40歳以上より低い結果となっており、若者世代のまちづくりへの参加が課題と言えます。

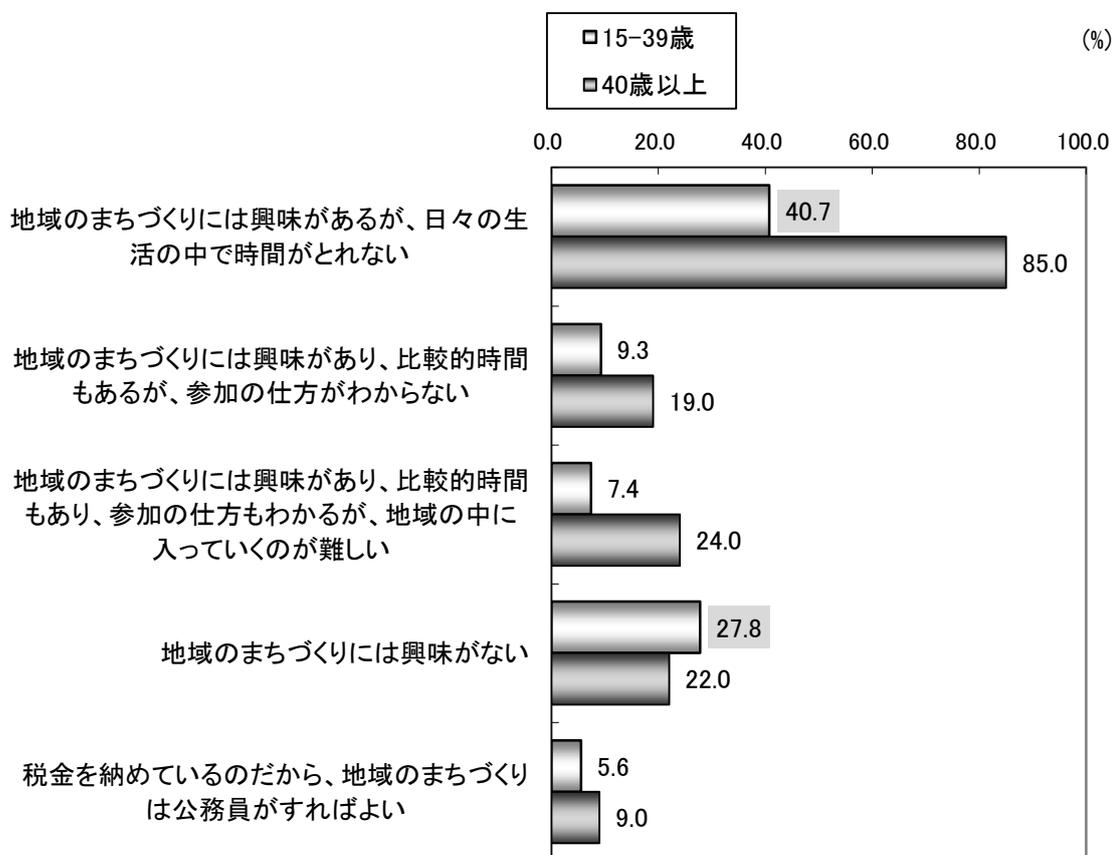


(2) 自分自身が参加しなかった（できなかった）理由

問 6 問 5 で「12. 特にない」と回答された方にお伺いします。あなたが、参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？《3つまで選んでください》

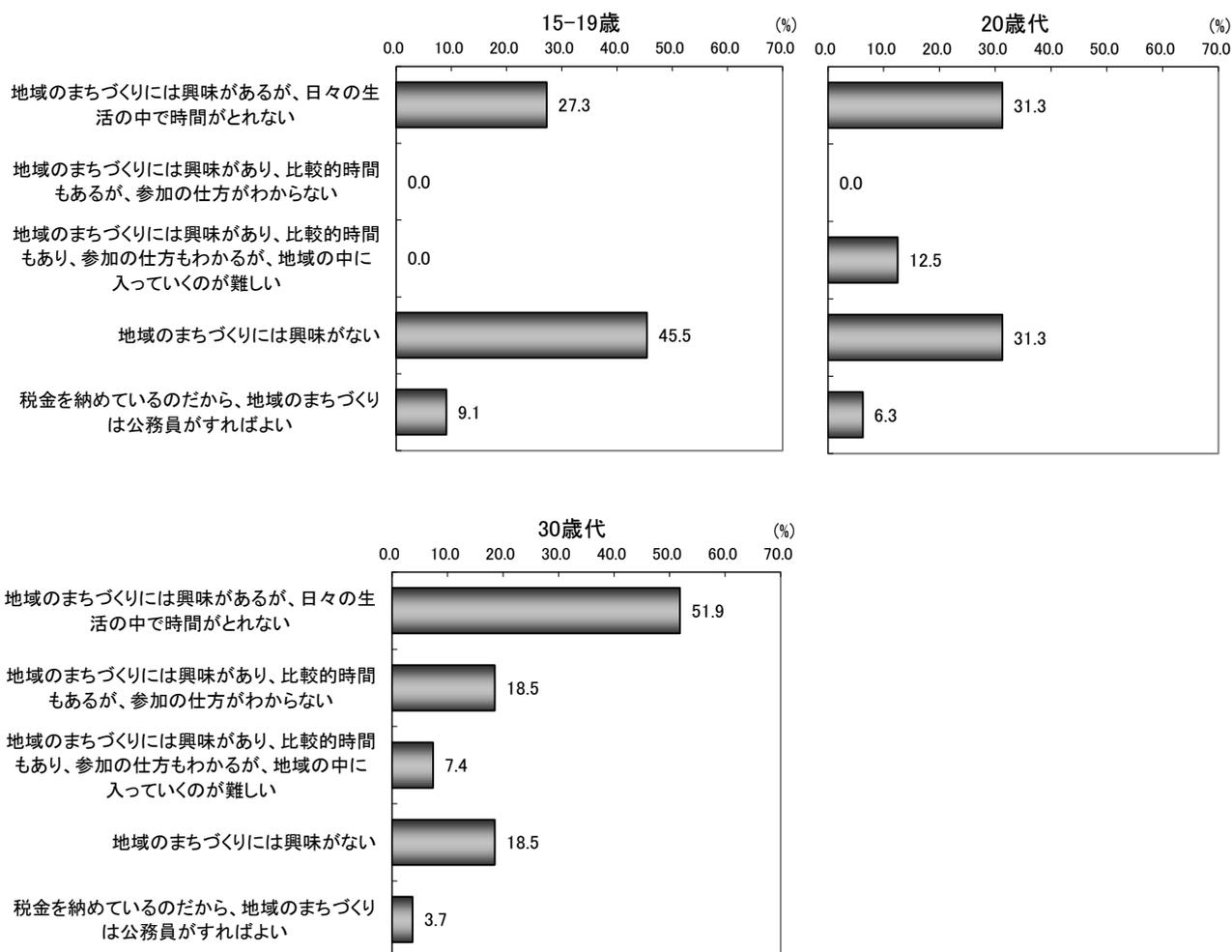
若者世代数=54/211

「地域のまちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間が取れない」が40歳以上で見た時と同様にもっとも多く40.7%となっています。次いで「地域のまちづくりには興味がない」が27.8%となっていますが、40歳以上と比較すると5.8ポイント多くなっており、若い世代のまちづくりへの関心の向上が課題と言えます。



年代別にみると、30歳代では18.5%となっており、他の世代の「地域のまちづくりには興味がない」の比率と比較すると少なくなっていることから、特に20歳代以下の世代のまちづくりへの関心の向上が課題と言えます。

(再掲)



(3) 定住意向

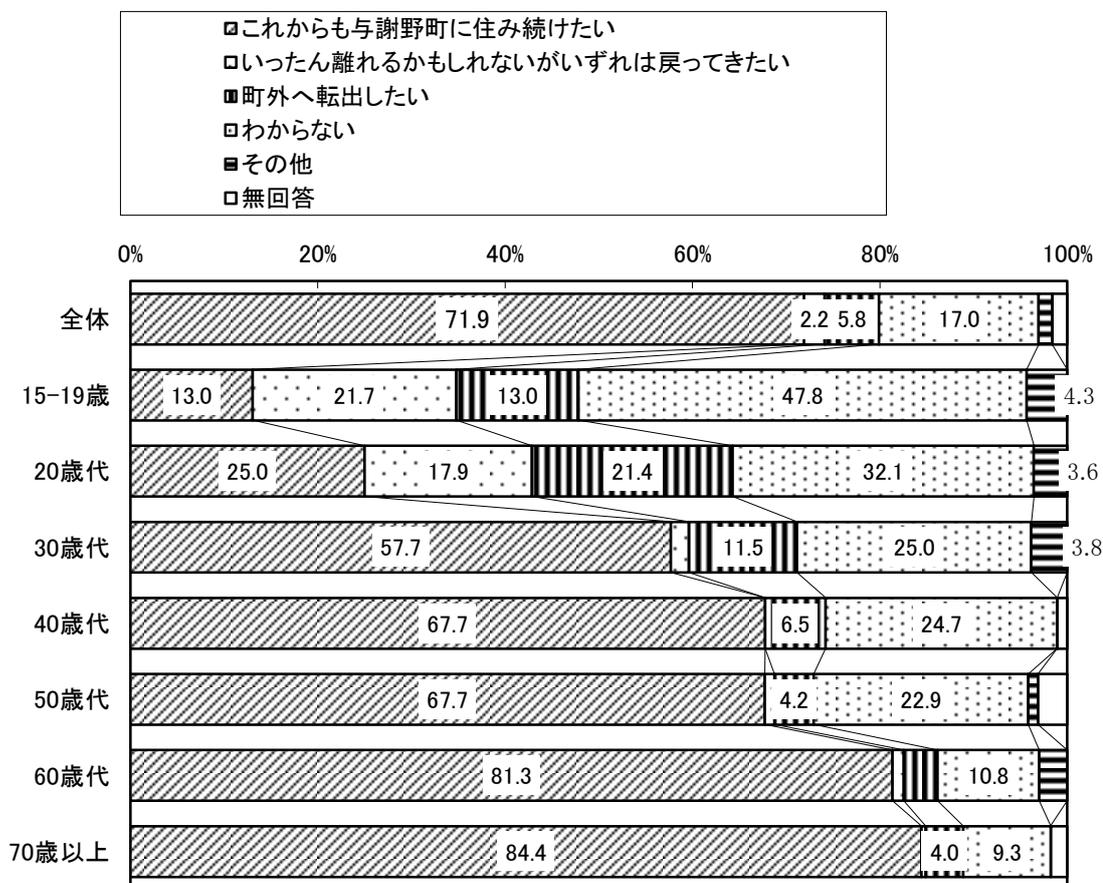
問7 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。《1つだけ選んでください》

若者世代数=103/687

「これからも与謝野町に住み続けたい」、「いったん離れるかもしれないが、年代が若くなるほど少なくなっています。

また、「町外へ転出したい」が20歳代で21.4%、15-19歳代で13.0%、30歳代で11.5%となっています。

(再掲)



(4) 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度

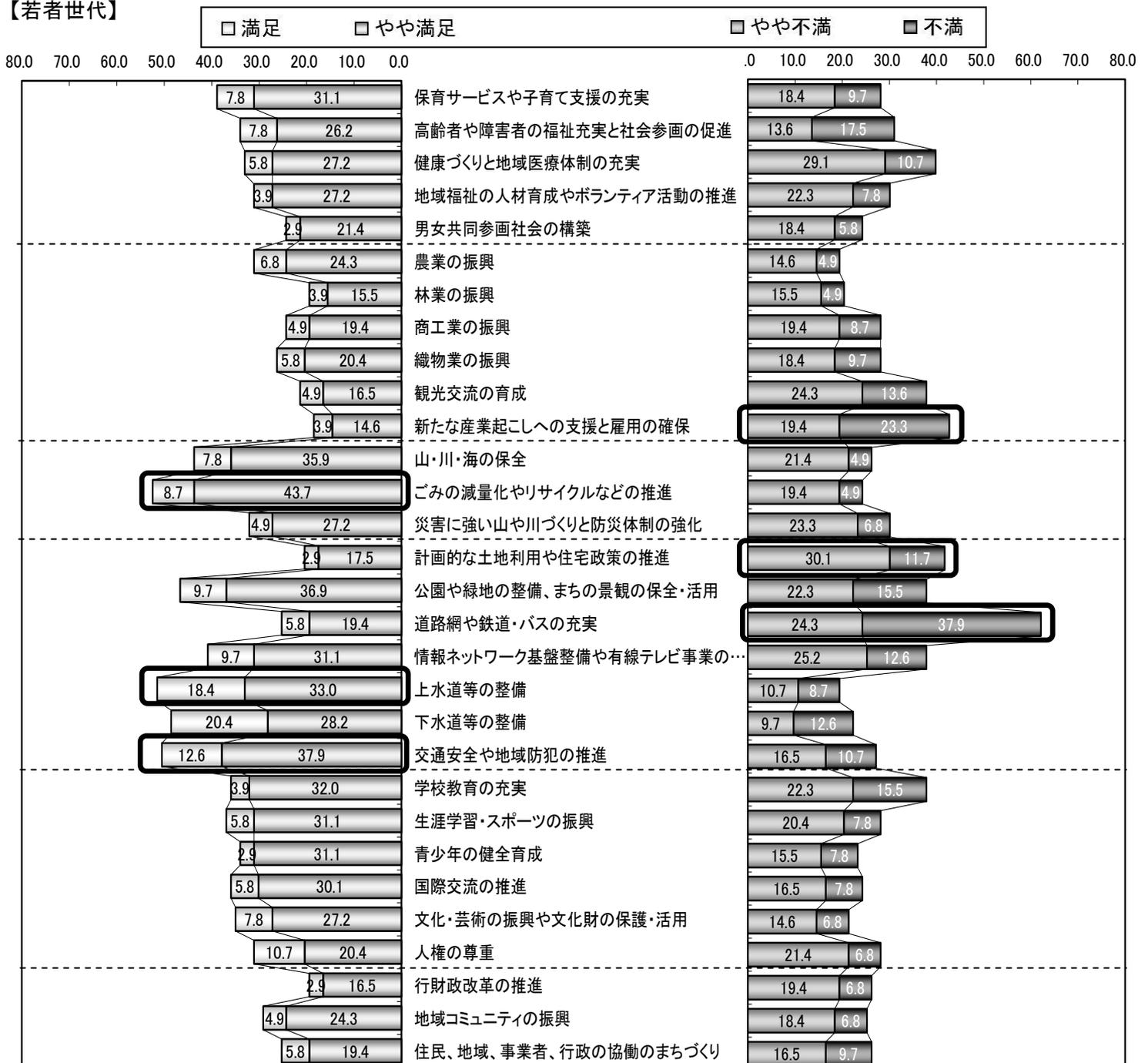
問 10 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どの程度満足していますか。
《項目ごとに1つずつ選んでください》

若者世代数=103/687

「満足」と「やや満足」を合わせて「ごみの減量化やリサイクルなどの推進」、「上水道等の整備」、「交通安全や地域防犯の推進」が上位となっています。

反対に、「やや不満」と「不満」を合わせて「道路網や鉄道・バスの充実」、「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」、「計画的な土地利用や住宅政策の推進」が上位となっています。

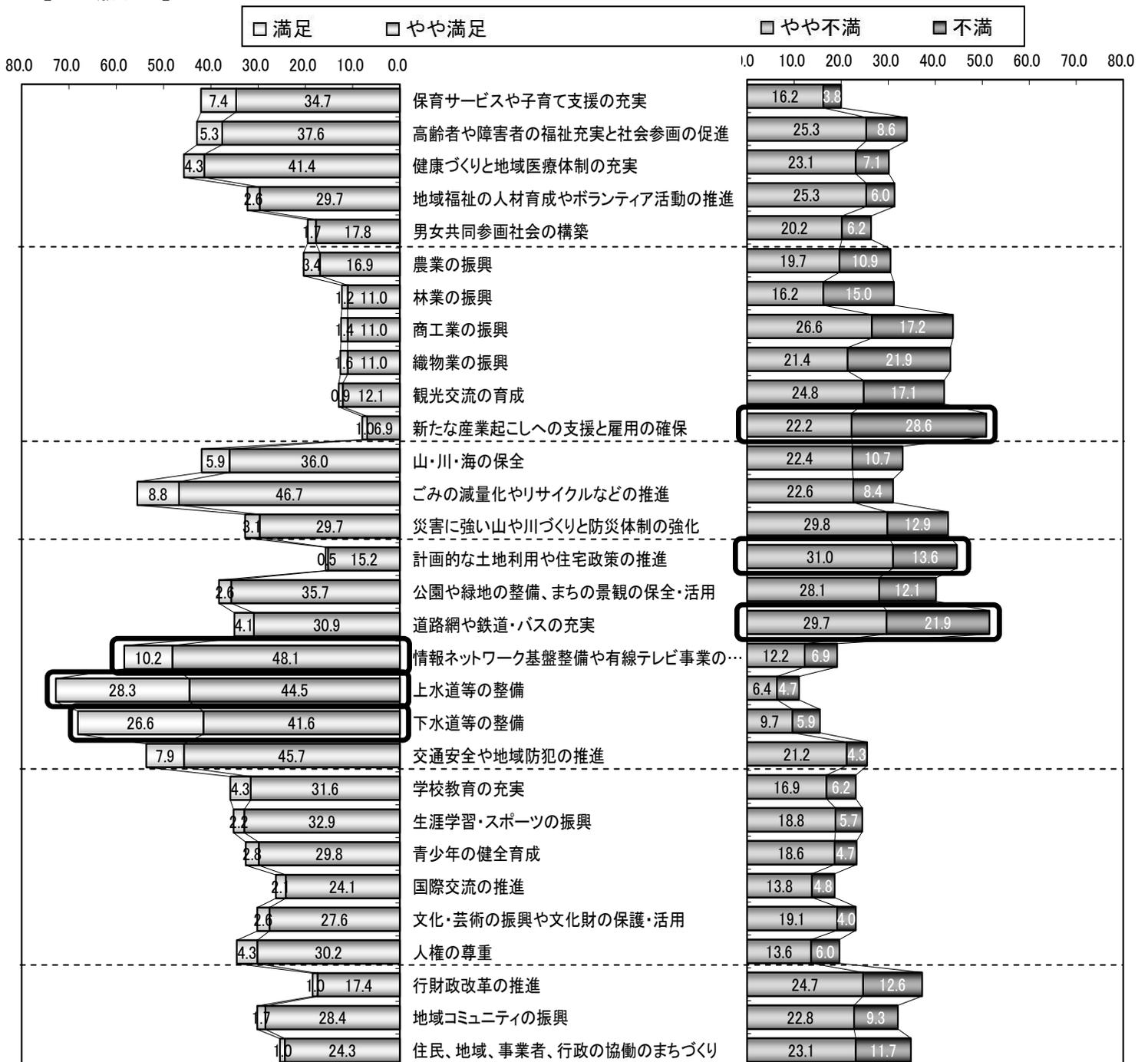
【若者世代】



40歳以上では、「満足」と「やや満足」を合わせて「上水道等の整備」、「下水道等の整備」、「情報ネットワーク基盤整備や有線テレビ事業の推進」が上位となっています。

反対に、「やや不満」と「不満」を合わせて「道路網や鉄道・バスの充実」、「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」、「計画的な土地利用や住宅政策の推進」が上位となっており、若者世代と同じ順位となっています。

【40歳以上】



(5) 特に力を入れるべき施策

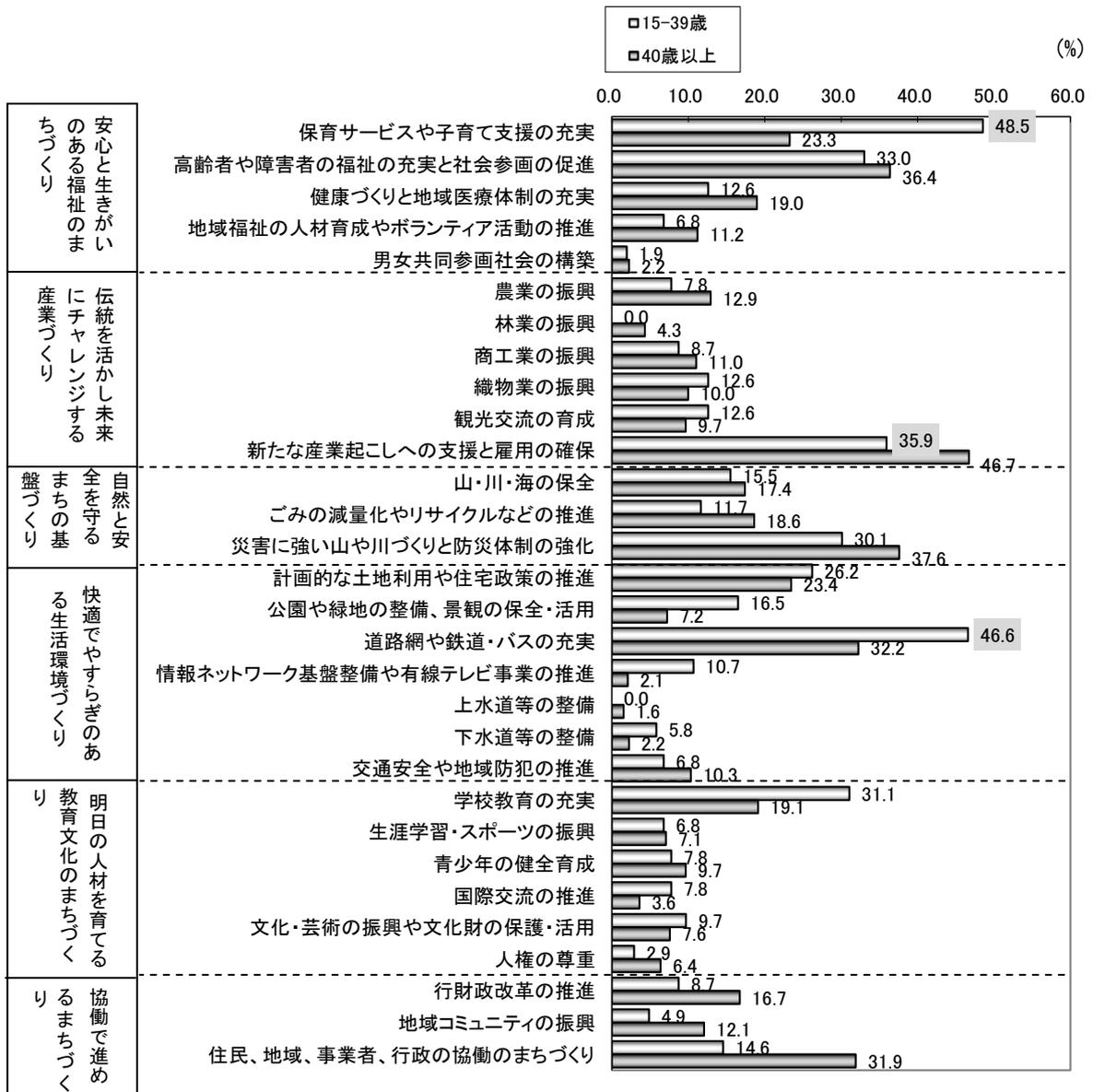
問12 与謝野町のまちづくりにおいて、今後、特に力を入れるべき施策はどれですか。

《5つまで選んでください》

若者世代数=103/687

40歳以上では「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」が44.8%もっとも多く、次いで「災害に強い山や川づくりと防災体制の強化」が37.6%、「高齢者や障害者の福祉の充実と社会参画の促進」が36.4%と続いています。若者世代では「保育サービスや子育て支援の充実」48.5%もっとも多く、次いで「道路網や鉄道・バスの充実」が46.6%、「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保」が46.7%と続いています。

若者世代と40歳以上と意見の差がもっともあるのは「保育サービスや子育て支援の充実」が25.3ポイント、「住民、地域、事業者、行政の協働のまちづくり」が17.3ポイントとなっています。



これまで見てきたとおり、全体と若い世代との回答に違いがあり、世代に応じた施策の実施が住民の満足度の向上に有効となり得る可能性がある。

また回答者数が、アンケート票を配布した年齢構成や実際の人口の年齢構成と比較して少ないことから、本アンケート以外の方法で若い世代の意見を聞くことにより、本アンケート結果を補完することができる可能性がある。

6 自由意見

与謝野町のまちづくりについて、146人から自由記述のかたちで意見を寄せられました。
総合計画の基本目標に準じて区分・整理すると、以下のとおりです。

【安心と生きがいのある福祉のまちづくり】に関する意見（19人）

与謝野町は子育て支援に力を入れて頂きありがとうございます。孫が保育所に行くようになり、感じたことを要望します。安全、安心して遊べるところが少なく、休日の園庭開放をしてほしい。こどもの成長に給食はとても大きな役割手作りのものを出してほしい。おやつの内容を見てがっかりする（旧加悦町は100%手作りおやつだった）。子どもにとって、どのように育っていくか、環境が大切。子どもにとってのよい環境は＝保育士である。（タメ口で喋る、だらしない服装、教室が汚れている、など気になることもある）。採用、しっかり見てほしい。臨時保育士さんも多いが、良い人を採用してください。（60歳代 男性）

- 保育料が高い（京丹後市との差がありすぎる）
- 所得によって階級があって保育料が決まるのはおかしい（30歳代 男性）

保育料が高い。収入がやっと増えて生活が楽になってきたのに保育料も上がるから無意味。母子ばかり免除されて旦那のいる主婦よりいい暮らしして。京丹後は18:00～延長保育になるのに与謝は16:00～延長保育。通常保育時間に迎えにいけないと思ったら15:00までの仕事をしないと行けないし、そんな仕事なかなかない。病時保育がないから子どもが風邪をひくと仕事へ行けない。1クラスの人数が少なすぎる。さっさと合併してほしい。子どもがかわいそう。保育園前の道が除雪されていない（駐車場も）町の施設は優先して除雪してほしいし、子どもを乗せている人が多く通るので早めにしてほしい。役場の人は無愛想すぎる。雰囲気が悪すぎていきたくない。若者が行きたくなるような施設を増やしてほしい。もっと若者向けの町にしてくれるかと思って若い町長を選んだのに全然良くない。できるなら京丹後に住んで子育てしたい。（20歳代 女性）

子育て中でも参加できるサークル活動があったらいいな。親同士も交流したい。室内遊び場。子育て世代へのサポート。将来子どもと一緒に農業や田植えなど体験してみたい。（30歳代 女性）

子ども連れが立ち寄りやすい施設を考える（遊び場があるとか保育（短時間）してもらえとか。ベビールームがあるところがいい）一緒に来た親とか、祖父母も楽しめるように。ぜったいついて来ますよ♪ 体験施設を、増やす。（ちりめん細工など短時間で出来て、持ち帰りが出来るもの）作ったものをお土産に出来るのか？場所は、古墳公園を利用→いつも人がいないから。色々な体験を一箇所で出来るようにする。アンケートを書いてもらい、次回は〇%offとかにする。案内を出す。（インターネット）「与謝野町、体験」で案内が出るように、町のホームページに詳しく載せる。ここから予約が出来るように。（50歳代 女性）

他県のように子育て中（育休中）の手当てがあればとても嬉しい。助かる。児童手当とは別で、育休中のもので・・・。公園も遊具等充実すると良いと思います。あと近くにできたらですがなかなかですね。芸人さん等呼んだりして、みんな楽しめるようなイベントあれば良いですね。（20歳代 女性）

各地域に高齢者が無料で遊びやおしゃべりが出来る集いの場が設置して欲しい。介護の不要な高齢者がその場があれば、認知症にもならず、友達とおしゃべりをしたり、趣味を楽しみ、毎日楽しく過ごせると思う。軽食や簡単な飲食も出来、高齢者の集いの場を設置してほしい。一人で歩いて通うことも大きな意義があります。（70歳以上 女性）

各地区ごとにグループホームを作り、独居老人等に入所してもらおう。多くの人と一緒に住んでいれば心強い。（ハウスキーパーなどを置き介助が必要な方には最低限の支援を行う）（60歳代 男性）

加悦庁舎の福祉課について、手続きの関係で世話になっているが、障害者手帳など期限が切れてから交

| |
|---|
| <p>付の知らせがあったり、こちらが催促しないとこないこともあり、事務処理がきちりしていないことが多く不安になる。これからは高齢者も含めて福祉の仕事量も多くなり、大変なのかもしれないが、弱者の立場も考えてしっかり仕事してほしい。また、障害者支援センター結としか連携されてなく、個人的に結とトラブルがあり、福祉課に相談すると擁護するような発言をされ、とても精神的に追い込まれた。結局、丹後保健所に電話をして相談すると、なんとか動きがあった。福祉課のトップがあのような態度ならば与謝野町の福祉は非常に遅れていると言わざるを得ない。太田町長の時代は、福祉のまちを掲げていて、住み続けたいという思いが強かったが、福祉の面で私を非難するような場所で住み続けたいとは思えない。もっと役場の職員たちの態度も明るくしてほしい。手続きに行くのもはばかられるくらいに暗く、なんとかしてほしい。(30歳代 女性)</p> |
| <p>観光の充実、天橋立を望む景観があるのに、何も無いこと。シーサイドパーク、キャンプ場等。福祉の充実、在宅での看取り、病院に頼らない看取り、生の終わり方の考え方の変革必要、デイサービスの充実。教育の充実、共働きが多く以前のように祖父母に頼りもない今、児童館頼りの現状。放課後教育→英語、音楽等(もちろん、数、国も)どこもやっていない事を新しく取り入れ、町全体と廃れない子どもをこんなところで育てたいと思わせる策を考えてほしいです。(塾に通わせられない現状、金、時間、場所)高齢者だけに優しいだけでなく、子ども、そしてその親にも皆が安心して過ごせるよう、弱いものを守る町づくりをしてほしいです。そして、他市町から移り住みたいと思ってもらえる画期的で新しい取り組みを期待します。(30歳代 女性)</p> |
| <p>敬老会に参加し、つたない踊りをさせて頂きましたが、職員の皆様の優しい心配りがとても嬉しかったです。年寄りを大切に扱って下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。町の発展のためご活躍くださいませ。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>高齢者の長生きの秘訣は笑ったりおしゃべりをしたり唄ったりして楽しく生活が出来ることだと聞いています。気楽に話したり笑ったり出来る場所があれば他の人たちと交流も出来るし良いのではないのでしょうか?(70歳以上 女性)</p> |
| <p>児童・障害のある人・高齢者そして健常者が助け合い、暮らせるまち。与謝野町に住みたいと思える町づくり。(例)以前石川金沢市?で温泉があって、そこに住んでいる人には特(得)がいっぱいあり、人口増加していると人づてに聞いたことがあります。そこでは子どもも障害のある人、老人・・・それぞれに生きることを考え、協力し合っているそんな場所が・・・与謝野町もそんな町に出来たらなあ。(50歳代 女性)</p> |
| <p>だんだん減っていく年金。これから先が心配です。安心して住める町に。(60歳代 男性)</p> |
| <p>独居世帯が多くなり、各地域・地区にあった老人シェアハウス(古民家を利用)を多く作り、町からケアしていく。(60歳代 男性)</p> |
| <p>とにかく弱者が笑顔で過ごせる町づくりをお願いします。(30歳代 男性)</p> |
| <p>私は今年で15年間、家でずっと義母を介護しています。ほとんど寝たきりで楽しみといえば体を起こしてテレビを見たり、右手が何とか動くので計算プリントもしています。1週間に2回与謝の園へデイに行っています。元気なときは農業一筋のようなおばあさんだったので、ある日を堺に脳梗塞になって好きなものも買いにもいけず、今は口癖のように「早く死にたい、早く死にたい」と言っています。話が変わるのですが毎年、8月ごろに役場から敬老会の案内が来ます。いつものように欠席に〇をつけて返送します。72歳から寝たきりなので1回も敬老会に行ったことがありません。敬老会の準備やらに大変なのは分かりますが、欠席者のことも考えてもらえないのでしょうか。記念品を贈ってもらえると、本人が「あー長生きしてよかった」と思えるような、なにか手紙でもあったら少し元気になるんじゃないかと思います。介護する側も毎日毎日終わりのない生活が続くんです。1つのおばあさんとの言葉のやり取りの生活の励みになればいいかなと思うんです。それから合併前に年に介護者奨励金として7万円いただいていた。大変助かっていました。よくおむつがいたので助かっていました。合併後はなぜかなくなってしまいました。介護者のことを何も考えていないなあと怒りがこみ上げてきました。別におむつ代が支給される手続きがありますが、対象の中に入っていないのでいつも自腹で出すしかありません。(50歳代 女性)</p> |
| <p>成長より安心を。アイデアと工夫で豊かな暮らし→必ず人が集まります。(50歳代 男性)</p> |
| <p>「男女共同参画社会」といいますが、教員をしている私でも、まわりの同僚の多くは女が家事の全てを</p> |

| |
|---|
| <p>する（働きながら）というのが現状です。地域の役職を女性にも、というだけでなく、今の高齢者から、家庭から、意識を変えるような取り組みをしなければ、変わりません。子は、親を見て育ちます。（30歳代 女性）</p> |
| <p>【伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり】に関する意見（33人）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「椿」町の木でありながら身近に感じてもらえているのかな・・・今以上に町民に親しまれるように、せめて公共の場所、庁舎、シーサイドパーク、グラウンド、公民館、学校等、集合の場、憩いの場にも植栽され、多くの目に触れるようにされてはどうでしょうか。 ・阿蘇シーサイドパークの活用の一つとして、各地でも人気の「マルシェ」の開催。町内外に出店を呼びかけ、定期的で開催し、町外からも足を運んでもらい楽しんでもらえる場。与謝野町をもっと広く知ってもらえるイベントの中のひとつとして、定着させていけたらと・・・。 ・大江山「山開き」のイベントを・・・例えば、毎年実施されている大江山一斉登山に併せて「山開き」を開催しては。町内外のより多くの人に登って良し、眺めて良しの大江山のすばらしさをもっともっと知ってもらえる機会として・・・。大江山の麓に開けた加悦谷平野。山からの恵みである綺麗な水で育ったおいしいお米をいただくことができる。ありがたいことです。出かけた先々で「どこから？」と聞かれると「天橋立の近くの・・・」と説明しており、大江山を紹介したことはありませんでしたが、これからは機会ある毎に紹介していこうと思っています。 ・町では健康づくり、医療等の充実にも力を入れていただいております。最近よく身にする「血糖値スパイク」。多くの病気の基となる「血糖スパイク」の早期発見につながる、糖負荷検査をすでに実施されている市もあるようです。当町でも、町の検診の項目にこの検査を加えていただくことを強く望みます。このことが医療費の減少、健康寿命を延ばすことにつながっていくのではと思います。まちづくりについての意見なんて書けませんが、日頃感じていることをつぶやいてみました。（60歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・岩滝地域はどこの市町村へも行きやすく、高速の乗り降りが可能であるのでそこを利用すべきであると思う。 ・空き家等を他の地域から入ってこられる人たちに利用していただけるようにする（家族ある方へ）・高齢者、お一人暮らしの方がお買物、病院などへ行きやすくなるよう、町バスの利用を考える（町バス←大きくなくて良いので） ・他府県、他地域の方に毎年来ていただけるイベントを考える（浜町の公園を利用） ・病院と常に連携された託児所を考える（病気をした子どもを安心して4,5時間預けられる場所）・岩滝商工会の有効活用。（40歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの取り込みと京阪神との連携。 ・阿蘇海の再生と活用。 ・企業の誘致。（60歳代 男性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の確保・住宅の確保→古い空き家ばかりでもったいない。 ・結婚、出産への手当て等、若い人が戻って来られるような施策を築いて欲しいです。（30歳代 女性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりとして、町の自然に適した健康や環境に配慮したブランド製品（独創的なもの） ・空き家を含めたIT企業誘致の推進（KYT、インターネットの活用） ・丹後ちりめんの無形文化財登録推進。（60歳代 男性） |
| <p>・大学卒業時（就職を考える時期）与謝野町、宮津あたりに帰って来たいけど仕事がないとけっこう耳にします。又、都会で仕事に就いたけどやっぱり「帰りたい」といったこともよく耳にします。意外とこちらに帰って来たいと思っている若者はたくさんいます。しかし現実仕事・・・町のことに就いて不勉強で申し訳ないです。今回の質問について何も耳に入っていないので5の回答が多くなりました。特に産業の振興について、それに関わっておられる方はよくお分かりと思いますが・・・教育、子育てのことも子どもが離れてしまうと学校のこと、子どもたちのことはさっぱり耳に入っていない。他人まかせの町民で申し訳ないです。私たちの子どもは皆子の町は良い町だ、ほっとするので帰って来たいと言います。自然に囲まれ人と人は挨拶をかわし、山をあおぎ自然の中を歩けます。都会に住んでいる彼らにとっては「水・緑・空・笑顔かがやくふれあいの町」まさにその通りなのでしょう。やはり自</p> |

| |
|---|
| <p>然が1番!のようです。(60歳代 女性)</p> |
| <p>1. 新たな産業と企業誘致し、雇用の確保。町に雇用が無ければ、福祉・教育の充実も、地域のコミュニティもない。与謝野町の未来も無い。雇用は最大の社会貢献と考える。(40歳代 男性)</p> |
| <p>1. 子どもが増加する行政、子育て支援。 1. 若い人が増加しないと、人口は減少する、子どもを生まないので。 1. 中央と山間周辺の差が広がっていき、山間地に人が住めない荒地化し、神社や耕地の保守できなくなる。 1. 周辺にもっと目配りして、見て歩いてほしい。 1. 農業は今のところ補助金で守られているが、林業は全くといって手付かず、林道は荒れ放題であり。 1. 鹿、イノシシ対策は良くできているが、若い猟師を育成。公務員、消防団員に狩猟免許を取得し檻での鹿、イノシシ取得してもらう。災害時の保存食に。 1. 山を守るには1段階林道のコンクリート舗装化、側溝の排水路の整備、待避箇所作り。 1. 大工さんが日本材を使用した建築が少なくなり製材所が閉鎖、どんどん無くなっていく状況下、間伐材の製材所を町営化し、織屋の工場を借りて乾燥材として販売し、木材の良さを若者に知っていただく。その為に、町営住宅は木材の建築をする。 1. 町営住宅がどんどんなくなっているが、明石、岩滝に建っている府営団地の建物が区に1つずつ建立されたら45歳までの若者の入居させれば人口歯止めになり、町の人口増、税収も伸びるはず。若者の増加する町づくりが必要。 1. 町内には、大江山、双峰、池ヶ成、江笠山、天神さん、八幡神宮、一字観公園、阿蘇シーサイド公園、雲岩公園等、十分観光の目玉になる日本一の千年椿があり、町民椿の偉大さを知らんすぎである。寒冬を耐え抜き春一番に咲く茶室部屋に一輪で見ごたえある椿の花、すばらしさを愛着を持ち、千年椿のもっともっと整備しちりめん街道へ来た方が足を伸ばして椿へとなる観光客を誘致できる整備必要。椿資料館で一休みして、歩いて椿へ行くと、何か常に見えない、良さも感じられると思う。 1. ちりめん街道は整備されつつ、宣伝広告も出来つつ観光客も増加方向である。行政、町民の取り組みでどうにも変わっていく。観光に来た人に、新鮮な野菜、お米、特産品、お土産を考えていく事。 1. 千年椿の看板に樹齢500年と記入あるが植物博士の渡辺武氏が椿の原種、黒椿であり樹齢1000~1200と言われているのに、一椿会員の知ったかぶり1人が言った事で500年の看板は撤去すべきです。毎年樹囲り一本を計測して大きさを記録すれば推定わかる、もう25年も千年椿と世に出た時より経過しているが・・・? 1. 田舎と食を守る政治が必要、災害のときに水と食料、衣である。世界中不安材料いっぱいの中、船が止まれば日本の食糧2年も持たないことも十分考えながら農家、林業、企業を守ること。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>1~4の設問は必要でしょうか。疑ってかかれば無作為といいながら個人の特定につながると思います。 ・NHKのプロフェッショナル仕事の流儀、島根県邑南町の寺本英仁さんの番組映像をオンデマンドで見てください。 ・町内でお金をまわすことや多額の支出を見直して外貨を稼ぐことをする。海岸道路を毎日どれだけの観光バスが通過し、排ガスを残し、トイレに止まるか、海岸に止めて写真を撮っているか違法駐車をして釣りをしているか、ご存知でしょうか。ここで観光バスを止めてお金をおろしてもらうこと、岩をのけてお金が取れる駐車場作ったり、目の前の観光資源を有効活用していない。グランドゴルフ場も芝の手入れ管理人の給与などの支出を利用者の収入で見れば見直しを考えてもいいのではないのでしょうか。 ・2/11は楽しみにしていましたが中止で残念でした。が、この時期に雪はつきものだということを知っているのではないのでしょうか。都会の人の言うなりでは・・・2/11にされる予定であった事業を外貨の稼げる事業として発展させていって下さい。ただし、地元住民の意見を聞いたり知らしめたりすることは常識の範囲内だと思います。(60歳代 女性)</p> |
| <p>① 最近の町道の除雪のしかたが、5~6年前に比べるとザツであると思う。 ② 町づくりをするにも人がいると思う。人が減っていくばかりでは何も出来ないと思う。 ③ 若い人が働ける産業がほしいと思う。 ④ 与謝野町のメインは何か、むかしは、ちりめん、今後そのちりめんを色々の分野でいかせないか? (60歳代 男性)</p> |
| <p>阿蘇海環境づくりで多くの方(ボランティアの大学生も含む)による、アオサ、カキ殻等の回収によ</p> |

る水質改善の結果は？阿蘇シーサイドパークでイベントのときに、年に1回くらいで良いので野田川の川尻のはまぐりとか男山のアサリの潮干狩りのような（海水が多いので？）イベントが出来ればよいと思います。（60歳代 女性）

お金を産む町にしたい。意味のないしきたりや、風習はもういらぬ。（50歳代 男性）

旧加悦鉄の再設。（70歳以上 男性）

現在の与謝野町のイベント（特に産業的なものはそのほとんどが旧岩滝町で行われていて、イベントに参加する人も岩滝地区の人ばかりで加悦や野田川の人には行きたくても行きにくい状況です。車しか移動手段がなく、バスもないので子どもやお年よりは送迎がないといくことも出来ません。各地区（岩滝、加悦、野田川）で持ち回りにするとか、どちらからも行きやすい野田川地区でイベントするとか、考えてほしい。なんでもかんでも岩滝メインなので、他の地区の人は、きっとおもしろくないはず。もう少し平等に考えてほしいものです。除雪、街灯の件も考えてほしいです。高校生が歩いて帰ってくる道なのに暗い蛍光灯が50メートルに1つなんて考えられません。民家もない道で。どうかお願いします。（40歳代 女性）

現在は柵を作ってもらったので猪はそこまでは来るが中へ入ることはあまりなくなりましたが、集落の周りに竹やぶが住宅に被さるほどに茂っている為か動物が居やすくなっているのか、熊が2回程とサルが夏から秋に良く見るようになり、柿が木を折られ実は取られると言う事です。家の近くまで竹やぶがあるので見通しが悪いので用心の致し方がない状態です。他市町でも家の近くは伐採いたしているので当町でも実行してもらうことは出来ないかと考えています。町の方針であると言うことになれば持ち主も許可すると考えます。（70歳以上 男性）

高速道路が整備され、都市が近くなった今、大手の企業誘致をして雇用を増やしてほしい。（60歳代 男性）

公務員の定年退職後の再任用をやめ、その原資をもって地元に残りたい若者を雇用し地元の定職をはかってはどうですか？（50歳代 女性）

これ以上、大型の商店誘致は不要。土地利用の問題だと思います。農地、空地の有効活用を勧めること。自産自消をすすめる。道路の整備、歩道、自転車道、車道の整備を進める。視・聴覚等障がい者への配慮を含めて。高齢者と子ども（保・幼・小・・・）たちと触れ合える場づくりを日常的に取り入れる。高齢者家族になっても、隣組長を課せられるのはつらい。（近所づきあいにも遠慮しなければならなくなる）（70歳以上 女性）

これからの子どもたちの将来のために必要なことは①雇用の確保②教育、子育ての充実③医療の発達であると思う。与謝野町の自然環境は素晴らしいのでこれからも大切にしたい。京都縦貫道の全面開通により、京都市内への移動が便利になった。鉄道関係も含め、都会とのアクセスが充実すれば生活の利便性が充実する。隣組内での神社清掃や溝掃除等は用事があっても断れないのが現状。地域住民に頼りすぎではないか。景観等を気にするのであれば、行政が関与しても良いのではないか。観光や物産で他市町より優位を取るの難しい。田舎ならではの子育て世代に対する政策が充実すれば、差別化を図れると思う。具体例）子どもの人数が3人以上の世帯は3人目学費免除や祝い金（買い物券）の給付など。ボランティアなどに参加すればスタンプを押してもらい、自分が高齢になったとき、そのスタンプの個数により様々なサービスが受けられるといったサービスの開始→高齢者の生きがいやボランティア参加人数の拡大へ。（30歳代 男性）

シーサイドの広い土地をもっと活用して、子ども達の遊び場所や、「道の駅」みたいな人の立ち寄り建物など。（70歳以上 女性）

人口を増やすためのキーはやはり雇用ではないでしょうか。とはいっても弱体化したこの町の中では新しい産業を興すのは難しいでしょうし、今あるものでは間に合いません。宮津や福知山、舞鶴、豊岡、峰山などの比較的余裕のある地域と連携し、役割を分担するような形（はたらく地域と住む地域というような）が必要だと感じています。行政だけでなく、住民にもその意識を汲ませた町外や京都府内外へアピールしていくべきです。交通の便の更なる改善（特に公共交通機関）。他市町村との連携を期待しています。素人の乱文失礼しました。（15歳～19歳 女性）

折角あるSL、これを生かしてリピーターを増やすことは出来ないか。例えば、来客者がSLの運転が

| |
|---|
| <p>出来るとか・・・（もちろん構内で）（余談）長崎のテーマパーク、ハウステンボスの澤田秀雄社長は現場第一の人だという。7年前 18年間の赤字が続く同社の再建を託されるが、冬季の集客率の低さに悩まされた。打開策を探そうと園内をくまなく歩き回った。日暮れが早く、花も咲きづらい。その中で思いついたのが「暗いなら明るく！花が咲かないなら光の花を」と多数のLEDで世界最大級のイルミネーションを考案、日が短い分華やかな演出を長く鑑賞してもらえると発想を変えた。その結果、冬季に多くの客を呼び込むことに成功。創業から始めて経営が黒字になった。いかなる分野においても「現場」に発展の鍵があるという。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>全国的に織物産地が衰退していく中で、当地は絹織物においても、他の織物においても、他産地にはない優れた織物ができる産地でもあるから丹後ちりめんの産地として何とか産地が存続できるようにしたいし、町としてもバックアップしてほしい。又、少しでも多くの若者がこの地に定着できるようにしてほしいし、その為には観光と新しい産業を育てるか、産業誘致に力を入れるしかないように思います。幸い岩滝地区には目の前に天橋立や内海があるので、資源には恵まれているし。例えば、阿蘇シーサイドのグランドゴルフ場を有識者で委員会を立ち上げて、みんなで知恵を出して有効に生かすことを考えてはどうか？観光バスが府中方面にただ通過するのを見ているだけでは勿体ない気がします。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>大学へ行かれても帰る人は少なく、町は空き家が目立ち寂れる一方です。道路網も大方整いました。土地は沢山あります。京丹後市、福知山市の様に大企業の誘致を考えていくより策はないのでは・・・と思われる。そんなことはとくに・・・といわれそうですが。すみません。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>ちりめん街道について、他町の保存地域に比べ街道の整備など遅れているように思う。意見を言っても聞くだけで、”じゃあ、どうしよう”という言葉が返ってこない。”町が動かない””言っても何にもならない”そんな言葉ばかりで、指定された街道も一向に良くならないと思える。与謝野町の中の一部、保存地域になったのだから、少しでも良くしてほしい。見学者がこられても、二度と来なくなる・・・保存地域になったのに・・・（60歳代 女性）</p> |
| <p>定年後又は高齢者の転業を誘致する（農業、織物、食品加工業）、織物専門学校の設立（技術者養成のため）、町の活用していない施設を解体又は民間に譲渡する。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>福祉を中心とした、地域資源の循環、労働力の循環が出来る社会の構築。自然環境は豊かであるものの、決め手となる観光資源の無い与謝野町ではあるが、ただ観光地を見て回るより、体験型、交流型の観光をして、地域のファンになってもらい、若い人の定住促進をする、又地元農産物、特産品のPR等で販売促進をする。野田川流域の再圃整備をして作業性の工場、農業生産品の多様性、米の品質向上を計る。（60歳代 女性）</p> |
| <p>昔は山の中を走り回ったり、チャンバラしたり、しいの実ひろい、あけびの実探しなど、山の中にはいっぱい興味あるものが季節ごとにありました。是非山の整備をお願いしたいものです。荒れ放題で、たけのこ取りに行くのも山が崩れていたり木や竹が倒れていたりして入りにくいし、陽もあたらず竹ばかり繁茂し、尾根までせまっています。整備することによって山川も整備することになり、ミネラル豊富な山水が野田川に注ぎ、あその海を豊かに潤します。私も70を迎え、昔のように山の中を駆け巡ることはできませんが、孫の手をひいて散歩に出かけられるようになればいいなーとは思います。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>山添町長就任以来、行政に動きが出てきたなと言うことを肌で感じており、感謝も致しております。ひとつのことを改革するのも一朝一夕には参りませんが確実に町民の意識も動き出したようにも思っております。行政内部も変わってきたとも思え少し希望も見えています。惜しむらくは町外に与謝野町のアピールを積極的に推し進めていけないかなということが人口減少の歯止めにつながるのでは・・・そういう手段もあるのではと言う思いです。個人的な見解ですが、対外的なアピールで人々を誘い込むことが遠くも近くも必要なことだと思います。今の町政は魅力あるものになってきているのではありませんか？すばやい対応をしていただいで感謝している一個人として・・・。（60歳代 男性）</p> |
| <p>与謝野町に高速道路がついたので降りてもらう事を考える。与謝野には何も無い。京丹後市～伊根浦方面に行ってしまう。例えば温泉掘るとか会社を呼ぶとか考える。（60歳代 男性）</p> |
| <p>与謝野町は飲食店が少ないと思います。1つ1つのお店にはこだわり等があり、イベントなどにもよく参加されているのを拝見しますが、もっと数があれば良いな、と思います。（20歳代 女性）</p> |

| |
|--|
| 若者の職場を作る。(60歳代 男性) |
| 私の子どもたちもみんな都会に住んでいます。ふるさとに帰って来たいのですが、働くところがなくて帰れないと話します。教育関係は大変恵まれていますのにどんなものでしょうか？若い町長様なんとか子どもたちが帰ってこられるような町にしてください。そうすれば人口も増えますし、若い人又孫たちで町が潤います。私も70代のおばあちゃんです。このようなことを思っている友もたくさんあります。(70歳以上 女性) |
| 【自然と安全を守るまちの基盤づくり】に関する意見(7人) |
| <p>① 山、川、海の保全→大江山とすそのを流れる野田川、そして海へとこれらの豊かな自然環境を守り、子どもたちが昔のようにその中で遊ぶことの出来る町づくり。そして、その自然の中での暮らしを求めて、移住者を受け入れる町づくり(町の補助事業や、受け入れ体制、人づくりなど)そして、これらのまちづくりで観光事業にもつながる考え方。</p> <p>② 男女共同参画社会の構築→各地域に入ると、まだまだ男が中心といった意識が根強く、女性が活躍できる場が少ないのでは・・・そういった啓発活動や、女性、夫人の組織を支援する仕組みづくり。</p> <p>③ 行財政改革の推進→当初揚げられた合併後の庁舎等のあり方について、中途半端な状況にあるのではないか。今後を考えるなら、与謝野町の庁舎は一箇所としながら、地域の組織の強化を行い住民、地域、事業者、行政の協同。協働のまちづくりとして進められないか。計画的に予算投資(財政)もしていく必要がある。</p> <p>④ 農業の振興→小規模でも楽しく農・園芸が出来る、そして守っていこうと思えるような町独自の施策。(60歳代 男性)</p> |
| H29.2.6 午3時ごろ”ちちんぷいぷい”のテレビで和歌山県有田川のゴミの話が放映されていました。色々な町の取り組みを見習って、ゴミの減量に知恵を絞っていただきたい。ちなみに私は、豆腐はナベを持って買いに行った世代です。(70歳以上 女性) |
| 阿蘇海沿岸部の洪水対策を検討して欲しい。(40歳代 男性) |
| 自然を大切にしていこう。(15歳~19歳 男性) |
| 日々町民の安心安全のためのご努力に感謝しております。アンケート問10については町全体の把握が出来ておりませんのでお応えしかねます。各方面での災害を目の当たりにする度、今日まで当町においては大きな被害もなく穏やかに過ごさせていただいて来ました。さらに災害に強い町づくりをお願いしたいと思います。(70歳以上 女性) |
| 毎日ではないですが、堤防を30分ほどウォーキングしています。目に付くのが河川敷(堤防)にスーパーの袋ごとゴミを捨てる人を良く見かけます。ゴミを分別せずに缶や食べかすなど、堤防の草刈を定期ごとにしていだけたら、ゴミをほかす人も少なくないかと思えます。河川敷も事前を残す所と花を植えてベンチを置いて散歩できるように、カモや野鳥も観察でき美化運動にも良いと思えます。30年前は岩滝の汽船場あたりであさがりが取れていたのに今は海があっても漁業権のある人しか自由に貝とか魚も取れない。川もゴミが散乱して、きたない。阿蘇シーサイドパークはきれいに手入れされていても、このままでは世界遺産には難しいと思えます。(70歳以上 女性) |
| (問5の11 その他→問6の5番)(問12のまちづくり→29番)・岩滝地区の住民は税金を納めているのだから、地域の町づくりは公務員がすれば良いと考えの人が多(岩滝地区に知人が多くいるが話をしていると上記の考え方が多い)地域のコミュニティの妨げになる(問12 自然環境3番) |
| <p>① 災害に強い山や川の防災強化、近年鹿の出没により山膚の露出により流砂が多く現在砂防ダムが各所で設置されています。だが、災害が発生してからのみである。地元の住民と各所の点検をして対処すべきである。</p> <p>② 生活環境10番、交通安全や地域防犯の推進。歩道の整備により子どもの通学路頭安全が確保されつつあるが、自動車、自転車の運行が危険なところがあり、事故等で歩行者が逆に危険になる場所がある(小さなところですが)地元の住民などと行政にて、合同パトロール(検証)すべきである。(例)道幅の確保のため、溝を蓋をしている所が沢山ある。道路と平行して網目のフタあり、老人車のコマがはまる、その為車道にフタがあるたび急に車道にでる。自動車の通行に危険が、その他色々ある。(70歳以上 男性)</p> |

【快適で安らぎのある生活環境づくり】に関する意見（25人）

人が住む場、農業等を進める場所を分ける。特に冬場における住む場所を作る。学校等が人口が減ってきたときに仮の住む場所に改造してみんなが仮設に住むところにする。特に年寄りなどが一箇所に集まって住む（冬場、雪のあるとき）ようにする。夏場は今の住まいにて生活をする。デイサービス等をうけたい人が、多くなりすぎて順番待ちの状態になると思われる。今の住まいでは病院、買物等が一人では出来ない心配になると思います。そのため、仮設の住宅（高齢者向きの町営住宅）を作してほしい。（60歳代 男性）

町の中心地は別にして、町周辺の地域は人口が少なくなることははっきりしているので、人の住むところを集約してゆくことはどうでしょうか（空き家の再生利用等も利用しながら）（70歳以上 男性）

一箇所に食のお店が並び～横丁みたいなイメージ。人と人のつながりが持てるコミュニティセンター。（30歳代 女性）

- ・岩滝網野線の拡張工事を進めてほしい。
- ・冬期に歩道を除雪していただきたい。高齢化に伴い車道を歩くのは大変危険と思う。
- ・阿蘇海はキレイになっているのか？もしなっていないなら原因を究明し対策を考えるべきと思う。日本冶金よりの排水はキレイなのか？不明と思う。（70歳以上 男性）

言っておられた方がお亡くなりになられたので変わって申します。与謝野石川（下地）に墓地がほしいです。どこの地区も出来ているのをお願いします。個人の売買は難しいです。下地には土地がたくさんあります。イノシシに荒らされて訴えています。何回も何の返事もありません。よろしくよろしくおねがいします。町民の意見です。（追伸）石川下地には町民住宅が沢山あります。（団地）住宅の人々も言っておられます。（70歳以上 女性）

岩屋峠の府道改修につきましては、当初の計画通りに進めていただけると安堵しておりましたところ、聞くところによりますと予算の都合により、大幅に縮小されるとの事で、地区の役員さんたちも陳情とかご尽力いただきましたが、確かに財政的な問題は大きいですが、峠を降りてきたところのカーブの周辺では、過去に死亡事故もあり、事故の多さは警察でも把握しておられると思います。今でもスピードの出すぎ車が多いのか、道路が良くなると、益々増えるだろうと危惧しております。どうにもならないのでしょうか？（60歳代 女性）

河川改修に伴い、土手を利用しての花づくり。いろいろな花木ではなく、1種類の花木で統一する。花、花木で人を呼べると思う。（60歳代 女性）

住民の人に頼らず押し付けず役場の職員が儲かるように考えること。そして町のライフラインを発展させ、位置する。先立つものは何か昔から分かったことである。（70歳以上 男性）

1. 交通関係ですが「ひまわりバス」が運行され、便利になりました。上手に利用させていただければありがたいバスです。バスのコース表をみながらあそこで丹海バスのりつぎ府中方面へも行けるなあと考えたりしています。加悦奥方面へはこの地域からはバスは行きませんが、どこともその様なことはあると思いますので仕方ないことです。暖かくなれば利用してお出かけできる機会もあると思います。

1. 人口減少子ども達が少なくなりました。私どもの区でもお祭を例としましても、青年達は多いのに子どもが少ないのです。太刀振りの子ども達も家周りに三人でしたが去年は二人ずつという様なことで大変なようでした。女の子も達が参加する子どもみこしのかつぎも少なく二基から一基に去年はなりました。子どもが少なくなることはやはり若い人たちの結婚・・・という点だと思います。今でしょう！！何とかみんなで考えなくてはならないことだと私自身思っていますが一人で考えていても何ともなりません。思いのままを記してみました。（70歳以上 女性）

高校までの交通手段をお願いします。石田からはとても不便です。以前のままでよかったです。今年除雪が遅くてとても困りました。去年までは6時ごろには来てもらえていたのに出勤時間まで（7時半ごろ）にはお願いしたいです。どういう約束になっているか町報で知らせてください。必ず。全く情報がありません。未来のことは今が大事です。（15歳～19歳）

子ども達が高校、大学卒業と同時に都会へ行きます。途中で帰ってきたときは、働く場所が少なく、与謝野町に帰って来た！与謝野町に住みたい！与謝野町は暮らしていくのに良いところと行ってもらえ

| |
|---|
| <p>る町にしてほしいです。高齢になり織物もやめていく方々が多くなります。機械の部品がなくなっていく現在です。もっと別な産業で力を入れていくのも良いです。小学校等も早く一緒になってコミュニティバスで登校できるように、高齢化になり遠くへは車で出かけられません。もっと町のバスが自動車と連絡が取れてたくさんあれば、京都、大阪、神戸などへ出かけられます。68歳で一人で京都一日歩きました。元気がもらえるのもっと出かけられるように便利になってほしいです。(60歳代 女性)</p> |
| <p>自転車道路、全区域に電灯を設置(案が出ているように聞いたのですが・・・)、子どもの遊び場(公園)の増設。(60歳代 女性)</p> |
| <p>電車があれば駅があれば今後の町づくりになるが、少ない人口では問題があります。(70歳以上 女性)</p> |
| <p>与謝の海病院まで車で行けない人のバスの便が不便とよくよく聞きます。又、駅までが遠くKTRをなかなか利用できません。町のはずれにあるような・・・車のおりが多い道の通学路は歩道を透けて欲しい。Or 広くして欲しい。加悦高⇄香山までの間等。(30歳代 男性)</p> |
| <p>もう少し交通面を便利にしたほうが良い。若者向けのお店がない。町全体が高齢者中心の町になってきている。もう少し若者が帰って来たいと思えるように、小さい子が楽しめる場所を作る。道が狭いから緊急自動車が入っていけない場所がある。交流の場が少ない(喫茶店等がない)がんばってください!(15歳~19歳 女性)</p> |
| <p>私の近所に消防車も救急車もブルドーザーも通れない狭い町道があります。数年前、隣接する空地の地主さんが道路を広げられるときは協力するという返事を受け、当時の区長様が前太田町長に要望を致しましたが、数名の反対者があるとの理由で実現にはなりません。反対の理由は、交通量が増えてうるさい、子どもが小さいので危険とのことでしたが、年がたてば子どもは成長し、第一そんな道路をスピードを出して走るものもおるまいに・・・。危惧したとおりその後2回ほど救急車が来たことがあり曲がれない、直進も出来ないで時間を費やした経緯があります。現在は空地だったところは家が建ち、今更どうにもなりません、あのときの町の対応と反対者への不信感がわだかまりとなって今日に至っております。今後町内でこのような問題が生じた時、好機を逃さず適切な判断と対応を切にお願い致します。(70歳以上 男性)</p> |
| <p>若者が住みたくなる街づくりに力を入れてほしい。人口が減るといいつつ、安心して子どもを産める病院も無い。増えるのは老人ホームだけ。観光地というちりめん街道もひどい。瑞穂町では、町の道路を1本面々通行止めにして、福祉施設で働いている人たちも呼んで、軽トラ市をやっている、老若男女が集まっていた。他の町でやっているイベントなどいいところを見習ってほしい。与謝野町のホームページは内容検索しづらい。大事なニュースを随時更新せず、毎日ちゃんと更新されるのは熊情報だけ。みんながほしい情報は熊情報ではない。(20歳代 女性)</p> |
| <p>何でもIT化の時代になっても地方の田舎では特に与謝野では高齢者の大半がホームページを見てくださいではパソコン本体がない老家庭があり大半が老人世帯にあるにもかかわらず時代の流れに行政がしなくても良い。元気な老人が働ける雇用の確保。元気な老人のボランティア活動の推進(若い人は働いていただき町の役はまだ老人が出来ることはしたほうが良い)アンケートをとるなら検討していただけますように・・・(70歳以上 女性)</p> |
| <p>どんな取り組みをしているのかが住民に見えないことのほうが多いように感じられます。行政として上手にアピールできると良いですね。教育に関しては、もっと子どもの人権に配慮していただきたいと思えます。将来を担う子どもたちを大切に、彼らが故郷で子育てをしたい、生活していきたいと思える町づくりをして下さい。(40歳代 女性)</p> |
| <p>町の現在の様子がだれにでも簡単に分かるように、インターネットなどの情報を工夫してほしい。(40歳代 男性)</p> |
| <p>イベントの告知にもう少し力を入れて欲しいです。インターネットやFacebookでは情報発信をされていますが、見ていない人には伝わっていないので、せっかくの面白そうなイベントも伝わりきっていないのでは、とモったいない気がします。費用はかかりますが、視覚に訴えるポスターやチラシ配布などで呼びかけてもらえれば参加者の輪も広がるのではと思います。(30歳代 女性)</p> |
| <p>・もっとインターネットなどのネットワークを意識した町政を行って欲しい(SNSなど)</p> |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・町に文化が少なく、中・高生の頃は「自分は貧しい町に住んでいるのだ」と劣等感を感じた。 ・ケーブルテレビの精度をもっと上げてほしい（あげられないのならやらなくて良いと思う） ・医療制度をもっと発達させて欲しい（自病の療養に毎月京都市内に行っている）（20歳代 女性） |
| <p>まちづくりのためにテーマが多くあると思います。将来に必要なテーマを町報、KYTでPRして色々多くの意見も出してもらおう（サポーターになってもらう）。小さな輪の中で議論はまとめてよいが大きな輪も必要としたら良いと思います。お金をかけずとも良いことはできると思います。○与謝野の魅力は何か。（花）1年中割き続ける1月（ ）2月（ ）3月（ ）（体験）織物、工芸、陶芸、農産物（SL）ドーム型、ミニSLがいつでも乗れる。（60歳代 男性）</p> |
| <p>有線テレビで楽しみにして見たいと思うものがありません。以前なつかしのメロディーが楽しみでしたが、今はありません。詳細のない時字幕ばかりなので、時々でも歌を流していただけると楽しみもあり嬉しいです。以前流された同じものでもいいですが・・・。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>有線テレビのアナウンサーの話し方が暗い。笑顔がない。江陽中学校の体育祭の創作ダンスを撮る時、大人数で踊っている凄さを見たいので、遠くからのアングルを増やして欲しい。（近くでは、いつも見られるから、カメラでしか取れないアングルを増やして映してほしい）（15歳～19歳 女性）</p> |
| <p>【明日の人材を育てる教育文化のまちづくり】に関する意見（11人）</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域の青年会や消防団、地区体協、祭り実行委員会等、他縁団体を応援する施策が必要。若者が都会に出て帰ってこないのは地域に魅力を感じないから。しかし、魅力では都会に勝てない。都会の物的魅力に勝つことが出来る人的魅力が子の町にはたくさん眠っていると思う。普段は都会で働いていても祭りのときだけはわざわざ休みを取って帰ってくる若者もたくさんいる。彼らは地域を愛し、潜在席にUターンを望んでいる。そのような者を育て、受け入れる土壌（人の育成が不可欠。1ターンにもつながる。 ・不登校、引きこもり、貧困、集団から外れた若者を” 掬う ” 施策をすることが必要。田舎は人が少ないから、そのような問題がない、少ないと思っている人が多い。逆に、都会とは違い、逃げ場がない、サポート制度がない、人の目がないから深刻なケースに発展する場合があると思う。与謝野町内に何人大人の引きこもりがいるか？把握できている部署があるか？町独自の取り組みを何もやらないのか？不登校は、トライアングルで救われた子も居る。人生の厳しい時期に” 見捨てられた ” 思いを抱かせ、放置することで将来大変なことになると思う。 ・子どもにお金をかけて欲しい。教員の質も低い。地元出身だというだけで20年近く教員採用試験に落ち続けているものが教員をしている。町が人事権を持つべき。ICTの活用や、英語授業等やることはたくさんある。特色を出さないと、教育無料の伊根にも人を取られる。府は加悦高を見切って、介護、福祉学校にしようとしている。実際、加悦高には何も考えていない、意識のひくい子どもばかりが集まる。加悦高に行かせる親も、同様、何も考えていないか、お金がないか。教育は人づくり、人づくりをしない町は滅びる。もう少し長い目で費用対効果を考えて欲しい。たとえ効果が数字に出てこなくとも、子どもは町がこれだけのことをしてくれたと思い、郷土愛につながる。 ・若い人が住める土地と、家を安価で提供してはどうか。移住が進まない、結婚しないのはお金がないから。公費で婚活パーティーをするよりよっぽど良い。 ・ギャンブル依存の取り組みをそろそろ本格的に取り組んだほうが良い。近所にも一家総出で正月からパチンコに行く家族がある。本当に異常な状況。パチンコで破滅した家庭もたくさんある。今後カジノ法案により、関西にもカジノが乱立すると思う。今後ますますギャンブルで身を滅ぼす人が増えると思うので対策を考えるべき。 ・田舎はどこでもですが、人が外に居ない。何か、人が外に出てくるような町づくり、雰囲気作りはできないか。外を歩いても誰とも出会わない町はさびしい。（30歳代 男性） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ハード面より、相手の立場に立って考えられる人間の教育に努力しましょう。 ・旧加悦、野田川、岩滝の各町が知恵を出し合うには、その場を設けることです。多くの若者が、そのことを切望していると思います。お互いを知ることからすべてが始まります。 ・発信を強力にしましょう。伊根町のように。（60歳代 男性） |
| <p>子ども達が大きくなって、都会に出て行っても、いつか与謝野町に帰って暮らしたいと思えるような町</p> |

| |
|--|
| <p>にしたいですね。保育所、小学校、中学校、高校で思い出に残るような、なつかしく思い出せるようなことがあれば良いですね。（60歳代 女性）</p> |
| <p>昨年の与謝野町合併10周年記念事業として実施された与謝蕪村俳句大会の呼称「平成BUSON俳句大賞」のBUSONのローマ字には愕然としました。何も横文字にしなくてもよいでしょう。日本の伝統文学の代表でもある俳句を軽視する姿勢が垣間見える。蕪村とするのが妥当でしょうが、百歩譲ってせめて「ぶそん」と平仮名にするのが懸命ではないでしょうか。是非一考を！（60歳代 男性）</p> |
| <p>人口減、少子高齢化は10年以前から言われています。国府、総理、知事から決定的効果の政策が行われていない。このような事は選挙に効果、影響がないからだといいます。与謝野町は常識にとらわれない独自（町）の見識で新しい市、新しい社会を築いてほしい。未来事業、光合成の人工工場、環境問題のCO2削減、完成しなくても、これが出来る人材の育成、そういう場所、大学校をつくる。空き家、これからも増えていく空き家、空地为に何様に利用、対処するのでしょうか、町だけでなく、府（知事）から効果のある対策を示してほしい。半強制的でも太陽光発電等に利用してほしい。地域大学校、それぞれ理工系に優れた人材、少数（1～3人）を部門ごとに育てる。地域のノーベル賞を目指す。食品、農業、林業、土木等。浮いて走る車、与謝野町のノーベル賞、京都賞を設ける。地域の活性化の為に。（60歳代 男性）</p> |
| <p>丹後にも大学や専門学校等を建てて、若者を丹後（地元）に残す（戻す）取り組みをしていく必要がある。（30歳代 男性）</p> |
| <p>物、金を大切にするよりも人々のつながりや心を一番大切にする教育をしていただきたい。本当に大切な物、事は何なのかを行政にいる方々がまず考え、行動し、それが手本となってこの与謝野町の人々に浸透していくよう教育をされてはいかがでしょうか。子どもたちの手本となるべきは町にいる大人です。この手本となれる教育を大人の方々もしていくべきだと思います。（40歳代 男性）</p> |
| <p>やはり教育の充実ではないでしょうか。子どもたちの教育の充実が将来、このまちを支える原動力であることは明確で、そこに力を入れることが求められていると思います。明るい未来は子どもたちの笑顔です。（40歳代 男性）</p> |
| <p>山添新体制になり、近隣地域からも注目を集めています。古い体制、体質によって行動が起こせない町は、行政の誘導があっても一向に変化が起こらないです。丹後半島を見渡してみても、固有の文化や自然の残るところに他所から移り住んでくる人達が魅力を感じています。昨年、夏の終わりと暮れに丹後の面白いところをめぐる小さなツアーを行いました。全国的に有名な景観や遺産のようなものはないですが、皆さんが一様に「ワーっ」と声を上げてくれました。何に対して反応してくれるのか見たいという気持ちもありました。二度ほど、そういう機会がありましたが、丹後出身、在住の人たちも大喜びする瞬間にも出会えました。体験したということで、その地域が好きになり、ごくわずかですが住みたい場所の候補にしてくれます。団体旅行は、格安で短時間に名所、旧跡を案内してもらえます。個人旅行でも、その土地に詳しい人が加わってくれた途端にかがやいて見える場所に出会えます。与謝野町は、団体旅行向きではないのです。少人数で小さな文化、歴史、景観を楽しんでもらい魅力をかき分けてもらえれば。この町は、そういった移住促進にも力を入れておられると感じております。田畑があり、子どもさんが後をとっているところは、まだ少し人口の流出は防げるとは思いますが、そういう土地とのしがらみを持たない世帯のところは、住環境、教育、仕事が充実した都会へ流れていきます。「こんなところはあかん」という大人をなくし、子どもたちの意識で留まって（Uターン）くれる人になってほしいです。それからこの町に感じることは、阿蘇シーサイドパークで行われるイベントなどにはおどろくほどの人が訪れます。これは他の地域ではあまり見ない現象です。もう一つは、私たちが旧岩滝町のときに教育委員会の依頼でスタートした「ふれあいコンサート」ですが、今年で20周年を迎えます。教育委員会さんに協賛はしていただいているのですが、毎年、役場職員さんの入場がほとんどないことにも驚いています。町を好きになってもらい、未来永劫続くためにも、興味のないことは仕方がないですが、職員の方々にも町民がどのような意識を持って町づくりをやっているのか探してほしいものです。（小さい町で顔がさすといわれる気持ちもわかります）まちづくり、民間人のグループなどの登用もあり、良い感じに進められている町だと思います。後は、それを受け取る側の問題です。（60歳代 男性）</p> |
| <p>豊かな自然に感謝し守っていくこと。・・・健康の為にサイクリングロード及び野田川堤防付近を歩きますが、空気が澄み自然豊かなふるさとの風景を見るたび、古事記の「倭は国のまほろば たたなづく青</p> |

垣 山ごもれる 倭しうるはし」有名な倭建命の歌を思います。まほろばとは「すばらしいところ」「住みよいところ」という意味だそうです。私にとってこの与謝野町は間違いなく「まほろば」です。「よさのは我がまほろば 空澄みわたり水清く たたなづく青垣 山ごもれる よさのしうるはし」です。人は大自然の一部です。心に響く自然に包まれてこそ人は人らしく育っていけると思っています。皆で守りましょう、我がふるさとのこの自然。※与謝野町といったら「丹後ちりめん」と「これだ!」といえるものがほしいです。色々な方が頑張っておられることは承知しております。折に触れ他地方の方々には地元の特産品をお届けすることで与謝野町のPRをしたいと思っています。私のような主婦にでもできる地元の貢献?はこんなことぐらいです……。丹後ちりめんをはじめとする絹製品に並ぶ心ときめく和謝野ブランド品の開発をお願いします。30年先の与謝野町を素晴らしいものにするために……。もっとも大切なのは「ひとそだて」かと。人を育てようとする環境づくりは大切だと思います。笑顔・元気・行動力・勇気・優しさ・根性・しなやかな心・気づく力・思いやり・助け合い・支え合い・強力・ひらめき・考える力・想像力などなど。今、町民の一人ひとりが自分のもっている力を自覚し、それを磨こうとすることが町全体のグレードアップに繋がると思います。また、大それたことは出来なくても、些細なことでも誰かのためになるという意識を持って行動できれば町の基礎体力が向上し、益々良い人の育成とともに「笑顔かがやく町」「子育てするなら与謝野町」「福祉のまち」等々の名にふさわしい町になると思います。会った人に挨拶をするだけでも良いと思います。ごみをひとつ捨てるだけでも良いと思います。なにかひとつでも行動すれば町全体では膨大なプラスの動きになります。やる気満々の人は=元気いっぱい和謝野MANとして。和謝野MANはちょっと恥ずかしいな……。という方はやさしさあふれるよさのびと……。と、ほのぼのとした感じで個々の個性を活かして町づくりに参加できるように思います。一人ひとりが皆主役の「いいとこばかり和謝野町」になりそうな気がします。ウォーキング中、小学生・中学生・高校生に会うことが良くあります。まったく顔見知りでない子ども達ですが、とても気持ちよく挨拶をしてくれます。「こんにちわ」の一言にどれほど心を癒され、元気をもらうことでしょうか。とてもすがすがしい気持ちにさせてくれる町の宝物です。子ども達が心も体も健やかに成長できますよう祈っております。子ども達にはもちろん、各学校の先生方、保護者様に感謝しております。本来なら各学校に気持ちをお伝えすべきことと存じますが、今回まちづくりアンケートの機会を得ましたので書かせていただきました。どうぞよろしくお伝えください。(50歳代 女性)

若者が帰って来たい町づくり。町内小・中学校の平等な環境づくり(ナイターの有無)など。ナイターの使用時間、なぜ10月や11月で使用できなくなるのか?小さなときからスポーツが出来る環境であれば、トップレベルのスポーツ選手が現れると思う。武道場の拡大。大会が出来る柔道場もない。通常2面や3面は必要。大会を開くことにより町も活性化されるのでは?スポーツの環境が全くだな。(40歳代 男性)

【協働で進めるまちづくり】に関する意見(19人)

60代女性主婦、自営業手伝いをしています。最近和謝野町は色々な取り組みをがんばってやっておられると思いますが、我々一般町民はどのようにしたら気軽に参加できるのでしょうか?ちょっと気軽に参加!お手伝い!って出来たら良いのですが……。(60歳代 女性)

1. 町職員の不正(収賄)の撲滅【現状の町職員には期待していない】
2. Uターン・Iターン者の町職員への器用推進
3. 夫婦・親子で町職員をしているものの削減(どちらかのみ起用)
4. 町職員の採用についての不正撲滅(人員募集時には内定者がいる現状がおかしい)
5. 親子孫で町職員を継承しているものの撲滅(継承させない・職員は政治家ではない)
6. 町民が減少するのに保育氏や町職員が多すぎる(町職員の削減や町議員の削減を)
7. 企業誘致の率先的推進(町内就職率の向上及び町内居住者の増加促進の為)
8. 町として地場産業を率先してアピールして京丹後や天橋立への通過点にしない。(50歳代 男性)

空き家を利用して地域の人達が集まれる場所、話をしたり茶をしたり、食事出来る場。又、リサイクル用品の売買の出来る場など。(60歳代 女性)

合併してから、町民同志の一体感を感じる場面がなくなってきました。以前は「町民運動会」という大イベントがありました。それに参加することで、全く出会うことの無い方たちと出会い、語らい、確認しあうことが出来ました。今の役場の職員も、公僕とは名ばかりで仕事が嫌いな方が多いように思いま

| |
|--|
| <p>す。だんだん町民と職員の距離が離れて、さびれて行く一方のようです。このままでは安心な、町の未来はありません・・・まず、職員も、町民も、人間が変わらなくては！面倒くさいから、なにもしないのではなく、まず「町民運動会」から復活して隣の人の実在を確認しましょう。若い町長さんも、いろんなこと（阿蘇シーサイドの活用で映画会、音楽会、東京から高額な方を呼んでの勉強会など色々）試みておられるようですが、なんか、一部の人のサークルっぽい集まりのようで税金の無駄遣いのように映ります。もっともっと、地に足を付けた行政を望みます。（60歳代 女性）</p> |
| <p>この問いはピントがずれているものが多い、このようなアンケートをいくらやっても意味が無い、「意見が多いので、こうします」となってしまう。要は「勤め先と子育て」が充実すれば人口は増えて、元気な地域になる可能性が出てくる。町、区、地域のあらゆる組織を駆使し、「町づくりに参加してください」ではなく、「参加したい雰囲気作り」に重点を置くべきだ。「こんな事をしています。あんな事もしたい」ではだめ。（60歳代 男性）</p> |
| <p>仕事を退職されている60～70歳の方々が元気に散歩されているのを見かけますが、道ぶちにカン、ペットボトルなど草の中に落ちているのを見て見ぬふりされていませんか？どうか小さな子どもたちが学校の行き帰り気持ちよく通行できるように袋などもって散歩して欲しいですね。子どもたちが一人で悲しい顔していないか？さみしい顔していないか、いつも気になります。元気な子どもたちの声は鳥の声、風の音と一緒に、うれしくなります。なにか出来ることはないだろうか？このまま年取りたくないなあ思いながら生きています。どうぞ声をかけてください。元気な60～70～80歳まで応援してまいります。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>自分の生活を楽しむのも良いですが、住んでいる地域を少しでも良くしようという気持ちを持つとうではありませんか！（60歳代 女性）</p> |
| <p>下山田区の若い人たち（若いと言っても相対的にですが）はとても元気で、地域の行事など本当に一生懸命になって支えてくれています。せまい地域ですが、ここに限って言えば将来はとても明るく安心して楽しみです。こういう人たちの活動がやりやすいような仕組みや体制づくり、また、これを見逃したり放置しないような目線を常に持ってほしいと思います。役場主導ではなく住民主導の町づくりこそが本来のあり方ですから、常にその視点での行政執行を期待します。（60歳代 男性）</p> |
| <p>人口が減り高齢者が増えて仕事も無くなりますから空き家を利用して隣近所の2～3人くらいで共同生活をして助け合って生きていくのも良いかなと思います。交通や便利の良いところで生活できるように気の合う2～3人くらいで空き家を利用する。（60歳代 男性）</p> |
| <p>ずっとこの地域で暮らしてきた人たちと結婚して・・・仕事のために入ってきた人間との隔たりが強い気がします。体協のスポーツ大会も昔からのルールで決まったスポーツで、だれでも参加できるわけではなく、共働きが一般化されてきた今では厳しい事が多い気がします。地域が1つになる。新しく住人になった人も参加し、顔を覚えられるようなイベントを開催したほうが良いのではないかと思います。現代の生活にあったものをもっと取り入れていけば、何かが変わるかもしれませんね。（40歳代 女性）</p> |
| <p>開かれた与謝野町。町民参加の催しの企画・アピール（世代を越えた交流を目的とする）。18歳からの選挙権が持てるようになったことから、若者がもっと積極的に町の活動に参加できるような推進運動（まちを活性化させるために自分たちの力が必要だということを意識させる）（50歳代 女性）</p> |
| <p>広島市がプロ野球のカープとともに発展しているように、住民が共通の意識でつながるようなものがいいと思います。（50歳代 男性）</p> |
| <p>町づくりに若者が参画しやすくする。投資の選択と集中を進めてほしい。企業誘致と人材誘致、夢が語れる町。（40歳代 男性）</p> |
| <p>与謝野町の美しい海・山・川を守る為にも、それぞれの清掃には住民参加をもっともっと募るべきだと思います。カキの貝殻除去には大学生のボランティアばかりが目につき、地域住民の参加が少ないのは、恥ずかしい限りです。例えば、住民が参加しやすい様にお得感を出す事です。参加者には券を発行し、それを何枚かためると、与謝野町の特産品や、お店（食べ物屋さん）の割引券になるとか。参加者にとっての一石二鳥を考えてみました。（60歳代 女性）</p> |
| <p>与謝野町の今後の町づくり提案 わが故郷与謝野町について、私なりの意見をのべさせていただきます。読</p> |

みにくい文字ではいけませんので、パソコンで作成しました。私は年に生活基盤を据えて、暮らしてきました、特に 1990 年代後半から 2011 年までは東京の企業に勤めて、競争社会の中で貴重な経験を得るとともに職業能力開発校講師を依頼受けて勤め、首都圏の障害者の就労支援に携わりました。思い途中にて身体の不安もあり、東日本大震災後、実家のある、故郷与謝野町へ戻ってきました。与謝野町の人口構成と予測を拝見しましたが、もう少し人口も減って高齢化率は自然と増加するのではないのでしょうか、30 年前からの数値から私なりの数値分析から紐解くと、もっと厳しい数値が現れてきています、いずれ与謝野町単独から丹後地区がひとつにまとまった地域集落にならないと 30 年後には与謝野町の名前はなくなっていると思います。先日の大雪で皆様が気づかれた事と思いますが、道路の積雪は空き家の前後には多く残っています、もう皆さんがカバーして雪かきできる範囲ではなくなっています。さらに高齢者単独世帯も増え、空家空地も増加して防犯事故も増加するのではないのでしょうか。次世代に残せる町ではなくて、より新しい町づくりを心がけるべきかと思います。その新しい町づくりを今の世代が開拓して次世代に推進を任せるべきです。幸い与謝野町民はコミュニティはたしかありません、いろんな意見は持っておられます。商売でも競争社会にもまれていないのと、自己資金より助成金に頼っておられがち一番はその考えに創意工夫することだけがかけているのではないかと。前置きはここまでで、提案に入ります。★地域コミュニティの発展 外部講師のお話も良いと思いますが、むしろより身近によき意見を持っておられる地域住民の意見考えを集約して町内の有志、グループの長が聞き取り行政、町民に声を届ける、広報誌、町の有線放送で週に一度でも町民の声として特集番組として発表する「町民かわらばんでもよし」テーマは広く、身近な町民の意見として取り上げること、他愛のないことでもより身近に感じられる議論とし、それぞれ町民ファーストです。★ふるさと納税の知恵 今やふるさと納税は特産品・特典付きでにぎわっている地域もあります。本来の故郷応援として、こういったことに使ってほしいとの納税者の意思を高めくすぐり、与謝野町のオリジナルカレンダーを作成するのはいかがでしょうか。1 月～12 月までの中の風景は、地域の町並み、祭行事を町民から写真を提供していただき、コストを抑えた制作費はもちろんですが「低価の有償ボランティア」利用ふるさと納税者には提供し、町民には買っていただき、家族・知り合いに送りふるさとを離れてがんばっておられる方に、与謝野町を PR するとともにふるさと納税していただくことを、お願いできればと思います。私も都市在住のときはふるさと丹後・与謝野の記事写真に大いに励まされました。そのときはふるさと納税はまだ知りませんでした。ふるさとカレンダーの中にこの風景文化を応援してください。あなたにもふるさと納税お願いしますの文書いれておくべきです。一人の応援がやがて何百、何千のサポートにつながります。★町民アンケートの集計結果 このアンケートのないような皆さんに、良くも悪くも公表されるのでしょうか。町民の皆様のご意見お聞きしたいです。町民の皆さんは当然として。私を含めてアイデアは多々あります。(60 歳代 男性)

A. 第二次総合計画策定にあたり、1. 現在人口 2.2 万人と 30 年前の 1.4 万人の町内全区の区ごとの予測人口の分布を作成し、町並みの変代予測と推測を行い、あるべき町の①生活圏②生産圏③教育・育児圏など見直し、縮小エリア、拡大・拡充エリアなど人口 1 万人の効率のよい町、コミュニティを描き直し総合計画の原点にすべきでは！2. 30 年後の町人口は、旧 3 町の 1 町程度に予測され 30 年以降も増加より、さらなる減少が推測される。20 年後には再度近隣行政区との合併も議論しなければならない状態が生じることが必至になる。今後 30 年度を見据えた「町づくり」総合計画は人口 50% 減、1.1 万人の町として合併を視野にリノベーション構想を描くべきであると考え。※(与謝野町単独の行政運営は財政的、経済的に不合理、不効率であり運営不可と考えるべき)

B. 目指す創生再生将来像 南北に長い町の地形が過去は農村集落として、成長の源であり、コミュニティを形成していたが、30 年後人口減少して長い南北導線が町の欠点となり町過疎化と人口密度の低下によるインフラ・経済負担となり大きなデメリットになると予測される⇒1. 南北に長い川と川に沿った自然資源の農地を活かし、新しい農業と農業の企業モデルを作り、育成し新産業と就労の場として町の創生・再生の柱として位置づけ町のメイン産業として(物づくりから加工まで)農業人口拡大・農業立国(素材農業から加工農業の転換)を目指しては、と考える。2. 南北に流れる野田川を挟み、東西の山すそに住宅地、生活圏を有する「長方形」型の町並みが山間部を中心に町過疎化で孤立状態が将来予測される。高齢者を中心とした、新しい「生活の場」集合住宅。コミュニティ地域を町の中心部に造り高齢者をコアにした地域を創り、山間部からの移住促進を図り、「正方形」型のコンパクトな経済効率の良い生活しやすい町に改造を 30 年かけ行うべき！※1&2 を町長に示し、町民に指針と夢を！(70 歳以上 男性)

与謝野町は子育てには非常に素晴らしい環境です。ただ若い世代にとって魅力がなく、少子化が進んで

| |
|--|
| <p>いるのが一点あると思います。空き家も増えるでしょう。町の活性化を目標に行政・地域住民ともに良い町づくりに尽力していただきたいと思います。（30歳代 女性）</p> |
| <p>理想論ではありますが、大きなことは出来なくてもみんながほんの少しずつでも助け合いながらつらい思いをしている人がいなくて平穏な暮らしが送っていったらどんなに良いでしょう。そのために私はいったい何が出来るでしょう。一人の力は知れていますから。笑われてしまうような大げさなことを言えば、世界中の人々が幸せになれたらいいのになー。（60歳代 女性）</p> |
| <p>私は、退職後当地に住むようになりましたが、他地域との違いは、与謝野町は住民ボランティア団体、特に各種委員会（青少年団体、民生、交通安全、老人会、子ども会等）がたて方の仕組みで横とのつながりに乏しく、それぞれの団体がそれぞれのやり方でやっているためお互いが一体化した事業が出来ないのと人材の活用が乏しいのが気になりました。私が住んでいたところでは、教育委員会や福祉団体が一緒になり町民の強力により何かあればお互いが協力し合う体制があったように思います。人と人とのつながりが当地域には少ないように思います。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>【その他】に関する意見（26人）</p> |
| <p>2013年のサントリー地域文化賞受賞時の記事です。こんな楽しいこともあるのかと、参考になればと同封します。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>P6に書いたとおりです。（15歳～19歳 男性）</p> |
| <p>アンケートの内容が大雑把なので答えにくいです。（50歳代 女性）</p> |
| <p>遅くなりまして申し訳ありません。老人ばかり、病院へ通い何時も大変お世話様ばかりかけております。お役に立てない私で恐縮でした。ありがとうございました。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>感じた事、今後のまちづくりの内はだめですか。雪が降って除雪車が来てしていただいているのですが、普通車1台が通るのがやっとの道なので大変だと思いますが、積もった雪の上をなでるだけで残されて道がガタガタで車も大変です。見かねて曲がり角から奥に通れるようにしています。皆さん、年取りますし緊急の場合。（70歳以上 女性）</p> |
| <p>気晴らしに出かけるときは必ず町外へ出かけます。最近は大きな施設で、駐車場も広く楽しめる、道の駅がたくさんあります。そういうところは他方面からの客が利用されています。トイレも広く車椅子で利用していますが気持ちよく来ています。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>現在の計画を確実に実行すること。（70歳以上 男性）</p> |
| <p>この前の町長が説明するきゃあ・・・うんぬんのチラシにとても違和感を覚えました。町長のキャラに全く会っていないチラシの文面で町民をバカにしているのかと感じました。何がしたいのか意図が全く分からない。若者受けを狙っているのですか？不快です。もっと真面目に町を良くして下さい。財政少ないのに無駄遣いをせず、地道にコツコツ骨太の改革をお願いしたい。選挙で一票投じたことを悔やんでしまいそうでした。頑張ってください。いい加減、学生サークル気分は卒業なさっては？あなたは、町民の顔なんです。（50歳代 男性）</p> |
| <p>今後とか先のことばかり言っていますが、今があるから、先があると思います。この先どうなるかなんて誰にも分かりません。今が良くなくては、未来は良くなれないと思います。もっと目先を見たほうがいいのかは分かりませんが、今、住みやすければ、そのまま住み続けるでしょうし、そうでなければ住み続けません。（30歳代 男性）</p> |
| <p>住宅改修補助金制度を取り入れてほしい。（60歳代 男性）</p> |
| <p>人口の大幅減少時代を迎え大変難しい行政運営が求められる。前頁で例示されていることは全国どこの自治体でも例示されていることであり、この事を与謝野町でどのように独自のものとして作り上げていくかが問われる。これらを実行に移すには「トランプ氏」のような奇想天外な町長が必要と思う。今までのようなありきたりの町政ではどうにもならないと思う。職員も同様である。思い切った発想で築き切ってほしい。どうにもならないのが議員。選出した我々が悪いのだが、投票するものが立候補しているものに限られる。もっと立候補しやすい方法を考えていく必要あり。ご苦労だががんばってほしい。（60歳代 男性）</p> |

| |
|--|
| 建前の町づくりでは、何も良い方向に変わらないと思います。ゴミ問題、情報ネットワーク、高齢者問題、現実を見ずに建前三昧、国の誤った方針による事業の推進により、結果マイナス効果で生活や環境が悪くなるため、今の生活・地域の現状を見つめなおす事が重要だと思います。（50歳代 男性） |
| 地域活性化事業を優先した町づくりを。頑張れ与謝野町！（40歳代 男性） |
| チャレンジしてください。（40歳代 男性） |
| 庁舎問題を解決せよ。地に足を付けた行政をしないと未来は見えてこない。（60歳代 男性） |
| 特になし。（20歳代 女性） |
| 特になし。（50歳代 女性） |
| 町が過疎化しているので、まずは町の人口を増やしていくというのはどうですか？（30歳代 男性） |
| まちづくりに関係ないですが、カサが入るくらいの縦長のゴミ袋が作ってほしいです。（40歳代 女性） |
| 町づくりはコンサルタント主導を廃し、主体は誰かを再確認する必要があります。田子先生は「阿蘇シーサイドパークの海岸の柵をとれ」と言われていますが、その理由が「日本人は甘えている。ドイツは自己責任でやっている。日本人はおかしいですね」と驚くべきことを講演でおっしゃっています。これまで、阿蘇海で何人も人が命を落としています。また300年の歴史があるちりめんを「負の遺産」扱いしたチラシを全戸配布されました。日本の社会常識の欠落です。杉岡先生は若手と呼ばれる役場の職員を30人ほど選抜して政策集団を育成されようとなさっています。カウンターバランスシステムの存在しない今の役場で、一部職員を政策集団化することは将来に禍根を残す危険な行為です。権力の中枢に位置するものを政治にかかわらせてはいけません。この集団はいずれ自己の利益、自己の保身を求めるようになり行政は腐朽していきます。阿蘇霊照園を例にとるとよく理解できます。役場は最近この施設を民間委託しました。理由を聞いてみれば「役場の職員が嫌がって行かない」とか「民間がやれば効率がよくなる」などです。自分たちに都合のいい情報を流し議会を納得させました。本来、与謝野町の町民が亡くなれば、行政は自ら感謝の意を持って故人をお見送りすべきです。その方にできる最後の行政サービスです。それを、こともあろうに営利を目的とした株式会社に運営を丸投げするとは、人間の尊厳がひとかけらも感じられない恥ずべき行いです。あなたが死んだら株式会社の利益になります。分かり易いですね。このような事例を見るまでもなく、役場の職員による政策集団の形成は自分たちの都合や自分たちの利益を追求する集団と化す危険性をはらんでいます。最近コンサルタントの指導を受けて、若者は「若者が、若者が」と叫んでいます。若者と年輩者（場合によっては大人）の二元論的対立を煽り、対話を拒否し、相手を批判することにより優位に立ち、自分が正しいとするやり方にはこの町の未来に不安を覚えます。若者は大人に対する不満の具体例をあげ、自分の考えを具体的に述べ、話し合いで世代間交流を図るべきです。税金でこのような方々を雇うべきではありません。弊害が大きすぎます。役場の職員はコンサルタントにマインドコントロールされないように気を付け、町民のことを考えているふりをやめ、役場内で指導的立場にある人は職員が本当のことが言える職場環境をつくるように努めてください。（60歳代 男性） |
| みんなまあよく生きていけたら！これは夢。（70歳以上 女性） |
| 雪道路のすかし方ひどく、おじいさんがこけてけがをした。時間はかかってもきれいにしてほしい。今回ひどい。（70歳以上 女性） |
| 若い者に託していきたい。年よりは口出ししないこと（求められたらアドバイスぐらい）（70歳以上 男性） |
| 私にとって与謝野町はとても住みやすい、素敵な町です。他の市町村のエピソードや成功例がいくつも集まってきましたが、それはそれとして与謝野町には山、川、海など自然があり、歴史や文化があります。医療、福祉、インフラ整備、改革・・・全てを完璧にするのは無理だと思います。与謝野町の良さを守っていき、住環境、雇用、教育の充実が大切だと思います。町にばかり頼らず住民自身が与謝野をよくしていけたら一番良いと思いますし、私自身そういう人になりたいです。（20歳代 女性） |
| 私は昭和3年生まれ（88歳）で現在の世の中には満足しています。なぜかと言えば、昭和12年朝鮮戦争から戦後30年頃まで貧乏生活でした。その世代に比べ現在の生活に感謝しています。将来につい |

ては分かりませんが、益々発展し幸せな世の中であって欲しいと願っています。（70 歳以上 男性）

幾年と前から計画のあった（1市5町）の地域の将来図は今、どうなっているのでしょうか。さらに30年先を考えて、今を見るに、過去の計画から数年たった今、どのようになったのか調査研究するのも大切でないでしょうか。「人が住み着きたい」のは若い方も老人も共通点があります。利便性のみの追求でなく、不便さも又利点になりえることもあります。一点集中型でなく、各区の共有ののどかさで住宅街を造り都市からの移住もでき、しかも若者たち住宅地に力を注ぐべきと考えます。よく鳥取県とかの例がありますが、あの件は数十年前から（約40年位前）市の職員さんが弁当もちで各都市をまわり、産業や人材育成や企業を引っ張り大変な努力をされていました。その結果、今日がありますが、現状のみを見ないで過去の大変な努力をしっかりとPRしなくては意味がないと存じます。先般の〇〇大学の講義のTVを見ましたがあれくらいは一寸旅行好きであれば誰でも存じています。役場はもっと切実ですね！（70 歳以上 女性）

地域再生タウン化構想

(60 歳代 男性)

与謝野町を含む地域が生き残るには、また次世代に残す街には今の世代が改革推進して、次世代に託し新たな地域作りを任せるための道筋をつける事が必要であろうと提案します。

大きな分野の構想で有り、相当な時間と細やかな作業が必用であり出来るわけがない、又とてつもない理想追及と思われるかもしれませんが大きな改革をやらないと、地域再生はありません。

20年・30年また遠い未来に、その年代に生きる方々が評価してくれます。

★丹後全体をタウン化して★

京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町を纏めて地域集落・商圈といたします
名称はたとえば京北都市としたとします

さらに近隣の福知山市・舞鶴市も関連して協力都市に連携します

★公的機関

北都市の本庁→各地域に一か所支社・役場を置きます「他出張所」

振興局・保健所・社協・商工会も同様です

鉄道別途・バスも地域循環コミュニティバスを走らせます

公共機関・駅舎。地域商圈。観光私設等を循環するバス経路

★各地域が特徴を持った街作りを実施します★

1・地域ショッピングセンター商圈

2・総合病院

3・デイ含む介護施設

7・各種学校ゾーン

★教育・学校★

★地域小学校・中学校高等学校は必要ですが

現在舞鶴市・福知山市にある専門校の一部を北都市にも

連携して地域なりの特色を持ち合わせた専門校を設置する

若者・中高年・熟年のかたが学べる能力開発校とする

年齢をとわず家庭の主婦・地域商店主・従業員も学べる場をつくる

昼間・夜間・土日も開館。情報誌を置き、コミュニティルーム「休憩室」設置

情報・パソコン・介護・ボランティア・NPO・防犯地域振興

伝統工芸、地場産業、農林水産業。観光

★市長・町長・議員の選び方の改正★

わが街地域のリーダー役の大切な人材です

立候補の時に公約をあげていただき「必須」文書にても

任期内に実行できたかどうかチェックする

もちろん大きな災害等で困難なこともあります

その内容次第でできなかった、また努力しなかった場合は

任期中の報酬の半額または何パーセントの報酬を

変換していただく

★情報メディア。宣伝。渉外担当員の配置・育成★

地域職員に PR 渉外担当者を選任して全国を対象に

街の PR 渉外に当たる

故郷納税も専任して地域の特色ある商品特典を開発する

今度るさと納税取り扱い選定資格あり

★町民ニュース情報瓦版を発行する

全て民間主導で詳しくあらゆる事に切り込みを入れる

資金は広告を掲示して集める、初期は企業・団体民間団体資金応募

★地域商工業は原則定休日を作らない、官公庁も土日も振替勤務で

休み不在をつくらない

社協・商工会・ボラセン・も同様

★過疎地・限界集落対策★

ボランティアセンターを地域に設置、常時稼働体制をとる

移動販売も注文にあわせて販売車を走らす

地域ステーションを設置、商品保管してⅦ緊急に備える

市営・町営資本を補助してコンビニ営業の検討

地域総合デイ施設を纏めて、出来る限り一か所に集中設置

空家・空き地対策新たな条例を検討対処、対策を練る

近隣地区の駅舎をバリアフリー化・地域土産物を販売する

足湯を駅舎に時間内に設置して利用していただく

駅舎近隣に、地域観光協会を誘導設置する。

介護・痴呆対策説明会を常時開催する

★政令都市に地域丹後物産を展示して PR する

職員を常駐する、マスコミ・メディアを常に PR 活動有効に

同時に地域移住・リターン希望者対策室も設置する

地域社会出貢献する人・地域で生活したい人を求める

まず一定期間契約して移住していただき報酬も検討する

面接・書類選考の結果を待ち選考

地域各店舗・スーパーは車いす・電動カート車で店内へ

移動可能にバリアフリー化をこころがける事

地域各店舗・スーパーは車いす・電動カート車で店内へ

入口の段差も解消すること

★ブログを発信する

地域商店主は積極的に PR してネットにて全国へ発信する

企業のネームを利用することを考慮

都市部の大学生徒交流するだけではなく企業に切り込み

特産品の販売を企画ジョイント協力を仰ぐ

商品開発又ネームに地域の特産。を挿入して売り込む

例として地域限定丹後わかめラーメンもちりめんそばなど

食品にかかわらず多方面にて利用

企業担当者と直接交渉にあたる人材を育成

また地域で暮らす企業OBにも協力を得る

企業誘致だけでなし、タイアップする

★若い女性が定住しない原因・理由☆

20歳から39歳の女性

都市部・東京23区と政令都市では女性の割合が高まっている

東京都・政令都市＝1.08%

政令都市部以外＝0.75%

過疎地域では0.4%以下

20歳から39歳の男女の人口比率「国税調査から」

高学歴化で女性の移動が増加、女性は男性より地方に

戻る人が少なく、都市部に集中している

理由は経済的なだけではなく、

さまざまな面で女性の負担が重いのではないかと

女性の平等度を上げる工夫を考える

女性の役割、地位向上をはかることが必要である

都市で学業・職業で得た知識を生かしてあげること

★地域オリジナルグッズの販売政策

地域・与謝野町オリジナルカレンダーの制作PR

業者に頼むより、価格を抑えて、制作販売する「有償ボランティア」

例えば、与謝野晶子・てつかん記念切手の制作・販売

地域に食事処名物店の発掘

うどん・ラーメン。単純なそば麺類特産を作る

観光私設はこもの開設より

★地域渉外担当宣伝・プレゼンテーションが出来る

人材の発掘又育成★

当日3分前其の場にて課題テーマを与えてプレゼンテーションの

訓練で人材発掘する

★ダイアログセミナーの開催

ビジネスで通用する交渉力・提案力・営業力を身につける

地域のアイデアを全国に発信、説得交渉できる人を育てる

もちろん地域の皆様に明確に伝えることが重要ですが

都市部でも地域でも生き残りをかけて戦っております。

10年・20年・30年先を見つめてやらなければならないテーマ

は今手を付けていくことが必要だと思います。

★健康寿命推進室の設置「民間・公的関わらず」

講演。健康パンフ作成から、生活習慣改善を初めとして、☎相談

担当員の巡回相談をてがけて、健康寿命を延ばす事を訴える

やはり、人と接する語り合える場作り、喋る場作りも大切で有り

地域空家利用して危険なきよう改良し、利用していただく
専従員は、ボランティア・NPO 募集も検討する事

私が都市の企業在住時の人事部での人材募集のテーマは

さあ貴方は〇〇のどの人ですか

人財＝何でもでき、宝となる人

人材＝働きのある役に立つ人

人在＝何もせず、ただいるだけの人

人罪＝居るだけで罪になる人

地域の素晴らしい人材を発掘・育成しましょう

どれをとっても簡単には出来ません

なぜ必要か、しつかりプランニングしていますので、何から

手がけるというより、優先順位を考えて、

一つひとつ実行出来るかと思い描いております。

丹後地区全般の方よりご意見うかがいました

与謝野町の今後の街づくり提案

(60 歳代 男性)

わが故郷与謝野町について、私なりの意見を述べさせていただきます
読みにくい文字ではいけませんので、パソコンで作成しました。

私は都市に生活基盤を据えて、暮らして来ましたが、特に1990年代後半から
2011年までは東京の企業に勤めて、競争社会の中で貴重な経験を得ると共に
職業能力開発校講師を依頼受けて勤め、首都圏の障害者の就労支援に
たずさわりました。思い途中にて身体の不安もあり、東日本大震災後、実家の有る、
故郷与謝野町へ戻って来ました。

与謝野町の人口構成と予測を拝見しましたが、もう少し人口も減って
高齢化率は自然と増加するのではないのでしょうか、30年前からの数値から
私なりの数値分析からひもとくと、もっと厳しい数値が表われてきています、
いずれ与謝野町単独から丹後地区がひとつにまとまった地域集落にならないと
30年後には与謝野町の名前はなくなっていると思います。

先日の大雪で皆様がきずかれたことと思いますが、
道路の積雪は空家の前後には多く残っています、もう皆さんがカバーして雪かきできる
範囲ではなくなっています。さらに高齢者単独世帯も増え、空家空き地も増加して防犯
事故も増加するのではないのでしょうか。

次世代に残せる町ではなくて、より新しい街づくりを心がけるべきかと思います。

その新しい街づくりを今の世代が開拓して次世代に推進を任せるべきです。

幸いと謝野町民はコミュニティはたしかなんです、いろんな意見は持っておられます
でも仕方ないとあきらめたり、愚痴だけで終わったりとしておられます。

商売でも競争社会にもまれていないのと、自己資金より、助成金に頼っておられがち
一番はその考えに創意工夫することが欠けているのではないかと
前おきはここまでで、提案に入ります。

★地域コミュニティの発展

外部講師のお話もいいでしょうが、むしろより身近に良き意見を持つておられる
地域住民の意見考えを集約して町内の有志、グループの長が聞き取り
行政・町民に声を届る、広報誌、町の有線放送で週に一度でも町民の声として
特集番組として発表する「町民かわらばんでも良し」

テーマは広く、身近な町民の意見として取り上げる事、たわいのない事でも
より身近に感じられる議論とし、それこそ町民ファーストです。

★ふるさと納税の知恵

今やふるさと納税は特産品・特典付きで賑わっている地域もあります
本来の故郷応援として、こういったことに使ってほしいとの納税者の意思を
高めくすぐり、与謝野町のオリジナルカレンダーを作成するのはいかがでしょうか
1月～12月まで中の風景は、地域の町並み、祭行事を町民から写真を提供して

頂き、コストを抑えた制作費はもちろんですが「低価の有償ボランティア」利用
ふるさと納税者には提供し、町民には買っていただき、家族・知り合いに送り
ふるさとをはなれて頑張っておられる方に、与謝野町をPRするとともに
ふるさと納税していただくことを、お願いできればと思います

わたしも都市在住のときはふるさと丹後・与謝野の記事写真に大いに
励まされました、そのときはふるさと納税はまだ知りませんでした。

ふるさとカレンダーのなかにこの風景文化を応援してください

あなたにもふるさと納税お願いしますの文書いれておくべきです。

一人の応援がやがて何百・何千のサポートに繋がります。

★町民アンケートの集計結果

このアンケートの内容は皆さんに、良く悪くも公表されるのでしょうか
町民の皆様のご意見お聞きしたいです。

町民の皆さんは当然として。私を含めてアイデアは多々あります。

(70歳以上 女性)

阿蘇の「サイド」パーク

管理棟

ミニゴルフ場

杯は(木)樹々
地に響よこひ之七
知恵の輪

木を整理して
散歩の人が休む所には
折角知恵の輪かあとの
之でほしいと思ふ

あそ海



左 福岡山

(70歳以上 男性)

あまり多く幹線通は必要ない
通り道になり所は発展しなり。
宮津市が良例です。

早く

下へ

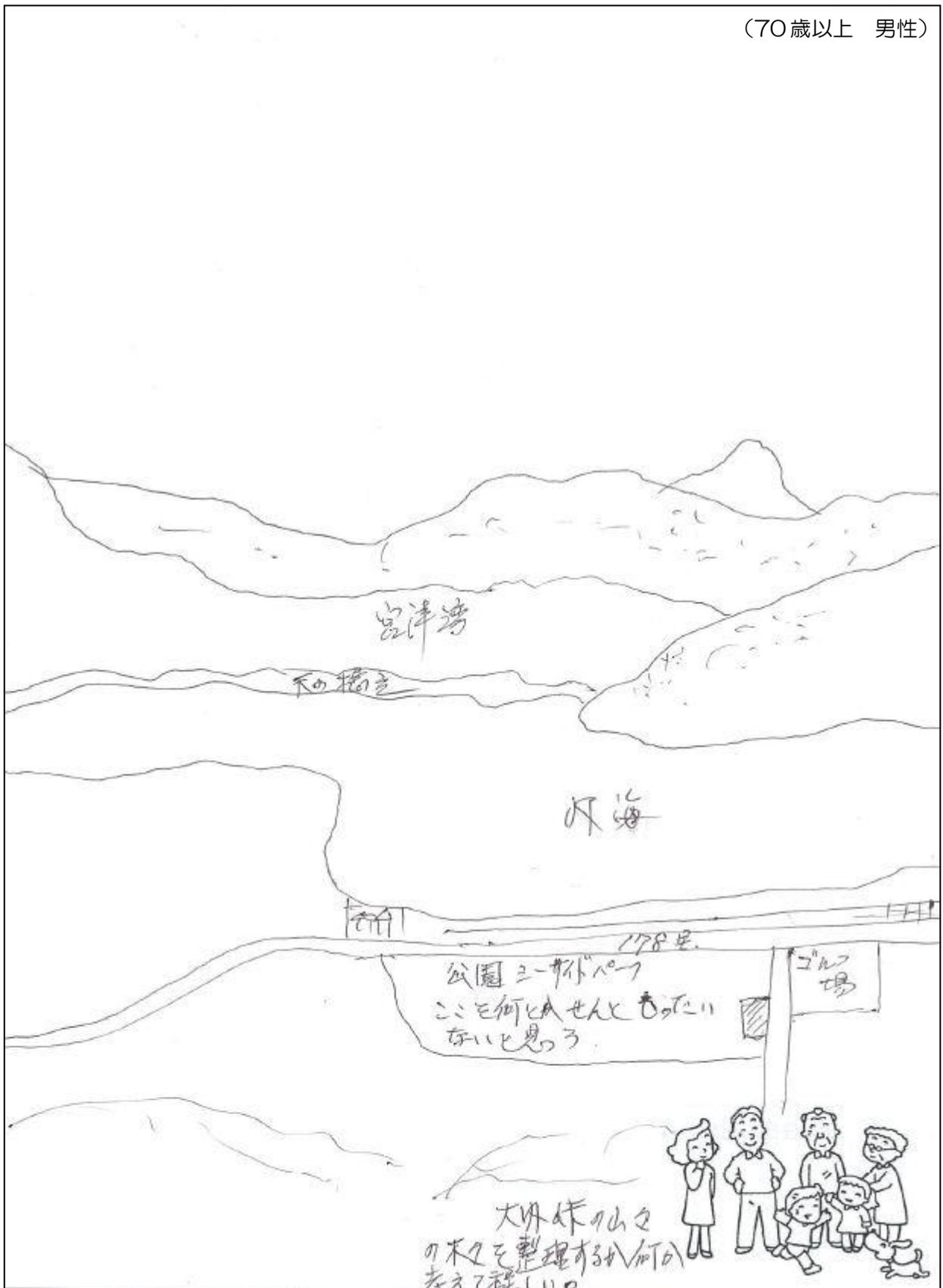
※

宮津市

至

京丹後市

宮津



私の夢
子爵野町の

(70歳以上 男性)

岩鏡

京都北部丹波空港を造る

